

# 目次

## アートの分野

さまざまな芸術ジャンルの本

[音楽](#)

[美術・デザイン](#)

[演劇](#)

[舞踊・ダンス](#)

[映像・映画](#)

[伝統文化・芸能](#)

[文化遺産・歴史的建造物](#)

[建築](#)

[複合芸術](#)

[芸能](#)

[フェスティバル](#)

[アート・文化全般](#)

## アートマネジメントの主体

アートマネジメントに関わるさまざまな立場・主体に関する本

[企業](#)

[NPO](#)

[国](#)

[地方自治体](#)

[市民・個人](#)

## アートマネジメントの実務

税制、法律、ファンドレイズなど運営実務に関する本

[アートマネジメント](#)

[財務・ファンドレイズ](#)

[アートとマーケティング](#)

[アートと法律](#)

[寄付税制・文化税制](#)

[文化政策・文化行政論](#)

[文化と経済・文化経済学](#)

[評価](#)

[ボランティア](#)

[災害・テロとアート](#)

[障がい者とアート](#)

[アートと教育](#)

[アートとキャリア](#)

## 資料

役立つ統計資料や名簿、年鑑等

[名簿・年鑑](#)

[調査・統計資料・白書](#)

[定期刊行物](#)

## アートの分野

### 音楽

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『演奏年鑑』  
日本演奏連盟、日本演奏連盟
- 『日本のオペラ年鑑』  
オペラ団体連盟、オペラ団体連盟
- 『クラシック音楽事業ガイド』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会
- 『オーケストラ—知りたかったことのすべて』  
クリスチャン・メルラン（著）、藤本 優子（翻訳）、山田 浩之（翻訳）、みすず書房（2020）
- 『成功する音楽家の新習慣 ～練習・本番・身体の戦略的ガイド～』  
ジェラルド・クリックスタイン（著）、Gerald Klickstein（著）、藤村 奈緒美（翻訳）、ヤマハミュージックメディア（2018）
- 『楽しいオーケストラ図鑑』  
東京フィルハーモニー交響楽団（監修）、小学館（2018）
- 『舞台芸術マネジメント論 —聴衆との共創を目指して』  
志村聖子、九州大学出版会（2017）
- 『音楽と美術のあいだ』  
大友良英=著、刀根康尚、鈴木昭男、毛利悠子、梅田哲也、堀尾寛太、Sachiko M=対談、フィルムアート社（2017）
- 『偉大な指揮者に学ぶ無知のリーダーシップ』  
イタイ・タルガム（著）、宮内義彦(オリックス シニア・チェアマン)解説（その他）、土方 奈美（翻訳）、日経 BP（2016）
- 『「音大卒」の戦い方』  
大内 孝夫、武蔵野音楽大学(協力)（その他）、ヤマハミュージックメディア（2015）
- 『楽器の重ね方がイチからわかる! 実践! やさしく学べる オーケストラアレンジ』  
彦坂恭人、自由現代社（2015）
- 『アマチュアオーケストラに乾杯! : 素顔の休日音楽家たち』  
畑農敏哉、NTT 出版（2015）
- 『音楽芸術マネジメント 第7号』  
日本音楽芸術マネジメント学会、水曜社（2015）

- 『オーケストラ・モデル 多様な個性から組織の調和を創るマネジメント』  
クリスティアン・ガンシュ (著), シドラ房子 (翻訳)、CCC メディアハウス (2014)
- 『ドラッカーとオーケストラの組織論』  
山岸淳子、PHP 研究所 (2013)
- 『クラシック・コンサート制作の基礎知識』  
日本クラシック音楽事業協会、ヤマハミュージックメディア (2012)
- 『クラシック音楽マネジメント ～音楽の感動を届ける仕事～』  
取材・構成 木杵舎 (著), 武濤京子(昭和音楽大学准教授) (監修)、ヤマハミュージックメディア (2010)
- 『コンサートホールの音響と音楽表現』  
安藤四一、アルテスパブリッシング (2009)
- 『音楽芸術運営研究 No.2 2008』  
昭和音楽大学音楽芸術運営研究所、昭和音楽大学音楽芸術運営研究所 (2009)
- 『オーケストラの経営学』  
大木裕子、東洋経済新報社 (2008)
- 『日本のオーケストラ 2008 賃金労働条件等実態一覧』  
日本音楽家ユニオンオーケストラ協議会、日本音楽家ユニオン (2008)
- 『BEYOND TALENT 音楽家を成功に導く 12 章』  
アンジェラ・マイルズ・ビーチング著/蓑口一美訳、水曜社 (2008)
- 『びわ湖ホール オペラをつくる—創造し発信する劇場』  
上原恵美, 牧野 優, 初田 靖, 小野隆浩, 井上建夫、新評論 (2007)
- 『芸術の売り方——劇場を満員にするマーケティング』  
ジョアン シェフ バーンスタイン (著), 山本章子 (翻訳)、英治出版 (2007)
- 『まもなく開演 改訂版—コンサートホールの音響の仕事』  
三好直樹、新評論 (2007)
- 『音楽芸術運営研究所紀要 No.6』  
昭和音楽大学音楽芸術運営研究所、昭和音楽大学音楽芸術運営研究所 (2007)
- 『日本のオーケストラ 2007—賃金労働条件等実態一覧—』  
日本音楽家ユニオンオーケストラ協議会、日本音楽家ユニオン (2007)
- 『第 10 回 全国オペラフォーラムの記録』  
日上市立科学文化情報財団、日上市立科学文化情報財団 (2006)

- 『メセナ note45 号 特集：企業による音楽支援』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『公開講座＝オペラ劇場運営の現在・フランス＝伝統と前衛、実験する歌劇場 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）
- 『音楽芸術運営研究所紀要 No.5』  
昭和音楽大学音楽芸術運営研究所、昭和音楽大学音楽芸術運営研究所（2006）
- 『日本のオーケストラのエデュケーション・プログラム 2006』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2006）
- 『世界のオーケストラ運営の現状と展望〈報告書〉』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2006）
- 『THE5TH NEC ART FORUM & MINI CONCERT「今、オーケストラが熱い！」—オーケストラと社会との楽しい関係—』  
NECCSR 推進本部社会貢献室、NECCSR 推進本部社会貢献室（2006）
- 『公開講座＝オペラ劇場運営の現在・イタリア II＝イタリアにおけるオペラの現状と展望～Il Teatro d'opera in Italia ieri e oggi 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）
- 『公開講座＝オペラ劇場運営の現在・ベルギー＝オペラ・ハウスの芸術運営と創作過程～オペラ歌手によるワークショップとともに 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）
- 『軌跡の音楽祭 札幌・PMF の夏』  
谷口雅春、北海道新聞社（2005）
- 『オーケストラのマネジメント—芸術組織における共創環境』  
大木裕子、文眞堂（2004）
- 『日本のオーケストラのエデュケーション・プログラム 2004 年版』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2004）
- 『奇跡の音楽祭 札幌・PMF の夏』  
谷口雅春、北海道新聞社（2004）
- 『クラシック音楽市場拡大の為の調査・研究』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2004）
- 『室内音響学—建築の響きとその理論』  
ハインリッヒ クットルフ（著）、Heinrich Kuttruff（原著）、藤原 恭司（翻訳）、日高 孝之（翻訳）、市ヶ谷出版社（2003）

- 『クラシック音楽産業の活性化政策調査・研究事業ビジョン報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2003）
- 『第 4 回オーケストラによるエデュケーション・プログラム オーケストラ・プレイヤーのためのワークショップ 2003 報告書』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2003）
- 『オーケストラマーケティングの戦略 2 首都圏第九コンサートの聴衆に関する調査報告書』  
文化創造研究所、日本オーケストラ連盟（2003）
- 『音楽のアウトリーチ活動に関する研究』  
林睦、大阪大学大学院文学研究科博士論文（2003）
- 『コンクールでお会いしましょう--名演に飽きた時代の原点』  
中村紘子、中央公論新社（2003）
- 『オーケストラによるエデュケーションプログラム 高知ワークショップ報告書』  
日本フィルハーモニー交響楽団、出口修平（2003）
- 『オペラ公演の制作と事業運営に関する調査』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2003）
- 『理想の室内オーケストラとは！ 水戸室内管弦楽団での実験と成就』  
吉田秀和・小澤征爾、音楽之友社（2002）
- 『クラシックコンサート・人材バンクシステム 事前調査研究事業報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2002）
- 『第 2 回国際シンポジウム「クラシック音楽界は消滅するのか」』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2002）
- 『アウトリーチで行こう！ --音楽とコミュニティの<相互>な関係--』  
トリトン・アーツ・ネットワーク、トリトン・アーツ・ネットワーク（2002）
- 『オーケストラにおけるマーケティング・広告活動の現状と今後の課題--コンサート・マーケットと聴衆セグメントの分析--』  
河島伸子・田中敬文・山田真一（2002）
- 『オルフェウスプロセス』  
ハーヴェイ・セイフター／ピーター・エコミー／鈴木主税訳、角川書店（2002）
- 『第 5 回全国オペラフォーラムの記録』  
日立市科学文化情報財団、ひたちオペラのまちづくり実行委員会（2001）
- 『日本のオーケストラ 2001--賃金労働条件等実態一覧--』  
日本音楽家ユニオンオーケストラ協議会、日本音楽家ユニオン（2001）

- 『クラシックコンサート・マネジメント研修システム 試作・改造事業報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2001）
- 『クラシックコンサート・マネジメント研修システム 講師情報報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2001）
- 『クラシックコンサート・マネジメント研修システム 事業ビジョン報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2000）
- 『クラシックコンサート・マネジメント研修システム 調査・研究報告書』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会（2000）
- 『だれがクラシックをだめにしたか』  
ノーマン・レブレヒト、音楽之友社（2000）
- 『コンサート・ホールのハードとソフト--クラシック音楽を楽しむ空間の創造--』  
ソフト化経済センター、ソフト化経済センター（1999）
- 『オペラ・チケットの値段』  
佐々木忠次、講談社（1999）
- 『クラシック音楽／マネジメント入門』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1999）
- 『コミュニティ・ミュージックをつくる文化会館の聖母（マドンナ）たち』  
坪能克裕、音楽之友社（1999）
- 『活路開拓調査・実現化事業--クラシック音楽コンサートの鑑賞者市場の活性化に向けて--』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1999）
- 『活路開拓ビジョン調査事業--クラシック音楽コンサート市場活性化のための調査研究報告書--』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1998）
- 『躍るオタマジャクシ だからクラシックは面白い』  
大川進一郎、出版文化社（1998）
- 『クラシック音楽産業とマネジメント事業の発展に向けて』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1998）
- 『クラシック音楽マネジメント事業者の事業実態調査のご報告』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1998）
- 『音楽機器産業における技術高度化のためのマネジメント関連調査研究報告書』  
日本機械工業連合会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1997）

- 『オーケストラ・サミット・イン・ジャパン 1997』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（1997）
- 『アメリカ・カナダ・イギリスのプロ・オーケストラ運営の現状及び日本との比較調査』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（1996）
- 『我が国におけるクラシック音楽に関する調査研究』  
日本クラシック音楽マネジメント協会、日本クラシック音楽マネジメント協会（1996）
- 『ザ☆オーケストラ--その未来を考えるために』  
芸団協オーケストラ研究プロジェクト、芸団協出版部（1995）
- 『21 世紀の産業構造における有望成長分野としての音楽産業に関する調査研究』  
日本音楽マネジメント協会、産業研究所（1995）
- 『パフォーミングアーツのマネジメント コンサートホールとオペラハウス』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学生涯学習センター（1995）
- 『コンサートの文化史』  
ヴァルター・ザルメン、柏書房（1994）
- 『全国オペラ団体実態調査報告』  
日本芸能実演家団体協議会、昭和音楽大学附属オペラ研究所（1994）
- 『季刊メセナ No. 13 1993 年夏号：音楽支援の光と陰--企業はクラシックが好き』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1993）
- 『"21 世紀のコンサート"展望と提言--音楽愛好家とコンサートを担う人々へ』  
小林公、芸術現代社（1993）
- 『オーケストラは市民とともに 日本フィル物語』  
外山雄三・中村敬三、岩波書店（1991）
- 『レパトリーシステムによるオペラ上演のための舞台建築計画に関する研究--ベルリン・ドイツオペラにおける事例研究を通して--』  
本杉省三（1988）



## アートの分野

### 美術・デザイン

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『現代美術史-欧米、日本、トランスナショナル（中公新書）』  
山本浩貴、中央公論社（2019）
- 『視覚的無意識』  
ロザインド・E・クラウス（著）、谷川 渥（翻訳）、小西 信之（翻訳）、月曜社（2019）
- 『かたちは思考する：芸術制作の分析』  
平倉 圭、東京大学出版会（木）2019）
- 『現代写真アート原論「コンテンポラリーアートとしての写真」の進化形へ』  
後藤繁雄、港千尋、深川雅文、フィルムアート社（2019）
- 『ART SINCE 1900:図鑑 1900 年以後の芸術』  
尾崎 信一郎（編集）、金井 直（編集）、小西 信之（編集）、近藤 学（編集）、ハル フォスター（著）、ロザインド・E.  
クラウス（著）、イヴ-アラン ボワ（著）、ベンジャミン・H.D. ブークロー（著）、デイヴィッド ジョーズリット（著）、東京書籍  
（2019）
- 『美術の物語』  
エルンスト・H・ゴンブリッチ（著）、田中正之（その他）、天野衛（翻訳）、大西広（翻訳）、奥野阜（翻訳）、桐山宣雄  
（翻訳）、長谷川宏（翻訳）、長谷川摂子（翻訳）、林道郎（翻訳）、宮腰直人（翻訳）、河出書房新社（2019）
- 『これからの美術がわかるキーワード 100 (BT BOOKS)』  
美術手帖編集部、美術出版社（2019）
- 『現代アートとは何か』  
小崎哲哉、河出書房新社（2018）
- 『抽象の力（近代芸術の解析）』  
岡崎乾二郎、亜紀書房
- 『アートとは何か：芸術の存在論と目的論』  
アーサー・C. ダントー（著）、佐藤 一進（翻訳）、人文書院（2018）
- 『震美術論』  
榎木野衣、美術出版社（2017）
- 『日本国際美術展と戦後美術史』  
山下晃平著、創元社（2017）

- 『音楽と美術のあいだ』  
大友良英=著、刀根康尚、鈴木昭男、毛利悠子、梅田哲也、堀尾寛太、Sachiko M=対談、フィルムアート社（2017）
- 『アート・パワー』  
ボリス・グロイス、現代企画室（2017）
- 『芸術祭ノート』  
港千尋、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）（2016）
- 『「続・日本型アートプロジェクトの歴史と現在 1990 年→2012 年」(後編)』  
監修 | 熊倉純子、企画 | アートプロジェクト研究会、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
（2016）
- 『めくるめく現代アート』  
筧菜奈子=著、フィルムアート社（2016）
- 『地域アート 美学／制度／日本』  
藤田直哉、堀之内出版（2016）
- 『人工地獄 現代アートと観客の政治学』  
クリア・ビショップ=著、大森俊克=訳、フィルムアート社（2016）
- 『後美術論』  
榎木野衣、美術出版社（2015）
- 『「日本型アートプロジェクトの歴史と現在 1990 年→2012 年」補遺』  
編著 | 熊倉純子 長津結一郎 アートプロジェクト研究会、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
（2015）
- 『「続・日本型アートプロジェクトの歴史と現在 1990 年→2012 年」(前編)』  
監修 | 熊倉純子、企画 | アートプロジェクト研究会、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
（2015）
- 『アゲインスト・リテラシー ―グラフィティ文化論 Against Literacy: On Graffiti Culture』  
著者：大山エンリコイサム、LIXIL 出版（2015）
- 『ソーシャリー・エンゲイジド・アート入門 アートが社会と深く関わるための 10 のポイント』  
パブロ・エルグラ=著 | アート&ソサイエティ研究センター SEA 研究会=訳、フィルムアート社（2015）
- 『美術の日本近現代史―制度 言説 造型』  
北澤憲昭（編集）、森仁史（編集）、佐藤道信（編集）、東京美術（2014）
- 『現代アートの本当の見方』  
フィルムアート社編集部=編、フィルムアート社（2014）

- 『アートは地域を変えたか:越後妻有大地の芸術祭の 13 年:2000-2012』  
澤村 明 (著、編集)、中東雅樹、長谷川雪子、鷺見英司、寺尾 仁、慶應義塾大学出版会 (2014)
- 『2008 年度 アート・コミュニケーションプロジェクト報告書』  
福のり子 (京都造形大学 芸術表現・アートプロデュース学科教授)、京都造形芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター (2009)
- 『パブリック・ドメイン収蔵品資料の活用へ向けて—美術館・博物館収蔵の映像資料のフェア・ユースを考える—』  
慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 (2009)
- 『大地の芸術祭 越後妻有アトリエンナーレ 2006』  
大地の芸術祭・東京事務局、現代企画室 (2007)
- 『世界アーティストサミット実施報告書』  
京都造形芸術大学、京都造形芸術大学 (2006)
- 『ミーティング・キャラバン〜日本縦断、アートミーティングの旅〜』  
N-mark、BankART1929 (2005)
- 『大地の芸術祭 越後妻有アトリエンナーレ 2003』  
大地の芸術祭・花の道実行委員会東京事務局、現代企画室 (2004)
- 『アートが知りたい--本音のミュージオロジー』  
岡部あおみ、武蔵野美術大学出版局 (2005)
- 『横浜会議 2004「なぜ国際展か？」』  
多摩美術大学芸術学科建畠ゼミ、BankART (2005)
- 『希望の美術・協働の夢 北川フラムの 40 年 1965-2004』  
北川フラム、角川学芸出版 (2005)
- 『アート (美術) ワンダーランド--よくわかる簡単アート史 3 万年 60 本勝負』  
びあ、びあ (2004)
- 『COOL JAPAN--疾走する日本現代アート』  
山口裕美、BNN 新社 (2004)
- 『現代アート入門の入門』  
山口裕美、光文社 (2002)
- 『美術館連絡協議会 20 年の歩み』  
美術館連絡協議会事務局、美術館連絡協議会事務局 (2002)

- 『水戸芸術館現代美術センター記録集 1997--2001』  
森司・水谷みつる・小竹森由香、水戸市芸術館現代美術センター（2002）
- 『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2000』  
越後妻有大地の芸術祭実行委員会、越後妻有大地の芸術祭実行委員会（2001）
- 『EURO 2000 56 art spaces and groups in Europe』  
commandN、commandN（2001）
- 『小さな箱--鎌倉近代美術館の50年』  
神奈川県立近代美術館、求龍堂（2001）
- 『わが国のアーティスト・イン・レジデンス事業の概要』  
国際交流基金国際交流相談室、国際交流基金国際交流相談室（2001）
- 『アート・アーカイヴス/ドキュメンテーション--アート資料の宇宙』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2001）
- 『Art : Art in a New World アート："芸術"が終わった後の"アート"』  
松井みどり、朝日出版社（2000）
- 『ミュージアム国富論』  
塚原正彦・デヴィッド・アンダーソン、日本地域社会研究所（2000）
- 『Art Tower Mito 水戸芸術館』  
水戸市芸術振興財団、水戸市芸術振興財団（1999）
- 『林檎の礼拝堂』  
田窪恭治、集英社（1998）
- 『美術手帖 3月号：特集アーティスト・イン・レジデンス』  
美術出版社、美術出版社（1998）
- 『なぜ、これがアートなの？』  
アメリア・アレナス著／福のり子訳、淡交社（1998）
- 『Studio Shokudo 1997--1998』  
スタジオ食堂（企画・製作）・菊池敦己・沼田美樹（編集）、スタジオ食堂（1998）
- 『現代美術事典 90S』  
水戸芸術館現代美術センター、水戸芸術館現代美術センター（1997）
- 『美術館革命』  
美術館メディア研究会（編集）・伊藤俊治、大日本印刷 ICC 本部（1997）

- 『展覧会の壁の穴』  
小林敦美、日本エディタースクール出版部（1996）
- 『「日の出町アーティスト・イン・レジデンス」事業報告書』  
コンテンポラリー・アート・ネットワーク、日の出町社会教育課（1995）
- 『第2期「美術館メディア研究会」記録（1・2・3・4・5・7）』  
「美術館メディア研究会」事務局、美術館メディア研究会（1995）
- 『美術館の新しい役割』  
三鷹市政策課題研修（1995）
- 『アーティスト・イン・レジデンス研究会（AIR）研究会報告書'93--'95』  
アーティスト・イン・レジデンス研究会、国際交流基金企画室（1995）
- 『異分野コラボレーション--視点の交錯から創造へ』  
久保田晃弘・藤井浩美、ジャストシステム（1995）
- 『パブリックアートが街を語る』  
杉村荘吉、東洋経済新報社（1995）
- 『日仏アート・フォーラム'93「美術館を超えて」アーティスト・イン・レジデンスの現状と今後』  
スパイラル・村田真、「日仏アート・フォーラム'93」実行委員会（1994）
- 『パブリック・アートと都市デザイン（その1 予備的考察）』  
長谷エコーポレーション総合研究所、長谷エコーポレーション総合研究所（1994）
- 『パブリックアートは幸せか』  
山田義典、公人の友社（1994）
- 『TAMA ART STUDIO--アーティスト・イン・レジデンス記録--』  
TAMAらいふ21協会、TAMAらいふ21協会（1993）
- 『美術館学入門』  
井出洋一郎、明星大学出版部（1993）
- 『デザインの20世紀』  
柏木博、日本放送出版協会（1992）
- 『FORUM 現代美術の場』  
森司・熊倉純子、水戸芸術館現代美術ギャラリー（1992）
- 『美術手帖2月号：特集 現代美術の社会学入門』  
美術出版社、美術出版社（1992）

- 『美術経済白書』  
瀬木慎一、美術年鑑社（1991）
- 『アートゲームス 現代美術を探偵する』  
若林直樹、洋泉社（1989）
- 『美術手帖 7月号：現代美術の経済学』  
美術出版社、美術出版社（1985）

## アートの分野

### 演劇

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『演劇年鑑』  
日本演劇協会、日本演劇協会
- 『舞台芸術交流年鑑』  
国際舞台芸術交流センター、国際舞台芸術交流センター
- 『現代演劇大全 いま観るべき舞台のすべてがわかる』  
マガジンハウス編集、マガジンハウス（2019）
- 『日本演劇現在形 時代を映す作家が語る、演劇的想像力のいま』  
岩城京子，藤田貴大，三浦直之，木ノ下裕一，神里雄大，市原佐都子，山本卓卓，西尾佳織，村川拓也，岩城京子（編集）、フィルムアート社（2018）
- 『集まると使える—80年代 運動の中の演劇と演劇の中の運動』  
羽鳥嘉郎、ころから株式会社（2018）
- 『演劇は仕事になるのか？ 演劇の経済的側面とその未来』  
米屋尚子、アルファベータブックス（2016）
- 『〈現代演劇〉のレッスン（Next Creator Book）』  
平田オリザ，相馬千秋，藤井慎太郎，岩城京子，森山直人，大堀久美子，藤原ちから，島貫泰介，さやわか，林立騎，片山正夫，田嶋結菜，松井憲太郎，三好佐智子，長島 確，鈴木理映子（著，編集）、フィルムアート社（2016）
- 『演劇最強論』  
徳永京子，藤原ちから，飛鳥新社（2013）
- 『ドラマトウルク—舞台芸術を進化/深化させる者』  
平田栄一郎、三元社（2010）
- 『アーツマネジメントシリーズ 創造を支える劇場技術者 舞台裏から感動を伝える』  
齋藤譲一、新評論（2010）
- 『平成 20 年度 養成プログラム —演劇の再生—』  
「養成プログラム」実行委員会、国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター（2009）
- 『メセナ note55 号 特集：演劇と企業メセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）

- 『世界劇場会議国際フォーラム 2008 論文・報告集 Vol.11』  
「世界劇場会議国際フォーラム 2008」実行委員会、「世界劇場会議国際フォーラム 2008」実行委員会（2008）
- 『地域を超える制作者 小劇場から生まれる演劇公演の新しいカタチ』  
地域を超える制作者プロジェクト、地域を超える制作者プロジェクト（2008）
- 『メセナ note55 号 特集：演劇と企業メセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『「養成プログラム-演劇の再生-」I.T.I Educational Program-Renaissance of Theatre 2006』  
「養成プログラム」実行委員会、国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター（2007）
- 『蜷川幸雄と「さいたまゴールド・シアター」の 500 日 平均年齢 67 歳の挑戦』  
橋田欣典・須賀綾子・強瀬亮子・埼玉新聞取材班、平凡社（2007）
- 『劇場へ！！大阪現代演劇祭＜仮説劇場＞WA 全記録』  
大阪現代演劇祭事務局、大阪都市協会（2006）
- 『演劇制作マニュアル』  
文化科学研究所、地域創造（2006）
- 『「劇場活性化に関する調査研究」報告書--「劇場」が行う事業の創造的展開のために--』  
日本芸能実演家団体協議会・劇場活性化プロジェクト、日本芸能実演家団体協議会・劇場活性化プロジェクト（2003）
- 『演劇と社会 英国演劇社会史』  
中山夏織、美学出版（2003）
- 『OMS とその時代--柱のある劇場--扇町ミュージアムスクエアの 18 年』  
小堀純（編集顧問）、ぴあ（関西）（2003）
- 『世界劇場会議国際フォーラム 2002 論文・報告集 Vol.9』  
「世界劇場会議 国際フォーラム 2002」実行委員会（2002）
- 『劇場 2002』  
伊東正示・大野洋・古井戸秀夫、早稲田大学第二文学部（2002）
- 『戦後演劇を撃つ』  
大笹吉雄、中央公論新社（2001）
- 『養成プログラム--演劇の再生--（Educational Program--Renaissance of Theatre 2000）』  
国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター、ITI JAPAN CENTRE（2001）
- 『出会って笑ってつくりあって--おやこ劇場 27 年』  
東野昌子、サンライズ出版（2000）



- 『関係性マーケティングと演劇消費--熱烈ファンの創造と維持の構図--』  
和田充夫、ダイヤモンド社（1999）
- 『現代演劇のフィールドワーク 芸術生産の文化社会学』  
佐藤郁哉、東京大学出版会（1999）
- 『シアター X（カイ）ファイル 1997 5周年記念特集』  
シアター X（カイ）、シアター X（カイ）（1998）
- 『演劇と地域のパートナーシップ--英国演劇ワークショップの周辺--』  
中山夏織、ダブルフェイス（1998）
- 『実践的演劇の世界』  
菊川徳之助、昭和堂（1998）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.2 札幌 演劇講座「同時代の演劇と社会」報告集』  
北海道演劇財団、北海道演劇財団（1997）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.4 神戸 神戸発 演劇の可能性 報告集』  
神戸アートビレッジセンター、神戸アートビレッジセンター（1997）
- 『芸術文化行政と地域社会--レジデントシアターへのデザイン』  
衛紀生、テアトロ（1997）
- 『観劇のバイブル』  
岡田芳郎、太陽企画出版（1997）
- 『道なかばなれど 劇団飛行船のアート・マネージメント』  
田中久弘、劇団飛行船出版局（1996）
- 『わたしたちと劇場』  
清水裕之、芸団協出版部（1993）
- 『阿片とサフラン 演劇プロデューサーという仕事』  
中島陸郎、長征社（1991）
- 『アセアン舞台芸術専門家会議レポート』  
国際交流基金アセアン文化センター、国際交流基金アセアン文化センター（1991）
- 『新劇経営製作者の生活と意識 新劇経営製作者実態調査報告書』  
日本新劇経営製作者協会、日本新劇経営製作者協会（1991）
- 『マルス・レポート'90』  
国際舞台芸術交流センター（MARS 日本事務局）、国際舞台芸術交流センター（MARS 日本事務局）（1991）

- 『劇場をめぐる楽しみの構造 都市における劇場と観客の調査研究』  
サントリー-不易流行研究所、サントリー-不易流行研究所（1991）

## アートの分野

### 舞踊・ダンス

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『舞台芸術』  
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、KADOKAWA（年刊誌）
- 『新たな系譜学をもとめて アート・身体・パフォーマンス』  
野村萬斎，高谷史郎，中田英寿，岡田利規，細馬宏通，岡本章，長谷川祐子，東京都現代美術館（監修）、フィルムアート社（2014）
- 『第3回アジアダンス会議 2007 流れる切るつながる重なる』  
国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター、国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター（2007）
- 『アジアダンス会議 2003』  
アジアダンス会議実行委員会、国際演劇協会日本センター（2003）
- 『舞踊年鑑』  
全日本舞踊連合・舞踊年鑑編集委員会、全日本舞踊連合
- 『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』  
乗越たかお、作品社（2003）
- 『「アーツフォーラム、21世紀への提言」第2回 未来型アートマネジメント 芸術の送り手・受け手をつなぐもの：検証・或る前衛ダンス公演の収支決算』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1996）
- 『クラシックバレエおよび現代舞踊界の芸術活動に関する調査報告書』  
東京都文化振興会管理部企画調査課、東京都文化振興会管理部企画調査課（1994）

## アート分野

### 映像・映画

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『文化庁映画週間公式記録 報告書』  
スperlバウンド合資会社、文化庁（2005）
- 『諸外国及びわが国における「映画教育」に関する調査[中間報告書]』  
国際文化交流推進協会、コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（2005）
- 『地域における映画上映状況調査：映画上映活動年鑑 2004[非映画館上映]』  
国際文化交流推進協会、コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（2005）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.48 高知 シネママネジメントの挑戦 公共的な映画事業を立ち上げよう！ 報告書』  
TAM 高知セッション'03 実行委員会高知県文化財団、TAM 高知セッション'03 実行委員会・高知県文化財団（2004）
- 『映画上映ネットワーク会議 2003 イン大阪 報告書』  
国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）、国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）（2004）
- 『地域における映画上映状況調査：映画上映活動年鑑 2003』  
国際文化交流推進協会、コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（2004）
- 『映画上映ネットワーク会議 2003 イン大阪 "コミュニティシネマ"宣言！ 報告書』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会（2004）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol48 高知セッション演劇 15』  
『「シネママネジメントの挑戦 公共的な映画事業を立ち上げよう！」報告書』  
TAM 高知セッション'03 実行委員会・高知県文化財団、TAM 高知セッション'03 実行委員会高知県文化財団（2004）
- 『映画上映活動の現状調査 報告書』  
国際文化交流推進協会、文化庁（2003）
- 『文化庁全国映画祭コンベンション 報告書』  
国際文化交流推進協会、文化庁（2003）
- 『21 世紀の芸術振興策を考える--芸術振興のための法と制度【最終報告書】アメリカ、韓国を中心に』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会（2003）
- 『21 世紀の芸術振興策を考える--芸術振興のための法と制度【中間報告書】ヨーロッパの映画振興を中心に』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会（2002）

- 『「映画ビッグバン」の法的諸問題 日米比較の視点による映画製作・配給システムに関する法的考察』  
福井健策、商事法務研究会（2001）
- 『日本映画産業最前線』  
村上世彰・小川典文、角川書店（1999）
- 『ムービーウォーズ--ゼロから始めたプロデューサー格闘記』  
仙頭武則、日本経済新聞社（1998）
- 『時代劇映画とは何か ニュー・フィルム・スタディーズ』  
筒井清忠・加藤幹郎、渡辺睦久（1997）
- 『映画上映ネットワーク会議報告書 地域の映画祭・映画上映を考える』  
国際文化交流推進協会、国際交流基金（1997）
- 『日本映画は、いま スクリーンの裏側からの証言』  
佐野眞一、TBS プリタニカ（1996）
- 『高知の自主上映から「映画と話す」回路を求めて』  
山本嘉博、映画新聞（1996）
- 『アート・プロデュース実践講座（映像編）報告書』  
群馬県企画部企画課、群馬県企画部企画課（1996）
- 『季刊メセナ No. 25 1996 年夏号：アート界を揺さぶるインターネット』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『季刊メセナ No. 22 1995 年秋号：映画 100 年と日本映画の現在（いま）』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『季刊メセナ No. 17 1994 年夏号：マルチメディア時代の芸術--テクノロジーがもたらす変容』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『ドイツ・フランス・英国における「非商業上映」に関する調査報告書』  
国際交流基金地域・草の根日欧交流事業、国際交流基金（1994）
- 『冒険とスポーツの映画・映画市場の展開に関する研究』  
白馬村振興公社、産業研究所（1992）
- 『私のシネマ宣言 映像が女性で輝くとき』  
高野悦子、朝日新聞社（1992）
- 『第 5 回東京国際映画祭発表資料』  
東京国際映像文化振興会・東京国際映画祭組織委員会事務局、東京国際映像文化振興会・東京国際映画祭組織委員会事務局（1992）

- 『映画 創造のビジネス』  
岡田裕、筑摩書房（1991）

## アートの分野

### 伝統文化・芸能

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『震災後の地域文化と被災者の民俗誌—フィールド災害人文学の構築（東北アジア研究専書）』  
高倉浩樹, 山口 睦、新泉社（2018）
- 『Discover Japan\_CULTURE ニッポンの伝統芸能 能・狂言・歌舞伎・文楽』  
ディスカバージャパン編集部、エイ出版社（2017）
- 『震災と芸能—地域再生の原動力』  
橋本裕之、追手門学院大学出版会（2015）
- 『無形民俗文化財が被災するということ—東日本大震災と宮城県沿岸部地域社会の民俗誌』  
高倉浩樹, 滝澤 克彦、新泉社（2014）
- 『平成十九年度文化庁委嘱事業「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに 』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2008）
- 『平成十八年度「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2007）
- 『平成十七年度「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2006）
- 『平成十六年度「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2005）
- 『「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2005）
- 『平成十五年度「伝統文化こども教室」事例集 伝統文化をこどもに』  
伝統文化活性化国民協会、伝統文化活性化国民協会（2004）
- 『伝統文化コーディネーター 伝統文化を学ぶ・伝統文化を創造する』  
民族芸術交流財団、そうよう（2003）

## アートの分野

### 文化遺産・歴史的建造物

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『論より実践 建築修復学』  
後藤 治、共立出版（2019）
- 『文化財建造物の保存修理を考える：木造建築の理念とあり方』  
文化財建造物保存技術協会、山川出版社（2019）
- 『文化財/文化遺産としての民俗芸能：無形文化遺産時代の研究と保護』  
俵木 悟、勉誠出版（2018）
- 『登録有形文化財：保存と活用からみえる新たな地域のすがた』  
佐滝剛弘、勁草書房（2017）
- 『歴史と文化の町並み事典—重要伝統的建造物群保存地区全 109』  
文化庁、中央公論美術出版（2015）
- 『歴史的遺産の保存・活用とまちづくり 改訂版』  
大河直躬，梅津章子，岡崎篤行，金出ミチル，苅谷勇雅，後藤 治，日塔和彦，蓑田ひろ子，三船康道，八木雅夫、学芸出版社（2015）
- 『無形文化遺産とは何か：ユネスコの無形文化遺産を新たな視点で解説する本』  
七海ゆみ子、彩流社（2014）
- 『生まれ変わる歴史的建造物-都市再生の中で価値ある建造物を継承する手法』  
野村和宣、日刊工業新聞社（2014）
- 『文化遺産保護に果たすメセナの役割』  
田島さか恵（筑波大学大学院修士課程芸術研究科世界遺産専攻）（2007）
- 『世界の文化遺跡と日本を考える』  
文化財保護振興財団、文化財保護振興財団（1998）



## アートの分野

### 建築

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『日本の建築文化事典』  
平井 聖, 後藤 治、丸善出版（2020）
- 『建築と都市の保存再生デザインー近代文化遺産の豊かな継承のために』  
田原幸夫, 笠原一人, 中山利恵, 石田潤一郎, 北河大次郎, 清水重敦, 富永善啓, 中川 理, 田原幸夫（編集）,  
笠原一人（編集）, 中山利恵（編集）, 鹿島出版会（2019）
- 『日本の盛期モダニズム建築像』  
吉田鋼市、王国社（2019）
- 『日本の初期モダニズム建築家』  
吉田鋼市、王国社（2018）
- 『モダニズム崩壊後の建築 —1968 年以降の転回と思想—』  
五十嵐太郎、青土社（2018）
- 『現代建築理論序説：1968 年以降の系譜』  
ハリー・フランシス マルグレイヴ（著）, デイヴィッド グッドマン（著）, 澤岡清秀（翻訳）, 鹿島出版社（2018）
- 『わが国の近代建築の保存と再生 vol.1』  
岡崎甚幸 西村幸夫, 中川 理, 藤森照信, 野村和宣, 石田潤一郎, 田原幸夫, 武庫川女子大学 建築学科・建築学専  
攻（監修）, 武庫川女子大学出版部（2018）
- 『実況・近代建築史講義』  
著者：中谷礼仁、LIXIL 出版（2017）
- 『現代建築入門』  
ケネス・フランプトン（著）, 中村敏男（翻訳）, 青土社（2016）
- 『日本建築入門』  
五十嵐太郎、筑摩書房（2016）
- 『現代建築に関する 16 章 〈空間、時間、そして世界〉』  
五十嵐太郎、講談社（2006）
- 『名探偵コナン 建設 FILE』  
日本建設業団体連合会・日本土木工業協会・建築業協会、日本建設業団体連合会（2005）

- 『大阪 新・長屋暮らしのすすめ』  
橋爪紳也、創元社（2004）
- 『現代建築史』  
ケネス フランプトン（著）、中村 敏男（翻訳）、青土社（2003）
- 『関西のモダニズム建築 20 選』  
芦屋市立美術博物館、淡交社（2001）
- 『世界の建築家 581 人』  
ギャラリー・間、TOTO 出版（1995）
- 『建築 MAP 東京』  
ギャラリー・間、TOTO 出版（1994）

## アート分野

### 複合芸術

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『東京文化会館 舞台芸術創造フォーラム 2003 21 世紀の目指すべき舞台芸術 報告書』  
東京文化会館、東京文化会館（2004）
- 『E.A.T--芸術と技術の実験』  
NTT インターコミュニケーション・センター、NTT 出版（2003）
- 『Sounding Spaces 9 Sounds Installations』  
NTT インターコミュニケーション・センター、NTT 出版（2003）
- 『intermedia--メディアと芸術の相関を思考する』  
早稲田大学メディアデザイン研究室・映像コミュニケーション研究所、トランスアート（2003）
- 『マルチメディア時代の芸術と社会』  
富士ゼロックス、アート・バイ・ゼロックス（1997）
- 『マルチメディア社会と変容する文化』  
浅田彰、NTT 出版（1997）
- 『季刊メセナ No. 25 1996 年夏号：アート界を揺さぶるインターネット』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『季刊メセナ No. 17 1994 年夏号：マルチメディア時代の芸術--テクノロジーがもたらす変容』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）

## アートの分野

### 芸能

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『芸能活動の構造の変化 この10年の光と影』  
浜田晃・福島明夫、日本芸能実演家団体協議会（2007）
- 『芸能実演家の活動と生活実態--第6回調査報告書 2000年版--』  
日本芸能実演家団体協議会、丸善（2000）
- 『メディア芸能と実演芸能に関する研究--テレビの中の芸能の変遷と国民の教養・娯楽における役割--』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（1988）
- 『芸能学 新たな試みがはじまった』  
佐藤克明・芸能活動推進企画委員会、芸団協出版部（1986）
- 『芸能人判例百題』  
大家重夫、芸団協出版部（1984）
- 『HOT WIND』  
芸団協芸能活動推進委員会、日本芸能実演家団体協議会（1984）

## アートの分野

### フェスティバル

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『2019年日本における芸術表現に対する公的助成の社会的・法的位相その2：—あいちトリエンナーレに対する文化庁の補助金不交付決定を題材に』  
檜垣宏太、デザインエッグ社（2019）
- 『あいちトリエンナーレ「展示中止」事件：表現の不自由と日本』  
岡本有佳（編集）、アライ ヒロユキ（編集）、岩波書店（2019）
- 『アートと地域づくりの社会学 直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造』  
宮本結佳、昭和堂（2018）
- 『直島誕生——過疎化する島で目撃した「現代アートの挑戦」全記録』  
秋元雄史、ディスカヴァー・トゥエンティワン（2018）
- 『直島から瀬戸内国際芸術祭へ—美術が地域を変えた』  
福武総一郎、北川フラム、現代企画室（2016）
- 『トリエンナーレはなにをめざすのか 都市型芸術祭の意義と展望（文化とまちづくり叢書）』  
吉田隆之、水曜社（2015）
- 『美術は地域をひらく：大地の芸術祭 10 の思想 Echigo-Tsumari Art Triennale Concept Book』  
北川フラム、現代企画室（2014）
- 『多摩川アートラインプロジェクト 2007』  
多摩川アートラインプロジェクト実行委員会、多摩川アートラインプロジェクト実行委員会（2008）
- 『東京国際芸術祭 2008 リージョナルシアター・シリーズ事業報告書』  
地域創造/アートネットワーク・ジャパン、地域創造（2008）
- 『まちにアートの風が吹く NPOと企業が協働するアサヒ・アート・フェスティバルの試み』  
アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会、マルモ出版（2005）
- 『メセナ note39号 特集：フェスティバル考』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『東京国際舞台芸術フェスティバル'97 報告書』  
東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会、国際交流基金（1998）
- 『東京国際舞台芸術フェスティバル'97 報告書：アーティスト・ミーツ・アーティスト』  
東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会編、国際交流基金（1998）

- 『東京国際舞台芸術フェスティバル'97 報告書：インターナショナル・ヴィジターズ・ウィーク』  
東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会編、国際交流基金（1998）
- 『海外芸術フェスティバルに参加するには』  
国際舞台芸術交流センター、国際交流基金（1995）
- 『世界芸術フェスティバル・サミット 報告書』  
国際舞台芸術交流センター、国際交流基金（1994）
- 『国内外の芸術フェスティバルに関する実態調査報告書 報告書』  
芸術家会議、芸術家会議（1994）
- 『国際美術展に関する調査 2 ドクメンタ／サンパウロビエンナーレ 調査報告書』  
インターナショナル・アート・フォーラム、インターナショナル・アート・フォーラム（1993）
- 『国際美術展に関する調査 調査報告書』  
インターナショナル・アート・フォーラム、インターナショナル・アート・フォーラム（1992）
- 『季刊メセナ No. 3 1990 年冬号：アート・フェスティバルはいま』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1990）

## アート分野

### アート・文化全般

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『文化で地域をデザインする：社会の課題と文化をつなぐ現場から』  
松本茂章（著，編集），土屋隆英，西村仁志，朝倉由希，池上重弘，高島知佐子，川本直義，大澤苑美，西村和代，長津結一郎，森口ゆたか、学芸出版社（2020）
- 『アートがひらく地域のこれから：クリエイティビティを生かす社会へ』  
野田邦弘，小泉元宏，竹内 潔，家中 茂、ミネルヴァ書房（2020）
- 『芸術祭と地域づくり “祭り”の受容から自発・協働による固有資源化へ（文化とまちづくり叢書）』  
吉田隆之、水曜社（2019）
- 『公の時代 —— 官民による巨大プロジェクトが相次ぎ、炎上やポリコレが広がる新時代。社会にアートが拡大するにつれ埋没してゆく「アーティスト」と、その先に消えゆく「個」の居場所を、二人の美術家がラディカルに語り合う。』  
卯城竜太(Chim ↑ Pom) ，松田修、朝日出版社（2019）
- 『三陸×アジア 地域を元気にするところと文化の行き交い』  
小久保よしの、三澤範子、独立行政法人国際交流基金アジアセンター 文化事業第2チーム（2019）
- 『ソーシャリー・エンゲイジド・アートの系譜・理論・実践 芸術の社会的転回をめぐる』  
アート&ソサイエティ研究センター SEA 研究会（著，編集），トム・フィンケルパール，グラント・ケスター，星野太，高山明，藤井光，カリイ・コンテ，ジャスティン・ジェスティ、フィルムアート社（2018）
- 『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく（文化とまちづくり叢書）』  
中村美亜，大澤寅雄，朝廣和夫，長津結一郎，高坂葉月，ジェームズ・ジャック，知足美加子，藤枝 守，池田美奈子，尾本 章，小森耕太，楠本智郎，尾藤悦子，花田伸一，藤 浩志，吳 瑪俐，鷺田めるろ，小山田 徹，九州大学ソーシャルアートラボ（編集）、水曜社（2018）
- 『美術館と大学と市民がつくるソーシャルデザインプロジェクト』  
稲庭彩和子，伊藤達矢，とびらプロジェクト（編集）、青幻舎（2018）
- 『社会の芸術/芸術という社会—社会とアートの関係、その再創造に向けて』  
北田暁大（著，編集），神野真吾（著，編集，その他），竹田恵子（著，編集），志田陽子，成原慧，韓東賢，明戸隆浩，岸政彦，清水晶子，仁平典宏，間庭大祐，社会の芸術フォーラム運営委員会（編集），高嶺格（その他），チエ・キョンファ（その他），藤井光（その他），吉澤弥生（その他），蔵屋美香（その他）、フィルムアート社（2016）
- 『アートと社会』  
竹中平蔵，南條史生、東京書籍（2016）

- 『ソーシャリー・エンゲイジド・アート入門 アートが社会と深く関わるための 10 のポイント』  
パブロ・エルゲラ (Pablo Helguera)、【訳者】特定非営利活動法人 アート&ソサイエティ研究センター、フィルムアート社 (2015)
- 『キュレーションの現在—アートが「世界」を問い直す』  
榎木野衣, 五十嵐太郎, 蔵屋美香, 黒瀬陽平, 新藤淳, 松井茂, 荒川医, 石崎尚, 遠藤水城, 大森俊克, 金井直, 川西由里, 菊池宏子, 榎野展正, 窪田研二, 芹沢高志, 竹久侑, 土屋誠一, 筒井宏樹, 中村史子, 成相肇, 橋本梓, 服部浩之, 藤川哲, 保坂健二郎, 星野太, 榎田倫広, フィルムアート社編集部 (編集)、フィルムアート社 (2015)
- 『ミュージアムが社会を変える: 文化による新しいコミュニティ創り』  
福原義春、現代企画室 (2015)
- 『地域を変えるミュージアム——未来を育む場のデザイン』  
玉村雅敏、英治出版 (2013)
- 『キュレーション 知と感性を揺さぶる力』  
長谷川祐子、集英社 (2013)
- 『芸術は社会を変えるか?: 文化生産の社会学からの接近』  
吉澤弥生、青弓社 (2011)
- 『メセナ note60 号 特集: 創造力にめざめよう』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2009)
- 『アーツ アンド カルチャー ライブラリー 1 アート・インダストリー 究極のコモディティを求めて』  
辛美沙、美学出版 (2008)
- 『アーツ アンド カルチャー ライブラリー5 グラスルーツ・シアター アメリカの地域芸術を探して』  
ロバート・ガード、美学出版 (2008)
- 『ワークショップのいま—近代性の組み換えに向けて』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター (2008)
- 『メセナ note56 号 特集: アジアのアートパワー』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2008)
- 『パフォーミングアーツにみる 日本人の文化力』  
文化科学研究所、水曜社 (2007)
- 『文化の対話力-ソフト・パワーとブランド・ナショナリズムを越えて-』  
岩淵功一、日本経済新聞社 (2007)
- 『文化力-日本の底力』  
川勝平太、ウェッジ (2006)



- 『日本-イタリア 国際シンポジウム Nouve Technologie sulle Vie della Cultur/創造と再生』  
NIRA、NIRA（2005）
- 『MEETING CARAVAN ミーティングキャラバン～日本縦断、アートミーティングの旅～』  
N-mark、BankART（2005）
- 『メセナセミナーシリーズ No1：芸術立国は可能か？（平田オリザ）』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2003）
- 『あっ！！その手があったかモノづくり ランデヴープロジェクトの軌跡』  
赤池学、ウェッジ（2003）
- 『グローバル化で文化はどうなる？ --日本とヨーロッパの対話』  
EU・ジャパンフェスト日本委員会、藤原書店（2003）
- 『「美の文明」をつくる --「力の文明」を超えて』  
川勝平太、筑摩書房（2002）
- 『絵とき 百貨店「文化誌」』  
宮野力哉、日本経済新聞社（2002）
- 『芸術受容の近代的パラダイム』  
河原啓子、美術年鑑社（2001）
- 『日本産業の構造変革』  
橋本介三・小林伸生・中川幾郎、芙蓉書房出版（2000）
- 『共同創造の原点を探る アートは社会をひらくか サマーアートスクール シンポジウム 1999』  
クリエイティブ・アート実行委員会（2000）
- 『ドキュメント鑑賞教室』  
芸団協芸能文化情報センター、日本芸能実演家団体協議会（1999）
- 『新しい大地の詩』  
川勝平太・河上倫逸・諸井誠、三省堂（1999）
- 『コラボレーション 芸術の可能性』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（1995）
- 『豊かさの社会学 変革の時代の生きがい求めて』  
佐々木晃彦、丸善（1994）
- 『「アーツフォーラム、21世紀への提言」第1回 芸術表現と享受の新たな接点を求めて』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1994）

- 『生活の芸術化 ラスキン、モリスと現代』  
池上惇、丸善（1993）
- 『芸能浴宣言』  
芸能文化問題研究委員会、日本芸能実演家団体協議会（1992）
- 『季刊メセナ No. 7 1991 年冬号：90 年代の芸術の登竜門』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1991）
- 『文化とは』  
イモンド・ウィリアムズ、晶文社（1985）

## アートマネジメントの主体

### 企業

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

#### 企業メセナ

---

- 『企業メセナへのアプローチガイド』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2020）
- 『企業の社会貢献と現代アートのまちづくり』  
三浦典子、溪水社（2018）
- 『芸術文化の投資効果 メセナと創造経済』  
加藤種男、水曜社（2018）
- 『企業メセナの理論と実践 なぜ企業はアートを支援するのか』  
菅家正瑞、岡部 勉、岡部由紀子、木村博子、太下義之、山川敦子、加納暁子、大室晃子、大室康一、高萩 宏、佐藤正治、古賀弥生、片倉康行、池田卓夫、水曜社（2010）
- 『メセナ note63 号 特集：わっしょい商店街』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note62 号 特集：緊急提言「ニュー・コンパクト」～文化による地域再生』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note61 号 特集：寄付は楽しい』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note60 号 特集：創造力にめざめよう』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note59 号 特集：メセナの成果をどう測るか』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note58 号 特集：オンリーワンメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『メセナ note57 号 特集：メセナによる次世代育成』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『メセナ note55 号 特集：演劇と企業メセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）

- 『メセナ note54 号 特集：民間からの文化政策提言』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『メセナ note53 号 特集：アートと市民参加』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『メセナ note52 号 特集：メセナの創造都市宣言』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note51 号 特集：身近なメセナを探そう』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note50 号 特集：変わりゆく非営利セクター』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note49 号 特集：アートのつなぎ手、中間支援組織』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note48 号 特集：メセナのお仕事』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『文化遺産保護に果たすメセナの役割』  
田島さか恵（筑波大学大学院修士課程芸術研究科世界遺産専攻）（2007）
- 『企業メセナによる自社ストック活用の可能性—芸術文化施設への転用に着目して—』  
田澤紘子（千葉大学大学院自然科学研究科）（2007）
- 『メセナ note47 号 特集：アートの場を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note46 号 特集：社員がいきるメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『メセナ note45 号 特集：企業による音楽支援』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『メセナ note44 号 特集：地域を変える！？アートパワー』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『メセナ note43 号 特集：＜創造＞を支えるメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『メセナ note42 号 特集：アート・マネジメント教育』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）

- 『メセナ note41 号 特集：メセナとアート NPO』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『メセナ note40 号 特集：こどもとアート』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『メセナ note39 号 特集：フェスティバル考』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『メセナ note38 号 特集：文化で「まち」が元気になる』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『第 10 回全国メセナネットワーク東京会議 REPORT』  
全国メセナネットワーク事務局、全国メセナネットワーク事務局（2005）
- 『アートサポートふくおか リサーチシリーズ Vol.2「福岡都市圏における企業メセナ活動実態調査」結果報告書』  
アートサポートふくおか、アートサポートふくおか（2005）
- 『アートが知りたい--本音のミュージオロジー』  
岡部あおみ、武蔵野美術大学出版局（2005）
- 『メセナ note37 号 特集：「ニッポンのメセナ」を俯瞰する』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『メセナ白書シリーズ 2005：いま、地域メセナがおもしろい--企業+アート+まちの実践』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2005）
- 『文化とメセナ ヨーロッパ／日本：交流と対話』  
根本長兵衛、人文書院（2005）
- 『企業メセナの新たな展開--アート NPO との連携--«メセナをやるならアート NPO»』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2004）
- 『メセナ セミナーシリーズ No4：メセナはお金だけにあらず！アートの助っ人・モノに場に』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2004）
- 『アサヒビールメセナデータブック』  
アサヒビール環境社会貢献部、アサヒビール環境社会貢献部（2003）
- 『OMS とその時代--柱のある劇場--扇町ミュージアムスクエアの 18 年』  
小堀純（編集顧問）、ぴあ（関西）（2003）
- 『メセナ白書シリーズ 2003：メセナマネジメント--戦略的社会貢献のすすめ』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2003）

- 『メセナ セミナーシリーズ No3 : 若手登竜門としてのアーティスト支援を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2003）
- 『企業の芸術文化活動に対する支援意向等調査 調査報告書』  
三菱総合研究所、三菱総合研究所（2002）
- 『文化・芸術と企業活動についての実態調査（アンケート調査結果報告書）』  
静岡県生活・文化部文化政策室（2002）
- 『イベントの底力--企業を変える、地域を変える』  
真木勝次・平野暁臣、日経 BP 企画（2002）
- 『国際文化セミナー：アートサポートの創意・工夫 海外の事例から--新たな芸術文化の整備基盤に向けて』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2001）
- 『企業の博物館・科学館・美術館ガイドブック<全国版>』  
経済広報センター、経済広報センター（2001）
- 『メセナ白書 2000（特集：市民は企業メセナをこうみている）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2000）
- 『なぜ、企業はメセナをするのか？ --企業とパートナーを組みたいあなたへ--』  
企業メセナ協議会、トランスアート（2000）
- 『メセナの動きメセナの心』  
福原義春、求龍堂（2000）
- 『メセナ白書 1999（特集：アーティストから見た企業メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1999）
- 『季刊メセナ No. 35 1999年冬号：知的所有権とメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1999）
- 『地域企業から見たサイトウ・キネン・フェスティバル松本--その支援の実態と今後の方向性--』  
伊藤亮二、松本商工会議所（1998）
- 『文化を愛する企業へ--企業文化とメセナ 考え方から実務まで』  
柿崎孝夫、東京美術（1998）
- 『芸術のパトロンたち』  
高階秀爾、岩波新書（1998）
- 『メセナ白書 1998（特集：多様化する地域メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1998）

- 『季刊メセナ No. 34 1998 年秋号：不況に立ち向かうメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『季刊メセナ No. 33 1998 年夏号：めざせ！アートマネージャー』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『季刊メセナ No. 32 1998 年春号：子どもたちのアート環境』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『季刊メセナ No. 31 1998 年冬号：メセナ最新キーワード 20』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『企業ミュージアム』  
亀田訓生、ピーエーエヌ（1998）
- 『Jリーグと「メセナ」「フィランソロピー」』  
加藤久（1997）
- 『美術品--保存と管理「企業アートコレクションの管理セミナー」テキストブック』  
企業アートコレクションの管理セミナー運営委員会、企業アートコレクションの管理セミナー運営委員会（1997）
- 『「企業メセナ研究 I」課題研究発表集 <課題> 企業のメセナ活動について』  
成安造形大学造形美術科芸術計画群、成安造形大学（1997）
- 『メセナ白書 1997（特集：企業の顕彰・コンクール事業）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1997）
- 『季刊メセナ No. 30 1997 年秋号：進め！メセナ少年--支援要請の現場から』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『季刊メセナ No. 29 1997 年夏号：民間からの政策提言[芸術編]』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『季刊メセナ No. 28 1997 年春号：21 世紀のメセナを支える人びと』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『季刊メセナ No. 27 1997 年冬号：ビジネスマンのための現代アート講座--現代アートはビジネスマンの必修科目だ！』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『企業博物館事典』  
日外アソシエーツ編集部、日外アソシエーツ（1997）
- 『メセナに関するアンケート調査結果』  
埼玉県コミュニティ協議会メセナ委員会、埼玉県コミュニティ協議会メセナ委員会（1996）

- 『九共経済論集第 22 号 九州における企業メセナ活動の一考察--ポスト・バブル経済時代の芸術と企業 --』  
佐々木晃彦、九州共立大学地域経済研究所（1996）
- 『メセナ白書 1996（特集：企業の芸術文化施設）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1996）
- 『全国版 企業の文化スポットマップ』  
経済広報センター、経済広報センター（1996）
- 『季刊メセナ No. 26 1996 年秋号：企業の芸術文化施設を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『季刊メセナ No. 25 1996 年夏号：アート界を揺さぶるインターネット』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『季刊メセナ No. 24 1996 年春号：NPO って何？ --アート界への影響を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『季刊メセナ No. 23 1996 年冬号：創造体験としてのワークショップ--啓蒙の時代から実践の時代へ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『メセナ白書 1995（特集：世界のメセナ--24 カ国のメセナ・レポート）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1995）
- 『国際メセナ会議 95 芸術・文化と企業メセナ 21 世紀への展望』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『企業の文化貢献を担う企業博物館』  
企業史料協議会、企業史料協議会（1995）
- 『企業博物館--ミュージアム・マネジメント』  
諸岡博熊、東京堂出版（1995）
- 『東海地区メセナファイル』  
東海メセナ研究会（1995）
- 『海外企業博物館サマリー集』  
経済広報センター、経済広報センター（1995）
- 『「世界企業博物館資料展」展示館リスト』  
経済広報センター、経済広報センター（1995）
- 『季刊メセナ No. 22 1995 年秋号：映画 100 年と日本映画の現在（いま）』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）



- 『季刊メセナ No. 21 1995 年夏号：国際メセナ会議'95 | 阪神大震災がメセナに問いかけるもの』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『季刊メセナ No. 20 1995 年春号：激論！文化政策』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『季刊メセナ No. 19 1995 年冬号：沸き立つアジアは、いま--芸術と文化支援の現状』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『広告人連邦・日本の編集長 1994 年 10 月号 ポストバブルのメセナ・フィランソロピー』  
東京アドエージ、東京アドエージ（1994）
- 『ある社長の企業メセナ物語』  
尾本信平（1994）
- 『ホール・パーソン・カンパニー---メセナがひらく「全人格企業」の未来形』  
深谷哲夫、時事通信社（1994）
- 『メセナ白書 1994 （特集：地方自治体と企業メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1994）
- 『季刊メセナ No. 18 1994 年秋号：アートを社会に解き放つ--普及・参加・ボランティア』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『季刊メセナ No. 17 1994 年夏号：マルチメディア時代の芸術--テクノロジーがもたらす変容』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『季刊メセナ No. 16 1994 年春号：アート・マネージメント 教育と現場--アートと社会の出会いをアレンジ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『季刊メセナ No. 15 1994 年冬号：岐路に立つヨーロッパのメセナ--変動がもたらす公・民の新たなバランス』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『全国 企業の文化施設ガイド '94』  
経済広報センター、経済広報センター（1994）
- 『「アーツフォーラム、21 世紀への提言」第 1 回 芸術表現と享受の新たな接点を求めて』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1994）
- 『日本の産業遺産 300 選（3）』  
産業考古学会、同文館出版（1994）
- 『日本の産業遺産 300 選（2）』  
産業考古学会、同文館出版（1994）

- 『企業の文化施設立地動向調査 報告書』  
神奈川県県民部文化室（1993）
- 『企業の社会貢献活動 企業メセナ活動に関する実態調査』  
愛知県文化振興事業団・地域問題研究所（1993）
- 『アクロス 特集 大不況文化とメセナ』  
パルコ、パルコ（1993）
- 『経済と文化—ドイツにおける企業と芸術支援』  
ハンス・バウムガルト、電通総研（1993）
- 『メセナ白書 1993 （特集：企業メセナと舞台芸術、企業メセナと市民）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1993）
- 『地方自治ジャーナルブックレット No.5 行政と企業は文化支援で何ができるか』  
日本文化行政研究会・企業メセナ協議会、公人の友社（1993）
- 『季刊メセナ No. 14 1993 年秋号：今を生きる（リビング）アート--企業は芸術をとおして価値創造をめざす』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1993）
- 『季刊メセナ No. 13 1993 年夏号：音楽支援の光と陰--企業はクラシックがお好き』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1993）
- 『季刊メセナ No. 12 1993 年春号：メセナは経営資源となりうるか--支援する側、される側。双方向の刺激を糧として』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1993）
- 『日本の産業遺産 300 選（1）』  
産業考古学会、同文館出版（1993）
- 『「周年事業」の進め方ガイドブック』  
近江哲史、日刊工業新聞社（1993）
- 『ミュージアムマネージメント 産業文化施設の運営』  
諸岡博熊、創元社（1993）
- 『企業の文化支援活動に関するアンケート調査結果の概要』  
北海道生活福祉部生活文化課（1992）
- 『メセナと都市開発事業(吉本光宏)』  
メディアシティ OSAKA'91 事務局、関西情報センター（1992）
- 『POSI 創刊号 特集：企業は芸術を支えるか？』  
調布画廊、調布画廊（1992）

- 『芸術・文化支援活動に関する調査』  
マーケティングセンター (1992)
  
- 『億万長者の贈り物--美術館をつくった6人の物語』  
岩淵潤子、日本経済新聞社 (1992)
  
- 『コーポレート・アート・マニュアル』  
ファイン・アート・コミュニケーションズ、日刊工業新聞社 (1992)
  
- 『メセナ財団をつくりませんか--芸術文化を支援する助成財団設立のお誘い--』  
芸術文化助成財団協議会 (1992)
  
- 『企業の社会性と文化』  
JSMS、都市文化社 (1992)
  
- 『メセナ白書'92』  
企業メセナ協議会、ぎょうせい (1992)
  
- 『季刊メセナ No. 11 1992年冬号：公共ホールの新時代は来るか--芸術文化の施設のあり方を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1992)
  
- 『季刊メセナ No. 10 1992年秋号：企業メセナの現在--"メセナ"をより定着させる方途を探る』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1992)
  
- 『季刊メセナ No. 9 1992年夏号：アメリカのメセナ事情から何を学ぶか--「日米メセナ・サミット」に参加して』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1992)
  
- 『季刊メセナ No. 8 1992年春号：ファンド・レイジングの現場から全国各地にメセナ、フィランソロピーの新しい動き』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1992)
  
- 『文化のパトロネージ--文化という仕掛けを読む』  
電通総研、洋泉社 (1991)
  
- 『自分さがしのパトロネージュ』  
ダヴィンチ倶楽部、メディアファクトリー (1991)
  
- 『トップが語る美しい企業の文化 Mecenat, Philanthropy & Good Company』  
片方善治、毎日コミュニケーションズ (1991)
  
- 『MAINICHI ART NEWS 10 CORPORATE ART 文化としてのアート戦略』  
毎日コミュニケーションズ美術事業部、毎日コミュニケーションズ (1991)
  
- 『文化評論 NO.369 メセナ 問われる企業の姿勢』  
文化評論、新日本出版社 (1991)

- 『FP : Fusion Planning 35号 企業メセナ最新事例・アート支援の行方』  
FP (エフ・ピー)、学習研究社 (1991)
- 『21世紀版画 メセナ対談』  
「21世紀版画」(現.プリント21)、プリント21 (1991)
- 『企業と文化の対話 [メセナとは何か]』  
佐々木晃彦、東海大学出版会 (1991)
- 『九州・山口の企業文化活動』  
九州経済調査協会 (1991)
- 『企業の文化活動に関する調査』  
大阪商工会議所 (1991)
- 『メセナ用語集 '91』  
京都府東京経済情報センター、京都府東京経済情報センター (1991)
- 『メセナ用語集 '91 改訂版』  
京都府東京経済情報センター、京都府東京経済情報センター (1991)
- 『企業メセナの研究』  
凸版印刷開発推進センター (1991)
- 『東海メセナレポート 情報一覧』  
東海メセナ研究会 (1991)
- 『ヨーロッパのメセナ』  
欧州評議会編・企業メセナ協議会訳、企業メセナ協議会 (1991)
- 『メセナ白書'91』  
企業メセナ協議会、ぎょうせい (1991)
- 『季刊メセナ No. 7 1991年冬号 : 90年代の芸術の登竜門』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1991)
- 『季刊メセナ No. 6 1991年秋号 : 国際文化交流を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1991)
- 『季刊メセナ No. 5 1991年夏号 : メセナ、この1年--日本企業の助成活動に何が問われているか』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1991)
- 『季刊メセナ No. 4 1991年春号 : もうひとつのメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (1991)

- 『メセナ叢書 NO.1 フランス及びヨーロッパにおける企業の文化擁護活動』  
電通、電通（1990）
- 『メセナ叢書 NO.2 フランス及びヨーロッパにおけるアメリカ企業のメセナ事例』  
電通、電通（1990）
- 『望星 11 特集／メセナ・企業は文化を育てられるか』  
東海教育研究所、東海教育研究所（1990）
- 『連続シンポジウム メセナ（アート・サポート）』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1990）
- 『企業の文化活動に関する実態調査報告書』  
日本能率協会コンサルティング、日本能率協会コンサルティング（1990）
- 『企業は文化のパトロンとなり得るか』  
福原義春、求龍堂（1990）
- 『21 世紀企業の美術戦略 CI から CA へ』  
室伏哲郎、講談社（1990）
- 『月刊アドバタイジング 特集：現代「パトロネージ」考』  
電通、電通（1990）
- 『季刊メセナ No. 3 1990 年冬号：アート・フェスティバルはいま...』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1990）
- 『季刊メセナ No. 2 1990 年秋号：日本の「企業メセナ」最新事例』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1990）
- 『季刊メセナ No. 1 1990 年夏号：企業の文化支援--現在と未来』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1990）
- 『企業博物館時代』  
諸岡博熊、創元社（1989）
- 『日仏文化サミット'88 文化と企業 シンポジウムの記録』  
朝日新聞社、朝日新聞社（1988）
- 『企業の文化活動に関する調査報告書』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部、東京都生活文化局コミュニティ文化部（1987）
- 『産業遺産の保存と企業博物館』  
企業史料協議会、企業史料協議会（1987）

- 『日本の企業家と社会文化事業 大正期のフィランソロピー』  
川添登、東洋経済新報社（1987）
- 『企業と文化--企業の文化活動』  
経済広報センター、経済広報センター（1986）
- 『都市・企業の周年記念事業企画事例集』  
総合ユニコム、総合ユニコム（1986）
- 『企業博物館と広報』  
サンケイマーケティング、サンケイ新聞（1985）
- 『企業における文化活動の事例 企業と地域社会とのかかわり』  
大阪商工会議所、大阪商工会議所（1984）
- 『日本の企業博物館』  
小柳功、電通（1984）
- 『企業の文化活動』  
サンケイマーケティング、サンケイ新聞（1983）
- 『企業の文化活動に関する調査報告書』  
大阪商工会議所、大阪商工会議所（1983）
- 『産業の発達史 企業博物館』  
吉田光邦、講談社（1981）
- 『産業施設の開放（オープンハウス）に関する調査研究』  
日本科学技術振興財団、日本科学技術振興財団（1980）
- 『企業施設一般開放の手引き』  
余暇開発センター、大蔵省印刷局（1979）

## 個別企業の文化活動事例

---

- 『AAF review 2002-2016 : アサヒ・アート・フェスティバル 15 年の軌跡と波紋』  
アサヒグループホールディングス、アサヒグループホールディングス株式会社（2018）
- 『直島から瀬戸内国際芸術祭へ—美術が地域を変えた』  
福武総一郎（著）、北川フラム（著）、現代企画室（2016）
- 『客はアートでやって来る』  
山下柚実、東洋経済新報社（2008）
- 『ぼくの複線人生』  
福原義春、岩波書店（2007）

- 『THE5TH NEC ART FORUM & MINI CONCERT 「今、オーケストラが熱い！」—オーケストラと社会との楽しい関係—』  
NECCSR 推進本部社会貢献室、NECCSR 推進本（2007）
- 『わしゃ、世界の金太！平成の大成功者と五人の父』  
高山秀美著・田嶋徳弘編、毎日新聞社（2006）
- 『新しきこと 面白きこと サントリー・佐治敬三伝』  
廣澤昌、文藝春秋（2006）
- 『奇跡の温泉宿 本物のサービス経営』  
鷺田小彌太、すばる社（2004）
- 『京都服飾文化研究財団の 25 年 企業文化の創造』  
新居理絵、京都服飾研究財団（2003）
- 『社史の研究』  
村橋勝子、ダイヤモンド社（2002）
- 『絵とき 百貨店「文化誌」』  
宮野力哉、日本経済新聞社（2002）
- 『DNP125 年史』  
大日本印刷、大日本印刷（2002）
- 『小布施ッショ 長野県小布施町から洗練された発信力』  
セーラ・マリ・カミングス、日経 BP 企画（2002）
- 『大阪起業家ミュージアム』  
大阪商工会議所人材開発部・大阪起業家ミュージアム、大阪商工会議所人材開発部大阪起業家ミュージアム（2001）
- 『ホールに音が刻まれるとき--第一生命ホールの履歴書』  
渡辺和、ぎょうせい（2001）
- 『第一生命ホールものがたり』  
渡辺和、第一生命保険相互会社（2001）
- 『おもろいやないか 佐治敬三とサントリー文化』  
片山修、集英社（2000）
- 『劇場都市 東京オペラシティ物語』  
LOK、工作舎（1999）
- 『直島文化村へのメッセージ』  
秋元雄史・江原久美子、ベネッセコーポレーションコーポレートコミュニケーション室（1998）

- 『銀座物語・福原義春と資生堂文化』  
島森路子、毎日新聞社（1996）
- 『大分銀行本店ロビー展 美術時評集（昭和 54 年-平成 6 年）』  
大分銀行、大分銀行（1995）
- 『資生堂ギャラリー七十五年史--1919-1994』  
富山秀男、求龍堂（1995）
- 『甦れ、美意識。「資生堂ギャラリー七十五年史」のあとがきのあとがき』  
柿崎孝夫、資生堂企業文化部（1995）
- 『趣味の誕生 百貨店がつくったテイスト』  
神野由紀、勁草書房（1994）
- 『サントリークォーター季刊 47：特集サントリーミュージアム[天保山]の魅力』  
サントリー、サントリー（1994）
- 『日生劇場の三十年』  
ニッセイ文化振興財団、ニッセイ文化振興財団（1994）
- 『日生劇場の三十年--全記録--』  
ニッセイ文化振興財団、ニッセイ文化振興財団（1994）
- 『コニカ--画像情報で明日を創造する』  
経済界
- 『ポケット社史』  
編集委員会、経済界（1992）
- 『新しいミュージオロジーを探る 西武美術館からセゾン美術館へ』  
セゾン美術館、リポート（1989）
- 『spiral book』  
ワコール アートセンター、求龍堂（1988）

## 企業文化

---

- 『企業を文化で語る。—メセナ再考 考え方から現状まで』  
柿崎孝夫、東京美術（2007）
- 『企業が文化になるとき～文化をベースに企業と社会の好循環を築く～』  
経済同友会、経済同友会（2006）
- 『アドバタイジング vol.9 企業文化とコミュニケーション』  
電通、電通（2003）



- 『組織文化 経営文化 企業文化』  
梅澤正、同文館出版（2003）
- 『デジタル時代の広報戦略』  
林利隆亀井昭宏、早稲田大学出版部（2002）
- 『CALTURAL CAPITAL』  
山本哲士、場所環境科学高等研究所（2000）
- 『文化資本の経営』  
福原義春・文化資本研究会、ダイヤモンド社（1999）
- 『文化を愛する企業へ--企業文化とメセナ 考え方から実務まで』  
柿崎孝夫、東京美術（1998）
- 『季刊アステーション 1997 春 No.44 大特集「21 世紀の企業像」--日本型経営からいかに脱却するか』  
TBS プリタニカ、TBS プリタニカ（1997）
- 『自由--交換 制度批判としての文化生産』  
ピエール・ブルデュー／ハンス・ハーケ、藤原書店（1996）
- 『文化は熱狂』  
福原義春、潮出版（1995）
- 『感性社会と企業を考える』  
通商産業省生活産業局、通算資料調査会（1993）
- 『企業と文化の時代--魅力的な日本人と呼ばれるための 10 の提言』  
東京商工会議所文化活動推進委員会、東京商工会議所（1993）
- 『企業広報講座 1 経営と広報』  
経済広報センター、日本経済新聞社（1993）
- 『企業広報講座 2 企業イメージと広報』  
経済広報センター、日本経済新聞社（1993）
- 『企業広報講座 3 マスコミと広報』  
経済広報センター、日本経済新聞社（1993）
- 『企業広報講座 4 企業文化と広報』  
経済広報センター、日本経済新聞社（1993）
- 『企業広報講座 5 危機管理と広報』  
経済広報センター、日本経済新聞社（1993）

- 『21 世紀へのニュー・マネジメント第 5 巻 企業と文化』  
加藤秀俊、綜合法令（1993）
- 『多元価値経営の時代』  
福原義春、東洋経済新報社（1992）
- 『企業の社会性と文化』  
市川彰他、都市文化社（1992）
- 『企業文化を考える』  
企業史料協議会、企業史料協議会（1992）
- 『ブレン別冊 コーポレート・マーケティング 1 特集：企業文化創造の時代』  
ブレン別冊、誠文堂新光社（1991）
- 『人が見える企業文化 The Humanization of Japanese Corporations』  
梅澤正、講談社ビジネス（1990）
- 『企業文化の革新と創造--会社には知性と心を』  
梅澤正、有斐閣選書（1990）
- 『企業の文化戦略--非経済の時代を生き抜くトータルデザイン』  
竹内宏・田中一光、ヴィジュアルメッセージ社（1990）
- 『企業と文化のよりよい関係のために』  
アイセック東京大学委員会メセナ企画、国際経済商学学生協会（1992）
- 『企業人の文化行動に関する調査』  
大阪商工会議所、大阪商工会議所（1992）
- 『企業変革への序章--賞賛される会社になるために』  
流通産業研究所、NTT 出版（1992）
- 『NEW 日本的経営と日本企業の新たな道 第 1 期フォーラム研究報告書』  
KAE 経営道フォーラム、KAE 経営道フォーラム（1992）
- 『文化の企業化・企業の文化化--文化と企業のかかわりについて』  
堤清二、社会経済国民会議調査資料センター（1991）
- 『トップが語る美しい企業の文化』  
片方善治、毎日コミュニケーションズ（1991）
- 『第 4 回コーポレート・コミュニケーション・セミナー報告書：ヨーロッパにおける CC 活動』  
コーポレート・コミュニケーション委員会、国際ビジネスコミュニケーション協会（1991）

- 『第 5 回コーポレート・コミュニケーション・セミナー報告書：ビジネスとアート、草の根コーポレート・コミュニケーション活動事例』  
コーポレート・コミュニケーション委員会、国際ビジネスコミュニケーション協会（1991）
- 『日経 広告手帖 特集：企業の文化戦略を考える』  
日本経済新聞社広告局マーケティング企画部、日本経済新聞社（1990）
- 『PR 環境情報 No.15 企業文化』  
電通 PR センター、電通 PR センター（1989）
- 『SSS（スリーエス）の文化戦略』  
中島誠、現代書館（1989）
- 『日仏文化サミット'88 文化と企業 シンポジウムの記録』  
朝日新聞、朝日新聞社（1988）
- 『企業文化の展開』  
瀬沼克彰、大明堂（1986）
- 『現代企業文化戦略症候群』  
上野征洋、宣伝会議（1984）
- 『企業の文化戦略』  
瀬沼克彰、学文社（1982）
- 『巨大企業の文化戦略』  
鈴木均、勁草書房（1982）

## 企業と NPO・行政・市民のパートナーシップ

---

- 『メセナ note41 号 特集：メセナとアート NPO』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『まちにアートの風が吹く』  
アサヒ・アートフェスティバル実行委員会、マルモ出版（2005）
- 『企業メセナの新たな展開--アート NPO との連携--«メセナをやるならアート NPO»』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2004）
- 『NPO と企業 共働へのチャレンジ』  
パートナーシップ・サポートセンター 岸田眞代 高浦康有、同文館出版（2003）
- 『企業と NPO のためのパートナーシップガイド 企業 & NPO の協働事例を中心に』  
パートナーシップ・サポートセンター（PSC）岸田眞代、パートナーシップ・サポートセンター（PSC）（2001）

- 『月刊 Keidanren 2000 年 5 月号 : 特集 NPO が活躍する社会』  
経済団体連合会、経済団体連合会 (2000)
- 『アメリカの先進事例に学ぶ 評価とインターメディアリー---企業と NPO のパートナーシップ--スタディーツアー in アメリカ Part III--サンフランシスコ・ワシントン DC 編--』  
パートナーシップ・サポートセンター、パートナーシップ・サポートセンター (2000)
- 『企業と NPO のパートナーシップ』  
山本正、アルク (2000)
- 『社会貢献白書 1999--企業と社会のパートナーシップ--』  
経済団体連合会、日エフォーラム社 (1999)
- 『NPO 大国アメリカの市民・企業・行政 アメリカ視察報告』  
北川秀人、IIHOE (人と組織と地球のための国際研究所) (1999)
- 『月刊 Keidanren 1998 年 3 月号 : 特集 市民社会の到来を睨んだ企業像』  
経済団体連合会、経済団体連合会 (1998)
- 『企業と NPO のパートナーシップ Part I--サンフランシスコ・ニューヨーク編--』  
ヒューマンネットあい／パートナーシップ・サポートセンター、ヒューマンネットあい／パートナーシップ・サポートセンター (1996)
- 『企業と NPO のパートナーシップ Part II--アトランタ・デトロイト編--』  
パートナーシップ・サポートセンター、パートナーシップ・サポートセンター (1996)
- 『行政と企業は文化支援で何ができるか』  
日本文化行政研究会、公人の友社 (1993)
- 『社会貢献活動と自治体--市民・企業・自治体のパートナーシップ--』  
「民間における社会貢献活動と自治体とのパートナーシップについて」に関する調査研究チーム、埼玉県自治文化課 (1993)

## 企業の社会貢献・フィランソロピー・企業市民

---

- 『ネットワーク型社会における 企業の社会貢献活動の現状と課題』  
小谷 (三浦) 典子 山口大学人文学部教授 (2009)
- 『英・仏・独における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告』  
国際交流基金、国際交流基金 (2008)
- 『タイにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金 (2008)
- 『中国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告』  
国際交流基金、国際交流基金 (2008)

- 『インドにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『メキシコにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『韓国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2007）
- 『2006 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2007）
- 『日本企業の中国における社会貢献活動に関するアンケート調査結果報告書』  
中国日本商会、中国日本商会（2006）
- 『2004 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2006）
- 『2005 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2006）
- 『東京大学総合研究博物館・博物館工学ゼミ・レポート集 企業の社会貢献・文化貢献』  
博物館工学ゼミ、東京大学総合研究博物館ミュージアムテクノロジー寄附研究部門（2006）
- 『2003 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2005）
- 『社会貢献へようこそ SA 読本 Vol.8』  
高橋陽子、求龍堂（2005）
- 『2003 年度社会貢献活動実績調査結果』  
日本経済団体連合会社会本部、日本経済団体連合会社会本部（2005）
- 『2002 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2004）
- 『企業の社会貢献とコミュニティ』  
三浦典子、ミネルヴァ書房（2004）
- 『企業経営の社会性研究[第 2 版] ■ 社会貢献・地域環境・高齢化への対応』  
丹下博文、中央経済社（2004）
- 『日本型「企業の社会貢献」 商人道の心を見つめる』  
青木利元、東峰書房（2004）

- 『有力企業の社会貢献度 2003』  
朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会、朝日新聞文化財団（2003）
- 『社会貢献資料 2002--グッド・カンパニーへの変革 II』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2002）
- 『有力企業の社会貢献度 2001』  
朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会、P H P 研究所（2001）
- 『会社人間、社会に生きる』  
福原義春、中公新書（2001）
- 『この発想が会社を変える--新しい企業価値の創造』  
経団連社会貢献担当者懇談会、産経新聞ニュースサービス（2001）
- 『福原義春の講演--変化の時代と人間の力』  
福原義春、慶應義塾大学出版会（2001）
- 『企業経営の社会性研究-社会貢献・地球環境・高齢化への対応』  
丹下博文、中央経済社（2001）
- 『暮らしにみる社会貢献（フィランソピー）-あの会社がこんなユニークな活動を・・・』  
藤井則彦、現代図書（2001）
- 『有力企業の社会貢献度 2000』  
朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会、P H P 研究所（2000）
- 『企業の社会貢献と市民活動--企業のフィランソピー調査報告書--』  
市民がつくる政策調査会フィランソピー活動調査プロジェクト、市民がつくる政策調査会（2000）
- 『企業の社会貢献活動実態統計調査報告書』  
神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター（2000）
- 『価値を創造する助成へ フィランソピーの新しい課題』  
マイケル・E・ポーター／マーク・R・クレマー／北川秀人監訳、IIHOE（2000）
- 『フィランソピーの橋』  
林雄二郎・加藤秀俊、TBSブリタニカ（2000）
- 『社会貢献白書 1999--企業と社会のパートナーシップ--』  
経済団体連合会、日エフォーラム社（1999）
- 『企業の担当者のための地域社会貢献ガイドブック』  
埼玉県コミュニティ協議会、埼玉県（1999）

- 『企業の社会貢献活動 実態統計調査報告書』  
神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター（1998）
- 『個人・企業の社会貢献--21 世紀ビジネスをアメリカに学ぶ』  
大久保昇、オーク（1998）
- 『Jリーグと「メセナ」「フィランソロピー」』  
加藤久（1997）
- 『フィランソロピー入門--社会貢献、そして自分探しの社会参加』  
高橋陽子、日本フィランソロピー協会・海南書房（1997）
- 『いきいきビジネス・ライフ 脱・会社漬け人間のすすめ』  
藤井則彦、丸善プラネット（1997）
- 『良い会社 悪い会社--新しい企業評価基準を求めて--』  
電機連合総合研究センター、東洋経済新報社（1997）
- 『企業の社会貢献度 1996』  
朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会、PHP 研究所（1996）
- 『福祉時代の地域社会貢献と文化・芸術支援に関する社会経済学的研究』  
フィランソロピー研究フォーラム・21 世紀ひょうご創造協会、フィランソロピー研究フォーラム・21 世紀ひょうご創造協会（1996）
- 『トップが語る 企業経営と社会貢献』  
日本貿易振興会（JETRO）、日本貿易振興会（JETRO）（1995）
- 『「よき企業市民」へ発進--日立ロスアンゼルスへの挑戦』  
小浜正幸、プレジデント社（1995）
- 『アメリカのコミュニティと企業フィランソロピー 寄付とボランティアの実践』  
日本貿易振興会（JETRO）、日本貿易振興会（JETRO）（1994）
- 『企業フィランソロピーへの出発--あなたにできる社会貢献』  
電通コーポレート・コミュニケーション局、電通（1994）
- 『企業の社会貢献ハンドブック--近未来の企業像』  
経済団体連合会、日本工業新聞社（1994）
- 『経営活動の社会貢献』  
渡辺利得、嵯峨野書院（1994）
- 『検証 社会貢献志向の潮流--フィランソロピーの新しい方向性を探る』  
丹下博文、同文館（1994）

- 『社会貢献活動に関するニュースリリース・資料 タイトル集』  
経済広報センター（1994）
- 『企業の地域社会貢献ガイドブック』  
埼玉県コミュニティ協議会、埼玉県（1994）
- 『新たな社会貢献活動の方向性を求めて--中小企業にまなぶ活動のあり方--』  
東京商工会議所、東京商工会議所地域経済部（1994）
- 『企業市民活動と都民・行政の係わりに関する調査』  
東京都企画審議室、東京都企画審議室調査部（1994）
- 『グッド・カンパニーへの変革（1）』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（1993）
- 『フィランソピーと社会 その日本的課題』  
林雄二郎・山岡義典、ダイヤモンド社（1993）
- 『フィランソピーの社会経済学』  
本間正明、東洋経済新報社（1993）
- 『開花するフィランソピー--日本企業の進化を問う』  
島田晴雄、TBS プリタニカ（1993）
- 『本業をひらく 企業の社会貢献活動・マニュアル』  
木原孝久、笹川平和財団（1993）
- 『アメリカにおけるフィランソピー財団』  
エリザベス・ボリス、米国財団協議会（1993）
- 『アメリカのコミュニティと企業フィランソピー』  
松岡紀雄監修、日本貿易振興会（1993）
- 『フィランソピー 企業と人と社会貢献』  
出口正之、丸善ライブラリー（1993）
- 『平成4年度ジェトロ・フィランソピー・セミナー「米国における企業の社会貢献を考える」開催報告書』  
日本貿易振興会（1993）
- 『「企業市民」活動の現状と課題 社会の一員としての企業』  
東京都企画審議室調査部、東京都情報連絡室（1993）
- 『企業と地域社会』  
地方シンクタンク協議会、総合研究開発機構（1993）



- 『企業の社会貢献活動 実例集』  
くらしのリサーチセンター、くらしのリサーチセンター（1993）
- 『企業の社会貢献活動とは ケース・スタディ』  
金子郁容、岩波書店（1993）
- 『支えあう明日のために 社会貢献・文化支援ハンドブック』  
大阪商工会議所、大阪商工会議所（1993）
- 『本業をひらく 企業の社会貢献活動・マニュアル』  
木原孝久、笹川平和財団（1993）
- 『地域開発ニュース 235号 特集：企業の地域貢献活動』  
東京電力営業部サービス課
- 『地域開発ニュース』  
編集部、東京電力（1992）
- 『CC 元気図 【ヒント】わが社にピッタリの活動さがし』  
木原孝久・佐藤まさ子・佐藤信子、福祉教育研究会（1992）
- 『企業の社会貢献ハンドブック』  
MICHAEL NORTON、トライ（1992）
- 『アメリカ・フィランソロピー紀行--日系企業の社会貢献活動』  
四方洋、TBS ブリタニカ（1992）
- 『NIRA 研究 在米日本企業の企業市民性（抜粋） --担うべき役割と地域社会の意識の分析』  
総合研究開発機構、総合研究開発機構（1992）
- 『日本のフィランソロピーを考える--フィランソロピー研究会の論議から--』  
フィランソロピー研究会、公益法人協会（1992）
- 『文化とフィランソロピーに関する調査研究 調査報告書』  
電通総研（1992）
- 『日本企業のフィランソロピー--アメリカ人が見た日本の社会貢献』  
ナンシー・R・ロンドン、TBS ブリタニカ（1992）
- 『ボランティア活動研究第7号 ボランティア活動と企業市民活動』  
大阪ボランティア協会、大阪ボランティア協会（1992）
- 『企業の社会貢献に関する調査』  
ノーサイド・グループ事務総局、CI 総合研究所ノーサイド・グループ事務総局（1992）

- 『フィランソピー・ルネサンス--今、企業が変わる、社員も変わる--』  
ソフト化経済センター、ソフト化経済センター（1992）
- 『東海地方における「企業の社会貢献活動」に関するアンケート調査結果』  
地域問題研究所（1992）
- 『企業による社会活動の現状と今後の展開』  
鈴木広樹（1992）
- 『「企業ボランティア活動」ガイド』  
全国社会福祉協議会、全国社会福祉協議会（1992）
- 『「社会貢献に向けての企業経営の革新」 良き企業市民像を求めて』  
関西経済同友会、関西経済同友会（1992）
- 『体験的フィランソピー 報酬は"感動"』  
渡邊一雄、創流出版（1992）
- 『なぜする、どうする、企業ボランティア』  
矢部武、ダイヤモンド社（1992）
- 『米国における企業フィランソピーの新潮流 良き企業市民像を求めて』  
関西経済同友会、関西経済同友会（1992）
- 『良き市民としての企業』  
木原孝久、カルティヴェイト 21（1992）
- 『市民から見た「企業市民」 企業の社会貢献・「活動企業」の実態』  
木原孝久、日本青年奉仕協会（1991）
- 『アメリカ市民が見た日本企業 期待される企業市民像』  
DANIEL E.BOB、日本経済新聞社（1991）
- 『アメリカにおける企業の社会的責任--フィランソピーと日系企業の対応』  
柏木宏、日本太平洋資料ネットワーク（1991）
- 『企業市民 社会にやさしい企業たち』  
宮本敦夫、日本能率協会（1991）
- 『企業の社会的責任のあり方 企業と地域社会』  
電力中央研究所、電力中央研究所（1991）
- 『企業の社会貢献（フィランソピー） 個人・企業・社会の共生』  
電通総研、日本経済新聞社（1991）

- 『地域貢献企業の時代--地域にやさしい企業像を求めて』  
通商産業省関東通商産業局、通商産業調査会（1991）
- 『共感の戦略--ヒューマン・スケール企業の共感マネジメント』  
野村総合研究所総合研究本部、野村総合研究所（1991）
- 『「好感企業」の時代--21世紀のリーディング・カンパニー』  
中江剛毅、実業之日本社（1991）
- 『企業フィランソピーの時代--よき企業市民への道』  
長坂寿久、日本貿易振興会（1991）
- 『「企業風土」大転換の時代』  
島谷泰彦、オーエス出版社（1991）
- 『論説会議 1991. 8月号 企業市民特集 今なぜフィランソピーか』  
国民政治研究会、国民政治研究会（1991）
- 『21世紀型企業の創造』  
碓井慎一・ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部、ダイヤモンド社（1991）
- 『21世紀型社会への構図』  
三菱総合研究所、ダイヤモンド社（1991）
- 『企業と社会とのコミュニケーション--アンケート調査報告』
- 『マス・メディアとのコミュニケーション 企業の社会貢献活動』  
経済広報センター、経済広報センター（1991）
- 『消費者からみた企業の社会貢献活動／急回復みせた消費者の購買意欲』  
日本リサーチ総合研究所公益事業部、日本リサーチ総合研究所（1991）
- 『調査第 153号 企業の社会的貢献（フィランソピー）の方向と課題』  
日本開発銀行、日本開発銀行（1991）
- 『企業の社会貢献活動関連資料一覧』  
経済団体連合会・海外事業活動関連協議会、経済団体連合会（1991）
- 『有力企業の社会貢献活動実態調査 1991年版』  
東京プレントラスト、東京プレントラスト（1991）
- 『企業倫理の制度化に向けて（第1回マネージングビジネスエシックス国際比較調査報告書）』  
日本生産性本部経営開発部経営資料センター、日本生産性本部経営開発部経営資料センター（1991）
- 『日米シンポジウム 社会貢献活動と民間の役割』  
大阪商工会議所産業経済部、大阪商工会議所（1991）

- 『米国のコーポレート・シチズンシップ』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1991）
- 『英国のコーポレート・シチズンシップ』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1991）
- 『オーストラリアのコーポレート・シチズンシップ』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1991）
- 『タイとフィリピンのコーポレート・シチズンシップ』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1991）
- 『フィランソロピーについて--今、アメリカに学ぶもの--』  
藤原治、世界平和研究所（1990）
- 『「豊かな文化国家」実現のためのグランド・デザイン』  
関西経済同友会 文化と経済委員会、関西経済同友会（1990）
- 『「豊かな文化国家への戦略」調査団 個別訪問先報告書』  
関西経済同友会 文化と経済委員会、関西経済同友会（1990）
- 『コーポレートシチズンシップ--21 世紀の企業哲学』  
笹川平和財団・コーポレート・シチズンシップ研究会・監修.田淵節也、講談社（1990）
- 『米国の企業フィランソロピー 国際シンポジウム「米国地域社会における良き企業市民の条件」報告書』  
日本国際交流センター、海外事業活動関連協議会（1990）
- 『企業と地域社会 "良き企業市民"の条件 米国の地域社会における企業の社会活動に関する調査ミッション報告』  
日本国際交流センター、日本国際交流センター（1989）
- 『在米日本企業の C C 活動 よき企業市民たりうるか』  
コーポレート・コミュニケーション運営委員会、国際ビジネスコミュニケーション協会（1988）
- 『フィランソロピーの役割 国際化社会における民間機関の役割と機能』  
日本国際交流センター、総合研究開発機構（1988）
- 『新しい企業支援』  
FRANK KOCH、萬代久尚（1985）
- 『企業による公益活動』  
米国財団協議会、日本国際交流センター（1985）
- 『「企業の社会活動」資料集 1983』  
産研、産研（1983）

- 『企業寄付増加の経済的要因』  
RALPH L.NELSON、萬代久尚（1982）
- 『アメリカに生きる日本企業--企業寄附の哲学--』  
経済広報センター、経済広報センター（1982）
- 『「企業の社会貢献」資料集 1980』  
産研、産研（1980）
- 『「企業の社会貢献」資料集 1978』  
産研、産研（1978）
- 『コミュニティってなんや 企業と地域社会の情報交流』  
三浦保、ダイヤモンド社（1978）
- 『企業とコミュニティ』  
地域社会研究所、国勢社（1977）
- 『企業と地域社会の一体化作戦 事例・現代 P R 戦記』  
町田實道、ダイヤモンド社（1977）
- 『コミュニティ・キャンペーン』  
田村紀雄、サイマル出版会（1977）
- 『企業のフィランソロピー』  
MARION FREMONT SMITH、日本国際交流センター（1976）
- 『企業における地域社会活動のすすめ方』  
加固三郎、日本経営者団体連盟（1974）

## 企業の社会的責任（CSR）・社会的責任投資（SRI）・ガバナンス

- 『今こそ企業家精神あふれる経営の実践を～「三面鏡経営」と「5つのジャパン・ニューディール」の推進による「未来価値創造型 CSR」の展開～』  
経済同友会、経済同友会（2009）
- 『CSR 時代の社会貢献活動—企業の現場から—』  
日本経団連社会貢献推進委員会、日本経団連出版（2008）
- 『日本の市民社会と CSR CSR アフィニティグループ報告書』  
日本 NPO 学会編、日本 NPO 学会事務局（2008）
- 『六方よし文書 江戸の「三方よし」から平成の「六方よし」へ』  
六方よし文書策定部会企業倫理委員会日本取締役協会、六方よし文書策定部会・企業倫理委員会・日本取締役協会（2008）

- 『CSR イノベーション—事業活動を通じたCSRによる新たな価値創造—』  
経済同友会、経済同友会（2007）
- 『CSRとコーポレート・ガバナンスがわかる事典』  
佐久間信夫・水尾順一・水谷内徹也、創成社（2007）
- 『決定版 わかるCSR 基本から最前線まで』  
三菱UFJリサーチ&コンサルティングCSR研究プロジェクト、同文館出版（2006）
- 『企業の社会的責任（CSR）について—思想・理論の展開と今日的なあり方—』  
橋高研二、農林金融（2006）
- 『地方銀行とCSR—環境保全への取組みを中心に—』  
古江晋也、農林金融（2006）
- 『CSRで経営力を高める』  
水尾順一、東洋経済新報社（2005）
- 『コーポレート・コミュニケーションの展望 CSRコミュニケーション2005』  
トッパンアイデアセンター企画・制作/トッパンエディトリアルコミュニケーションズ編、凸版印刷（2005）
- 『CSR 企業価値をどう高めるか』  
高巖・日経CSRプロジェクト、日本経済新聞社（2004）
- 『GOODNESS「良い」会社になる「良い」会社にする』  
日本プラントメンテナンス協会、JIPMソリューション（2004）
- 『企業経営の社会性研究』  
丹下博文、中央経済社（2005）
- 『企業の社会的責任 求められる新たな経営観』  
高巖・辻義信・Scott T. Davis 他、日本規格協会（2004）
- 『企業の社会的責任 事例による企業活動最前線』  
日本規格協会編、日本規格協会（2004）
- 『CSR経営 企業の社会的責任とステイクホルダー』  
谷本寛治、中央経済社（2004）
- 『SRI 社会的責任投資入門』  
谷本寛治、日本経済新聞社（2003）
- 『経営倫理』  
日本経営倫理学会（監修）、水谷雅一（編著）、同文館出版（2003）

- 『あなたの会社の総合評価：ベスト企業 1997』  
朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会、PHP 研究所（1997）
- 『米国のコーポレート・ガバナンスの潮流』  
海外事業活動関連協議会、商事法務研究会（1995）
- 『「ドラッカーが語る非営利組織の発想と企業」講演録』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1994）
- 『企業の社会的責任と起業家精神』  
アイセック日本委員会、エスエル出版会（1994）
- 『季刊メセナ No. 12 1993 年春号：メセナは経営資源となりうるか--支援する側、される側。双方向の刺激を糧として』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1993）
- 『日本企業の経営理念-「社会貢献」志向の経営ビジョン』  
水谷内徹也、同文館出版（1992）
- 『ファンタスティック・コーポレーション』  
岡田芳郎、日本マンパワー出版（1992）
- 『摩擦の中のアメリカ進出 日本企業のリスク管理と社会貢献』  
東京海上火災保険、ジャパントイムズ（1992）
- 『「企業風土」大転換の時代』  
島谷泰彦、オーエス出版（1991）
- 『現代の企業と社会--企業の社会的責任の今日的展開』  
桜井克彦、千倉書房（1991）
- 『市民主義経営 企業の論理から市民の論理へ』  
十時昌、日本能率協会（1991）
- 『「多元価値経営」への転換 社会・生活者と共感できる企業経営に』  
経済同友会、経済同友会（1991）
- 『企業の文化事業戦略の現状と展望 経営戦略としての文化事業活動』  
矢野経済研究所、矢野経済研究所（1990）
- 『人と地球に優しい企業』  
森孝之、講談社（1990）
- 『「美しい企業」とは何か--90年代の企業戦略を探る』  
ODS マネジメント研究会、PHP 研究所（1990）

- 『企業の社会的役割に関する調査報告』  
電通総研、電通総研（1990）
- 『平成元年度 総合シンポジウム報告書 人間本位の企業指標に関する調査研究 他』  
現代研究会・社会意識研究会、現代研究会・社会意識研究会（1990）
- 『人間本位の企業指標に関する調査研究』  
産業研究所、産業研究所（1990）
- 『会社の社会的責任』  
松田二郎、商事法務研究会（1988）
- 『企業の社会的責任』  
日本経営学会、千倉書房（1975）



## アートマネジメントの主体

### NPO

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

#### NPO 全般

---

- 『NPO/NGO のための CSR 入門ハンドブック』  
社会福祉法人大阪ボランティア協会 CSR 経営研究部、社会福祉法人大阪ボランティア協会 出版部（2009）
- 『早わかり 認定 NPO 法人制度』  
脇坂誠也（2008）
- 『メセナ note50 号 特集：変わりゆく非営利セクター』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『NPO!? なんのためだれのため—「NPO とまちづくり」現場からの本音トークー』  
村岡兼幸 + まちづくり市民財団、時事通信社（2007）
- 『NPO 白書 2007』  
山内直人・田中敬文・河井孝仁、大阪大学大学院国際公共政策 NPO 研究情報センター（2007）
- 『メセナ note49 号 特集：アートのつなぎ手、中間支援組織』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note50 号 特集：変わりゆく非営利セクター』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『NPO のためのアドボカシー読本』  
市民活動センター神戸・アドボカシー研究会、市民活動センター神戸（2006）
- 『非営利法人会計小六法（平成 19 年度版）』  
日本公認会計士協会、中央経済社（2006）
- 『NPO 全国フォーラム 2005 北陸信越会議 報告書』  
日本 NPO センター/市民フォーラム 21・NPO センター、日本 NPO センター・新潟 NPO 協会・くびき野 NPO サポートセンター（2006）
- 『特定非営利活動法人 ガイドブック（第 6 刷）』  
東京都生活文化局都民生活部管理法人課、東京都（2005）
- 『CB HandBook コミュニティ・ビジネスハンドブック』  
大阪ボランティア協会 NPO 推進センター、大阪府商工労働部商工労働総務課政策グループ（2005）

- 『市民社会論 NGO・NPO を超えて』  
入山映、明石書店（2004）
- 『NPO と新しい社会デザイン』  
塚本一郎・古川俊一・雨宮孝子、同文館出版（2004）
- 『生命の樹のある家 進化する NPO 深化する NPO』  
播磨靖夫、たんぼぼの家（2003）
- 『NPO 支援組織レポート 2002 中間支援組織の現状と課題に関する調査報告書』  
内閣府国民生活局、財務省印刷局（2002）
- 『日本の NPO 労働市場』  
内山直人、日本 NPO 学会 NPO 労働市場研究会（2002）
- 『NPO の資金調達と金融機関の役割—相互理解を進めるために—』  
日本投資銀行 NPO のマネジメントに関する研究会、日本政策投資銀行政策企画部（2001）
- 『特定非営利活動法人（NPO 法人）設立の手引き』  
安田火災記念財団、安田火災記念財団（2001）
- 『特定非営利活動法人（NPO 法人）運営実務の手引き』  
安田火災記念財団、安田火災記念財団（2001）
- 『NPO の活動資金確保の手引き（助成金の巻）』  
安田火災記念財団、安田火災記念財団（2001）
- 『ソーシャルマーケティングニュースレター 8号 特別編集/企業と NPO の新しい出会い』  
博報堂ソーシャルマーケティング研究会、博報堂ソーシャルマーケティング研究会（2001）
- 『NPO 政策の理論と展開』  
初谷勇、大阪大学出版会（2001）
- 『NPO 教育と人材育成 NONPROFIT EDUCATION & TRAINING』  
山内直人、日本 NPO 学会 NPO 教育研究会（2001）
- 『NPO 全国フォーラム 2001 東海会議 報告書』  
日本 NPO センター・市民フォーラム 21・NPO センター、日本 NPO センター・市民フォーラム 21・NPO センター（2001）
- 『NPO 研究の課題と展望 2000』  
塩澤修平・山内直人、日本評論社（2000）
- 『特定非営利活動法人の現状および活動の状況に関する調査報告書』  
シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会（2000）

- 『NPO 理事の 10 の基本的責任』  
リチャード・T・イングラム・北川秀人監訳、National Center of Nonprofit Organization (1999)
- 『日本 NPO 学会第 1 回年次大会 報告概要集』  
日本 NPO 学会事務局、日本 NPO 学会事務局 (1999)
- 『民間非営利活動に係る調査 報告書』  
大阪府、大阪府 生活文化部 (1999)
- 『NPO データブック』  
山内直人、有斐閣 (1999)
- 『時代が動くとき--社会の変革と NPO の可能性』  
山岡義典、ぎょうせい (1999)
- 『ドイツ・ベルギー・ハンガリーの民間非営利組織--国際交流基金'97 地域・草の根交流欧州派遣事業』  
国際交流基金、日本 NPO センター (1998)
- 『非営利セクターを支えるしくみとは--サンフランシスコのサポートセンターに学ぶ--』  
ジャン・マサオカ、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 (1998)
- 『米国における NPO 支援の概要--日本ネットワークズ会議報告書より--』  
日本ネットワークズ会議、日本ネットワークズ会議 (1998)
- 『日本 NPO センター設立に関わる訪米調査報告書』  
日本 NPO センター、日本 NPO センター (1997)
- 『NPO と芸術文化 PAN 地域ネットワークング '96 IN さっぽろの記録 芸術・文化団体の法人格の現状  
調査報告』  
芸術文化振興連絡会議、芸術文化振興連絡会議 (1997)
- 『かながわ県民活動サポートセンター事業報告書 1996 年度』  
かながわ県民活動サポートセンター交流サポート課、かながわ県民活動サポートセンター (1997)
- 『民間公益セクターの全体像 民間公益セクターの全体像把握のための予備研究報告書』  
民間公益セクター研究会、公益法人協会 (1997)
- 『民間非営利組織 NPO とは何か』  
電通総研、日本経済新聞社 (1996)
- 『台頭する非営利セクター』  
レスター・M・サラモン／H・K・アンハイアー、ダイヤモンド社 (1996)
- 『非営利組織と資源提供者間の仲介機関：事例と理論的思考 非営利セクターの「インターメディアリ」機能と役割 修士論文 1995 年度』  
田中弥生 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科) (1995)

- 『社会参加活動推進システムについての調査 報告書』  
社会開発研究所（1995）
- 『英国の民間非営利セクター』  
ダイアナ・ボメロイ、笹川平和財団（1995）
- 『日本的フィランソロピーを求めて 第3セクターが果たす、社会的役割』  
今田忠、関西マガジンセンター
- 『企業市民ジャーナル』  
編集部（1993）
- 『市民生活会計』  
木下照嶽、森山書店（1993）
- 『宗教行政の性格と宗教法人法の特徴』  
根木昭（1993）
- 『アメリカの NPO システム--非営利組織の現状と運営--』  
柏木宏、日本太平洋資料ネットワーク（1992）

## アート NPO

---

- 『コミュニティ・アートプロジェクト ゼロダテ／絶望をエネルギーに変え、街を再生する』  
中村政人（著）、特定非営利活動法人アート NPO ゼロダテ／田山奈津子（編集）、特定非営利活動法人アート NPO ゼロダテ（2013）
- 『アート NPO データバンク 2008（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2009）
- 『アート NPO データバンク 2007（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2008）
- 『アート NPO データバンク 2006（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2007）
- 『メセナ note50 号 特集：変わりゆく非営利セクター』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『メセナ note41 号 特集：メセナとアート NPO』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『全国のアート NPO 一覧』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2005）

- 『まちにアートの風が吹く』  
アサヒ・アートフェスティバル実行委員会、マルモ出版（2005）
- 『企業メセナの新たな展開--アート NPO との連携--«メセナをやるならアート NPO»』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2004）
- 『公立文化施設職員のための 制作基礎知識』  
地域創造、地域創造（2004）
- 『第 2 回世界劇場会議 発表論文集』  
第 2 回「世界劇場会議」実行委員会、第 2 回「世界劇場会議」実行委員会（2004）
- 『地域創造 vol.15 特集：アート NPO』  
地域創造、地域創造（2003）
- 『第 1 回全国アート NPO フォーラム 資料』  
アート NPO フォーラム実行委員会、アート NPO フォーラム実行委員会（2003）
- 『美術手帖 7 月号 特集：アートを起業する 芸術 NPO の可能性』  
美術手帖、美術出版社（2003）
- 『芸術 NPO の新たな潮流--サービス型 N P O に見る可能性--』  
ニッセイ基礎研 REPORT、ニッセイ基礎研究所（2003）
- 『社会とアートのえんむすび 1996--2000 つなぎ手たちの実践』  
ドキュメント 2000 プロジェクト実行委員会、ドキュメント 2000 プロジェクト実行委員会（2001）
- 『なぜ、企業はメセナをするのか？ --企業とパートナーを組みたいあなたへ--』  
企業メセナ協議会、トランスアート（2000）
- 『月刊ギャラリー3 月号 特集：頑張れ!!アート系 NPO』  
月刊ギャラリー、ギャラリーステーション（1999）
- 『NPO 基礎講座 3--現場から見たマネジメント--』  
山岡義典、ぎょうせい（1999）
- 『NPO データブック』  
山内直人、有斐閣（1999）
- 『NPO と芸術文化 PAN 地域ネットワーキング'96 IN さっぽろの記録／芸術・文化団体の法人格の現状  
調査報告』  
芸術文化振興連絡会議 <PAN>、芸術文化振興連絡会議 <PAN>（1997）
- 『NPO 基礎講座--市民社会の創造のために--』  
山岡義典、ぎょうせい（1997）

- 『季刊メセナ No. 24 1996 年春号：NPO って何？ --アート界への影響を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『アメリカの芸術文化活動と NPO-- P A Nアメリカ視察の報告』  
芸術文化振興連絡会議、芸術文化振興連絡会議（1993）

## NGO

---

- 『市民社会論 NGO・NPO を超えて』  
入山映、明石書店（2004）
- 『主要先進諸国における国際交流機関調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2003）
- 『国際協力 NGO ディレクトリー2000 国際協力に携わる日本の市民組織要覧』  
NGO 活動推進センター（J A N I C）、NGO 活動推進センター（J A N I C）（2000）
- 『アジア太平洋の NGO』  
日本国際交流センター、アルク（1998）
- 『米国国際交流機関一覧（抄）1994 年版』  
アライアンス（米国国際教育文化交流団体連盟）、国際交流基金日米センター（1995）

## 公益法人

---

- 『一般社団・財団法人の登記実務—法人設立、変更、公益認定、特例民法法人からの移行—』  
杉浦直紀、稀代浩正、公益財団法人公益法人協会（2009）
- 『芸術団体の公益法人制度活用の手引き』  
日本芸能実演家協議会、日本芸能実演家協議会（2009）
- 『新公益法人制度はやわかり—新制度のもたらす影響と市民社会の課題—』  
公益法人協会、公益法人協会（2007）
- 『公益認定等委員会』  
内閣府、内閣府（2007）
- 『メセナ note50 号 特集：変わりゆく非営利セクター』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『公益法人制度改革—そのポイントと移行手続き』  
公益法人協会、ぎょうせい（2007）
- 『新版 やさしい公益法人会計』  
加古直士・出塚清治、公益法人協会（2006）

- 『芸術活動と公益法人制度改革』  
日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）（2006）
- 『新版 公益法人会計基準の解説』  
加古宜土編著・総務省大臣官房管理室編集協力、公益法人協会（2005）
- 『公益法人改革 これてよいのか政府の構想』  
堀田力・山田二郎・太田達男、公益法人協会（2004）
- 『公益法人の活動--市民社会の創造へ向けて--』  
公益法人協会、公益法人協会（2004）
- 『公益法人の税務』  
梶野研二・奥田芳彦、公益法人協会（2004）
- 『公益法人の消費税』  
都井清史、公益法人協会（2004）
- 『助成財団の社会的役割--あの時のあの助成金』  
助成財団センター、助成財団センター（2003）
- 『中間法人の設立と運営』  
能見善久(序)・出塚清治・中川晃、公益法人協会（2003）
- 『公益法人の資産運用』  
公益法人資産運用研究会、公益法人協会（2003）
- 『調査研究事業「21世紀の公益法人と制度のあり方を探る」報告書』  
公益法人協会、公益法人協会（2002）
- 『公益法人白書』  
総理府、大蔵省印刷局（2002）
- 『調査研究事業「21世紀の公益法人と制度のあり方を探る」報告書』  
公益法人協会、公益法人協会（2002）
- 『公益法人の設立・運営・監督の手引』  
総務省大臣官房管理室編集協力、公益法人協会（2001）
- 『公益法人の実像』  
入山映・林知己夫、ダイヤモンド社（1997）
- 『公益法人論文選』  
公益法人協会、公益法人協会（1997）

- 『コミュニティ財団のすべて』  
大阪コミュニティ財団・三島祥宏、清文社（1996）
- 『公益法人の設立・運営・監督の手引（6訂版）』  
公益法人協会、公益法人協会（2002）
- 『日本の公益法人--全国アンケート調査による現状分析』  
笹川平和財団、笹川平和財団（1992）
- 『公益法人が行う収益事業の在り方に関する調査研究 報告書』  
公益法人協会（1992）
- 『公益法人用語辞典』  
公益法人協会、公益法人協会（1992）
- 『民間公益活動の発展をめざして--公益法人協会の20年』  
公益法人協会、公益法人協会（1990）

## 公益信託

---

- 『公益信託 その制度のあらまし』  
信託協会、信託協会（2006）
- 『公益信託要覧 平成3年版』  
信託協会、信託協会（1991）
- 『公益信託--その制度のあらまし』  
信託協会、信託協会（1991）

## 特定公益増進法人

---

- 『特定公益増進法人制度に関する研究報告書』  
公益法人税制対策委員会、寄付金税制研究会（2001）
- 『特定公益増進法人一覧』  
公益法人協会、公益法人協会（2000）
- 『特定公益増進法人調査報告書』  
NPO 研究フォーラム、NPO 研究フォーラム（1996）

## NPO マネジメント

---

- 『NPO トリトン・アーツ・ネットワーク アウトリーチ・ハンドブック』  
TAN アウトリーチハンドブック制作委員会、パンセ・ア・ラ・ミュージック（2007）



- 『社会変革に挑む NPO には優れた経営者と志ある資金が必要である—企業経営者からの提言、企業経営者としての行動計画—』  
経済同友会、経済同友会（2005）
- 『NPO 実践講座 2--人を活かす組織とは--』  
山岡義典、ぎょうせい（2002）
- 『公益法人の自主的・自立的管理運営に関する調査研究 報告書』  
公益法人協会、公益法人協会（2002）
- 『NPO のためのリスクマネジメント〜リスクと上手につきあうには...』  
日本損害保険協会、日本 NPO センター・日本損害保険協会（2001）
- 『NPO の活用と実践 夢と志の市民プロジェクトおこし！』  
大川新人、日本地域社会研究所（2001）
- 『NPO 基礎講座 3--現場から見たマネジメント--』  
山岡義典、ぎょうせい（1999）
- 『非営利組織のマネジメント』  
島田恒、東洋経済新報社（1999）
- 『特定非営利活動法人設立実務マニュアル 自分たちでつくろう NPO 法人！』  
NPO サポートセンター、ぎょうせい（1999）
- 『公益法人の運営実務 Q & A』  
中央監査法人、ぎょうせい（1999）
- 『みんなの NPO—組織づくり・お金づくり・人づくり』  
スミス・バックリン・アンド・アソシエイツ・枝廣淳子、海象社（1999）
- 『NPO 基礎講座 2 --市民活動の現在--』  
山岡義典、ぎょうせい（1998）
- 『NPO 法人定款作成マニュアル』  
松原明、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会（1998）
- 『NPO 法人ハンドブック 特定非営利活動法人設立のための検討事項』  
シーズ、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会（1998）
- 『NPO 基礎講座--市民社会の創造のために--』  
山岡義典、ぎょうせい（1997）
- 『NPO 教書』  
ハウジングアンドコミュニティ財団、風土社（1997）

- 『非営利組織の経営--原理と実践--』  
P. F. ドラッカー、ダイヤモンド社（1991）
- 『四訂公益法人の理論と実務』  
公益法人実務研究会、公益法人協会（1991）

## NPO の税制

---

- 『米国 NPO 税制度の現状 Version1』  
NPO 研究スコープ・プロジェクト・出口正之、総合研究大学院大学（2003）
- 『東京商工会議所・税制委員会 欧州税制視察団調査報告書』  
東京商工会議所税制委員会、東京商工会議所（2001）
- 『NPO 支援税制がよくわかる本』  
松原明、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会（2001）
- 『海外における NPO の法人制度・租税制度と運用実態調査』  
経済企画庁国民生活局、大蔵省印刷局（1999）
- 『フィランソロピー税制の基本的課題--現状分析と提言--』  
税制研究会公益法人協会（1991）
- 『寄附金課税の知識』  
渡辺淑夫財経詳報社（1989）
- 『公益法人の活動と税制--日本とアメリカの財団・社団』  
橋本徹・古田精司・本間正明、清文社（1986）

## NPO の法律

---

- 『知っておきたい NPO 法 改訂版 市民が行う自由な社会貢献活動の発展を目指して』  
橋幸信、財務省印刷局（2002）
- 『「特定非営利活動促進法」成立まで』  
芸術文化振興連絡会議、芸術文化振興連絡会議（1998）
- 『「特定非営利活動促進法」活用マニュアル』  
芸術文化振興連絡会議、芸術文化振興連絡会議（1998）

## NPO のマーケティング

---

- 『非営利組織（NPO）のマーケティングと広告』  
田中敬文・井嶋高男・伊藤祐夫・佐藤修・田中弥生（「NPO の広告」研究チーム）（1997）

- 『非営利組織のマーケティング戦略 自治体・大学・病院・公共機関のための新しい変化対応パラダイム』  
フィリップ・コトラー著・井関利明監訳、第一法規出版（1991）

## NPO の財務・ファンドレイズ

---

- 『NPO への資金提供・助成の最適化に関する調査 報告書』  
IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]（2008）
- 『助成財団－NPO・市民活動のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター（2005）
- 『Q & A 公益法人の運営と会計・税務』  
渡辺俊之、新日本法規（1997）
- 『非営利団体の経済分析』  
E・ジェイムズ／S・ローズエイカーマン、多賀出版（1993）
- 『わかりやすい公益法人会計 [基礎編]』  
運輸経済研究センター・公益法人研究委員会、全国公益法人協会（1990）

## パートナーシップ

---

- 『まちにアートの風が吹く NPO と企業が協働するアサヒ・アート・フェスティバルの試み』  
アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会、マルモ出版（2005）
- 『「協働のための企業・自治体の視点からの NPO 評価」調査報告書 企業・行政と NPO のより深い協働をめざして』  
地球産業文化研究所、IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）（2004）
- 『NPO と企業 共働へのチャレンジ』  
パートナーシップ・サポートセンター・岸田眞代・高浦康有、同文舘出版（2003）
- 『「NPO／NGO と政府・企業のコラボレーション」研究委員会報告書 NPO 評価協働のための組織評価を中心に』  
地球産業文化研究所、地球産業文化研究所（2003）
- 『NPO は自治体を救えるか！？ --改革市長の「小さな自治体」構想--』  
松本美穂、西山久美子、後房雄（2003）
- 『自治体と NPO による協働実例集』  
国政情報センター出版局、国政情報センター出版局（2003）
- 『NPO と行政とのパートナーシップ促進ガイドブック』  
地域活性化センター、地域活性化センター（2003）

- 『企業と NPO のための パートナーシップガイド 企業 & NPO の協働事例を中心に』  
パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 岸田眞代、パートナーシップ・サポートセンター (PSC) (2001)
- 『企業は今、NPO とどう関わろうとしているのか? --日本の社会事業にみる多様なコラボレーション』  
電通総研レポート 2001 年度-1、電通総研 (2001)
- 『協働社会のスケッチ [市民・住民と自治体のパートナーシップ第 3 巻] 』  
山岡義典・大石田久宗、ぎょうせい (2001)
- 『パートナーシップ・サポートセンター年次報告書 2000-2001』  
パートナーシップ・サポートセンター (PSC) 、パートナーシップ・サポートセンター (PSC) (2000)
- 『個人・企業の社会貢献とマッチングギフト NPO が日本を変える』  
ジャパンウェイ、オーク (2000)
- 『企業と NPO のパートナーシップ』  
山本正、アルク (2000)
- 『NPO 大国アメリカの市民・企業・行政 アメリカ視察報告』  
北川秀人、IIHOE (人と組織と地球のための国際研究所) (1999)
- 『パートナーシップ・フォーラム in みえ--企業は地域に何ができるか--記録集 (報告書) 』  
三重県 NPO 室・パートナーシップ・サポートセンター、三重県 NPO 室/パートナーシップ・サポートセンター (PSC)  
(1999)
- 『自治体における市民セクター支援に関する報告書』  
市民セクター支援研究会、市民セクター支援研究所 (1997)
- 『企業と NPO のパートナーシップ Part I--サンフランシスコ・ニューヨーク編--』  
ヒューマンネットあい/パートナーシップ・サポートセンター、ヒューマンネットあい/パートナーシップ・サポートセンター (1996)
- 『企業と NPO のパートナーシップ Part II--アトランタ・デトロイト編--』  
パートナーシップ・サポートセンター、パートナーシップ・サポートセンター (1996)
- 『行政と民間非営利団体 (NPO) --東京の NPO をめぐって--』  
東京都政策報道室調査部、東京都政策報道室都民の声部情報公開課 (1996)
- 『ドラッカーが語る「非営利組織の発想と企業」講演録』  
ピーター・F・ドラッカー、金子郁容、笹川平和財団 (1994)
- 『社会貢献活動と自治体--市民・企業・自治体のパートナーシップ--』  
「民間における社会貢献活動と自治体とのパートナーシップについて」に関する調査研究チーム、埼玉県自治文化課  
(1993)
- 『ボランティア活動研究第 7 号 ボランティア活動と企業市民活動』  
大阪ボランティア協会、大阪ボランティア協会 (1992)

## NPO 評価

- 『「協働のための企業・自治体の視点からの NPO 評価」調査報告書 企業・行政と NPO のより深い協働をめざして』  
地球産業文化研究所、IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）（2004）
- 『「NPO／NGO と政府・企業のコラボレーション」研究委員会報告書 NPO 評価協働のための組織評価を中心に』  
地球産業文化研究所、地球産業文化研究所（2003）
- 『NPO 活動の発展のための多様な評価システムの形成に向けて--NPO の評価手法に関する調査報告書』  
内閣府国民生活局、財務省印刷局（2002）
- 『評価のすすめ 福祉分野で活躍する非営利組織のために』  
笹川平和財団、笹川平和財団（2001）
- 『なぜ、いま評価なのか 国際開発 NGO の評価を考える』  
笹川平和財団、笹川平和財団（2001）
- 『アメリカの先進事例に学ぶ 評価とインターメディアリー --企業と NPO のパートナーシップ-- スタディーツアー in アメリカ Part III --サンフランシスコ・ワシントン DC 編--』  
パートナーシップ・サポートセンター、パートナーシップ・サポートセンター（2000）
- 『NPO 評価と企業評価--その社会的責任--』  
パートナーシップ・サポートセンター、パートナーシップ・サポートセンター（2000）
- 『非営利組織の「自己評価手法」』  
P・F・ドラッカー、ダイヤモンド社（1995）

## アートマネジメントの主体

### 国

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

#### 国の文化政策・文化行政

---

- 『芸術と環境—劇場制度・国際交流・文化政策』  
編者：伊藤裕夫・藤井慎太郎、論創社（2012）
- 『我が国の文化行政』  
文化庁長官官房政策課、文化庁
- 『文化芸術立国の実現を目指して—文化庁 40 年史—』  
文化庁、文化庁（2009）
- 『文化芸術の振興に関する基本的な方針（第二次基本方針）』  
文化庁、文化庁長官官房政策課（2007）
- 『国際交流基金 30 年のあゆみ』  
国際交流基金 30 年史編纂室、国際交流基金（2006）
- 『我が国の文化行政 平成 17 年度』  
文化庁長官官房政策課、文化庁長官官房政策課（2005）
- 『文化行政法の展開 文化政策の一般法原理』  
根木昭、水曜社（2005）
- 『芸団協セミナー：芸術文化と制度改革 制度が変わる？！文化芸術をめぐる、今、何が進行しているのか』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2004）
- 『文化政策の法的基盤 文化芸術振興基本法と文化振興条例』  
根木昭、水曜社（2003）
- 『日本の文化政策「文化政策学」の構築に向けて』  
根木昭、勁草書房（2003）
- 『芸術文化政策--政策形成とマネジメント--』  
根木昭、放送大学教育振興会（2002）
- 『文化芸術振興基本法 基本方針に関する意見』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2002）

- 『文化芸術の振興に関する基本的な方針』  
文化庁長官官房政策課、文化庁（2002）
- 『文化庁予算のあらまし』  
文化庁長官官房政策課会計室、文化庁（2002）
- 『文化を大切に作る社会の構築について--一人一人が心豊かに生きる社会を目指して（文化審議会答申）』  
文化審議会、文部科学省（2002）
- 『わが国のアーティスト・イン・レジデンス事業の概要』  
国際交流基金国際交流相談室、国際交流基金国際交流相談室（2001）
- 『我が国の芸術文化振興施策の概要 平成 13 年度』  
文化庁文化部芸術文化課、文化庁文化部芸術文化課（2001）
- 『日本の文化政策「文化政策学」の構築に向けて』  
根木昭、勁草書房（2001）
- 『文化財保護関係法令集〔改訂版〕』  
文化庁文化財部、ぎょうせい（2001）
- 『芸術文化にかかわる法制<資料集> --芸術文化基本法の制定に向けて--』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2001）
- 『平成 12 年度我が国の文教施策-文化立国に向けて』  
文部省、大蔵省印刷局（2000）
- 『Japanese Government Policies in Education, Science, Sports and Culture』  
文部省、大蔵省印刷局（2000）
- 『我が国の文化行政 平成 12 年度』  
文化庁文化部芸術文化課、文化庁（2000）
- 『文化による国際貢献に関する調査研究報告書』  
シー・ディー・アイ、シー・ディー・アイ（1999）
- 『芸術の息づく社会に向けて--21 世紀の文化政策に関する提言--』  
芸術家会議、芸術家会議（1999）
- 『新しい文化立国の創造をめざして 文化庁 30 年史』  
文化庁、ぎょうせい（1999）
- 『美術品公開促進法 Q&A』  
美術品公開促進法研究会、ぎょうせい（1999）

- 『現代日本の文化政策をめぐって』  
川崎賢一、駒澤大学文学部社会学科（1999）
- 『我が国の文化政策の構造』  
根木昭、長岡技術科学大学（1999）
- 『文化財保護制度概説』  
中村賢二郎、ぎょうせい（1999）
- 『文化振興マスタープラン 文化立国の実現に向けて』  
文化庁、文化庁（1998）
- 『我が国の文化政策の今後の在り方に関する調査研究』  
根木昭（1998）
- 『情報化社会における芸術支援政策の財政分析』  
金武創（1997）
- 『文化行政及び文化支援についての比較研究』  
加藤智子・内田正博・藤野一夫、神戸大学国際文化学部地域文化学科（1997）
- 『芸術の息づく社会に向けて--21世紀の文化政策に関する提言--』  
芸術家会議、芸術家会議（1997）
- 『文化行政の現状と課題--21世紀に向けた芸術文化の振興と文化財の保護--』  
総務庁行政監察局、大蔵省印刷局（1996）
- 『文化に関する世論調査』  
総理府内閣総理大臣官房広報室（1996）
- 『芸術文化の振興に関する行政監察結果に基づく勧告』  
総務庁（1995）
- 『芸術文化の振興に関する行政監察結果報告書』  
総務庁行政監察局（1995）
- 『21世紀に向けた文化政策の推進について（報告）』  
文化政策推進会議（1994）
- 『21世紀に向けての日本文化の展望 SRC 研究報告書』  
エスシー・リサーチ・センター、エスシー・リサーチ・センター（1994）
- 『第14次国民生活審議会総合政策部会報告 個人の自立と社会参加』  
国民生活審議会総合政策部会（1994）



- 『市民意識と社会参加活動委員会報告--自覚と責任のある社会へ--』  
国民生活審議会総合政策部会・市民意識と社会参加活動委員会（1994）
- 『我が国の文教施策 平成 5 年度「文化発信社会」に向けて』  
文部省、大蔵省印刷局（1993）
- 『我が国の芸術文化の動向に関する調査 調査報告書』  
住友生命総合研究所（1993）
- 『我が国の文化政策の現状と課題 平成 5 年度』  
文化庁（1993）
- 『我が国の文化の動向に関する調査--調査報告書--』  
電通総研、電通総研（1993）
- 『国際交流基金'93 平成 5 年度の概要／平成 4 年度の事業報告』  
国際交流基金、国際交流基金（1993）
- 『芸術文化支援政策の現状』  
増田辰良（1993）
- 『国際文化交流の現状と課題』  
総務庁行政監察局、大蔵省印刷局（1991）
- 『国際文化交流に関する行政監察 結果報告書』  
総務庁行政監察局（1991）
- 『生活文化創造への行政の役割 講演資料』  
三菱総合研究所（1991）
- 『シンポジウム・統計データに見る日本の芸術状況』  
日本統計学会（1991）
- 『「豊かな文化国家」実現のためのグランド・デザイン』  
関西経済同友会 文化と経済委員会、関西経済同友会（1990）
- 『「豊かな文化国家への戦略」調査団 個別訪問先報告書』  
関西経済同友会 文化と経済委員会、関西経済同友会（1990）
- 『芸術文化振興基金の課題』  
芸術振興基金」研究推進プロジェクト、日本芸能実演家団体協議会（1990）
- 『芸術文化振興政策の財政的基礎』  
京都大学経済学部財政学研究室文化経済研究プロジェクト、日本芸能実演家団体協議会（1990）

- 『国際文化交流の理念と現状 田島文化交流部長 論文、講演、会見記集』  
外務大臣官房文化交流部文化第一課（1989）
- 『芸術振興基金設立に関する報告書』  
音楽議員連盟 芸術振興基金に関する小委員会（1989）
- 『わが国の芸術活動の動向予測に関する基礎研究--その 1 学生調査--』  
桐朋学園大学（1988）
- 『わが国の芸術活動の動向予測に関する基礎研究--その 2 勤労青年調査--』  
桐朋学園大学（1988）
- 『我が国の文化と文化行政』  
文化庁（1988）
- 『日本人と文化』  
総理府広報室、大蔵省印刷局（1988）
- 『文化行政のこれまで、これから』  
総合研究開発機構、総合研究開発機構（1987）
- 『国民文化の創造--三浦長官文化を語る』  
文化庁長官官房総務課、ぎょうせい（1986）
- 『芸術活動振興のための新たな方途--民間芸術活動の振興に関する検討会議』  
文化庁（1986）
- 『民間芸術活動の振興に関する検討会議 第 2 部会資料 総論編』  
文化庁（1986）
- 『民間芸術活動の振興に関する検討会議--第 2 部会資料--〈資料編〉』  
文化庁（1986）
- 『大平総理の政策研究会報告書--1 文化の時代』  
文化の時代研究グループ、大蔵省印刷局（1980）

## 海外の文化政策

---

- 『超大国アメリカの文化カーン文化外交官による全米踏査レポート』  
フレデリック マルテル著（根本長兵衛・林はる芽監訳）、岩波書店（2009）
- 『フランスの文化政策 芸術作品の創造と文化的実践』  
クサビエ・グレフ（垣内恵美子監訳）、水曜社（2007）
- 『アメリカの財政と福祉国家 第 8 巻 アメリカの芸術文化政策』  
片山泰輔、日本経済評論社（2006）

- 『舞台芸術環境の国際比較研究—知的支援システムの構築に向けて—』  
研究代表者：藤野一夫、神戸大学国際文化学部文化政策プロジェクト（2006）
- 『21 世紀の芸術振興策を考える--芸術振興のための法と制度【最終報告書】アメリカ、韓国を中心に』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会（2003）
- 『21 世紀の芸術振興策を考える--芸術振興のための法と制度【中間報告書】ヨーロッパの映画振興を中心に』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会（2002）
- 『文化と社会--現代フランスの文化政策と文化経済』  
イヴ・レオナル編・植木浩監訳・八木雅子訳、芸団協出版部（2001）
- 『フランス第三共和政初期におけるパリ・オペラ座と社会--その観衆を中心に--』  
宮治磨里（2001）
- 『文化による国際貢献に関する調査研究報告書』  
シー・ディー・アイ、シー・ディー・アイ（1999）
- 『「芸術と社会を結ぶ」報告書 平成 9 年度地域・草の根交流欧州派遣事業』  
国際交流基金、国際交流基金（1998）
- 『ニューヨーク 芸術家と共存する街』  
塩谷陽子、丸善ライブラリー（1998）
- 『豪日ラウンド・テーブル 議事録 21 世紀のアート 新時代をむかえる豪日文化交流』  
オーストラリア大使館文化部、オーストラリア大使館文化部（1997）
- 『シンポジウム「文化支援の展望--公的・民間支援の可能性」』  
ニッセイ基礎研究所、ニッセイ基礎研究所（1997）
- 『国際文化交流に関する外国人有識者との懇談会（記録）』  
内閣外政審議室国際文化交流担当室（1996）
- 『欧米主要 5 カ国の文化支出に関する調査研究』  
電通総研、文化庁（1996）
- 『国際メセナ会議 95 芸術・文化と企業メセナ 21 世紀への展望』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
- 『国際文化交流に関する外国人有識者との懇談会（記録）』  
内閣官房内閣外政審議室国際文化交流担当室（1995）
- 『海外などにおける文化振興策に関する実態調査報告書』  
電通総研、東京都文化振興会（1993）

- 『欧米主要 5 カ国の文化支出に関する調査研究』  
電通総研、文化庁（1993）
- 『芸術家の地位に関するユネスコ勧告小委員会中間報告』  
音楽議員連盟振興会議、音楽議員連盟ユネスコ勧告小委員会（1992）
- 『日仏文化交流シンポジウム--芸術・文化支援の現在を考える--シンポジウムの記録』  
コンテンポラリー・アート・ネットワーク、コンテンポラリー・アート・ネットワーク（1992）
- 『欧米主要 5 カ国の文化支出と税制 調査報告書』  
電通総研、文化庁（1991）
- 『ヨーロッパのメセナ』  
欧州評議会編・企業メセナ協議会訳、企業メセナ協議会（1991）
- 『文化政策研究（4）シンポジウム「文化政策の国際的潮流」の記録』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（1988）
- 『文化政策研究（3）--イギリス--』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（1987）
- 『文化政策研究（2）--西ドイツ--』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（1986）
- 『文化政策研究（1）--スウェーデン・イタリア--』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（1986）

# アートマネジメントの主体

## 地方自治体

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

### 地方文化政策・文化行政

---

- 『地方文化行政状況調査報告書』  
文化庁長官官房政策課、文化庁
- 『自治体政策とユニバーサルデザイン 住民満足度最大を目指して』  
波田永実、学陽書房（2002）
- 『分権時代の自治体文化政策--ハコモノづくりから総合政策評価に向けて』  
中川幾郎、勁草書房（2001）
- 『REGIONAL DEVELOPMENT SRIC MOOK』  
三和総合研究所、三和総合研究所（2001）
- 『今なぜ文化支援なのか 地方文化再生の道--危機的な芸術文化環境への 11 の提言--』  
堀内克一、公人の友社（2000）
- 『地方文化再生への道 危機的な芸術文化環境への 11 の提言』  
堀内克一、公人の友社（2000）
- 『芸術文化の公共政策』  
後藤和子、勁草書房（1998）
- 『芸術文化行政と地域社会--レジデントシアターへのデザイン』  
衛紀生、テアトロ（1997）
- 『地方行政活性化講座 3 地域文化・情報化戦略』  
小暮宣雄、ぎょうせい（1995）
- 『大阪の文化行政 ハンドブック'95』  
大阪府生活文化部文化課、大阪府生活文化部文化課（1995）
- 『日本の地域レベルの国際化と米国との交流活動（vol. 1）』  
国際交流基金日米センター、国際交流基金日米センター（1994）
- 『地方自治ジャーナルブックレット No. 11 パブリックアートは幸せか』  
山田義典、公人の友社（1994）
- 『地域における芸術文化振興のための施策のあり方』  
自治省、地域文化の振興に関する調査研究会（1994）

- 『地域における芸術文化振興のための施策のあり方・付属資料』  
自治省、地域文化の振興に関する調査研究会（1994）
- 『地域文化ネットワーク 1：文化が"まち"を元気にする』  
日本演劇教育連盟、晩成書房（1993）
- 『地域文化ネットワーク 2：まちが弾む！ユニーク演劇祭』  
日本演劇教育連盟、晩成書房（1993）
- 『地域文化ネットワーク 3：文化の風！北から南から』  
日本演劇教育連盟、晩成書房（1993）
- 『地域文化ネットワーク 4：日本の文化行政はいま・・・』  
日本演劇教育連盟、晩成書房（1993）
- 『受ける側からみた自治体の文化予算・基金の状況』  
芸術文化振興連絡会議、芸術文化振興連絡会議（1993）
- 『地方自治ジャーナルブックレット No.5 行政と企業は文化支援で何ができるか』  
日本文化行政研究会・企業メセナ協議会、公人の友社（1993）
- 『財団法人 地方自治協会 20 年史』  
地方自治協会、地方自治協会（1993）
- 『自由時間社会の文化創造』  
平本一雄、ぎょうせい（1993）
- 『阪神観 「間」の文化快楽』  
毎日新聞未来探検隊、東方出版（1993）
- 『文化協同のネットワーク』  
佐藤一子、青木書店（1992）
- 『文化協同の時代 [文化的享受の復権] 』  
佐藤一子、青木書店（1992）
- 『社会党の地域文化政策--市民文化の時代』  
日本社会党シャドーキャビネット自治委員会、日本社会党シャドーキャビネット自治委員会（1992）
- 『文化首都圏をめざして--新世紀に向けての文化戦略』  
第 10 回近畿文化大学校事務局、第 10 回近畿文化大学校事務局（1991）
- 『自治体の新しい国際政策』  
石田雄・小山八郎・星野昌子・長州一二、ぎょうせい（1991）

- 『地方都市 21 世紀への構想』  
酒田哲、日本放送出版協会（1991）
- 『自治体政策叢書 新しい地域文化戦略』  
瀬沼克彰、第一法規（1991）
- 『うねり テーマ「芸術文化のソフト基盤の整備」』  
神奈川県市町村文化行政研究会議、神奈川県市町村文化行政研究会議（1991）
- 『新編文化行政の手びき 文化行政は人々の楽しみをつくることができるか』  
首都圏文化行政研究会、公人社（1990）
- 『市民文化と文化行政』  
森啓、学陽書房（1988）
- 『＜新時代の都市政策 11＞ 都市の教育・文化』  
久保庭信一、ぎょうせい（1985）
- 『＜地方の時代・実践シリーズ 6＞ ひろがる文化行政--いま各地で多くの実験が』  
磯村英一監修・坂田期雄編、ぎょうせい（1982）

### 各自治体の文化行政・関連調査・事業報告

---

- 『デジタルアーカイブの営みをつくるーアートプロジェクトの現場から』  
須之内元洋、熊谷薫、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室（2014）
- 『地域を活かすつながりのデザインー大阪・上町台地の現場から』  
上町台地コミュニティ・デザイン研究会、創元社（2009）
- 『＜アート竜巻フェスタ＞記録集ー風の記憶』  
プロジェクト LINK 企画運営委員会（担当：高橋博夫・中村誠）、埼玉県立近代美術館・「LINK!ミュージアムからアートの風を!!」実行委員会（2009）
- 『「LINK! ミュージアムからアートの風を!!」～MAT ワークショップ・リンク「アートの玉手箱～ワークショップのヒント&レシピ』』  
ワークショップ・リンク運営委員会、埼玉県立近代美術館・「LINK!ミュージアムからアートの風を!!」実行委員会（2009）
- 『平成 19 年度 政策研究セミナー報告書』  
愛知県自治研修所研修課、愛知県自治研修所研修課（2008）
- 『トーキョーワンダーサイト 2001-2006 東京が、』  
トーキョーワンダーサイト活動記録誌編集委員会、東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト（2008）
- 『創造都市・横浜の戦略 クリエイティブシティへの挑戦』  
野田邦弘、学芸出版社（2008）

- 『調査季報 Vol.163 横浜の政策力 特集 創造都市横浜』  
横浜市企画局政策部調査課、横浜市企画局政策部調査課（2008）
- 『クリエイティブシティ・ヨコハマのこれまでとこれから』  
「クリエイティブシティ・ヨコハマのこれまでとこれから」編集委員会、BankART1929（2008）
- 『あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）平成 19 年度 ワークショップ事業報告書』  
シアタープランニングネットワーク、としま未来文化財団・あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）（2008）
- 『創造都市交流 2007-2008 事業実施レポート』  
横浜市芸術文化振興会、横浜市芸術文化振興会（2008）
- 『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2006』  
大地の芸術祭・東京事務局、現代企画室（2007）
- 『魚沼市小井郷文化会館 10 周年記念誌』  
10 周年記念誌編集委員、小井郷文化会館（2007）
- 『芸術創造拠点と自治体文化政策 京都芸術センターの試み』  
松本茂章、水曜社（2006）
- 『創造都市交流 2006 事業報告書 arts for all アートの力がまちを変える！！』  
監修菅野幸子／吉本光宏、横浜市芸術文化振興会（2006）
- 『OBP アーツプロジェクト活動報告書』  
OBP アーツプロジェクト実行委員会、OBP アーツプロジェクト実行委員会（2006）
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究－指定管理者制度を中心に－』  
地域創造、地域創造（2005）
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究－指定管理者制度を中心に－[資料編]』  
地域創造、地域創造（2005）
- 『横浜会議 2004 「なぜ国際展か？」』  
多摩美術大学芸術学科健畠ゼミ、BankART1929（2005）
- 『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003』  
大地の芸術祭・花の道実行委員会東京事務局、現代企画室（2004）
- 『京都市芸術文化振興計画推進プログラム 芸術文化の都づくりプラ』  
京都市文化市民局文化課、京都市文化市民局文化課（2003）
- 『「東京圏における国際文化拠点の整備方策検討調査」に関する調査報告書』  
国土交通省都市・地域整備局、国土交通省都市・地域整備局（2002）



- 『徳島県地域文化活性化プロデュース事業 報告書 平成 13 年度』  
徳島県（2002）
- 『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2000』  
越後妻有大地の芸術祭実行委員会、越後妻有大地の芸術祭実行委員会（2001）
- 『あいちレポート 2000』  
愛知県、愛知県（2000）
- 『関西地域における文化産業の活性化方策に関する調査研究報告書』  
近畿通商産業局、近畿通商産業局（2000）
- 『当面の東京都文化政策手法の転換と取り組み』  
東京都（2000）
- 『--21 世紀への提案-- 文化都市ビジョン』  
東京都生活文化局コミュニティー文化部振興計画課、東京都生活文化局コミュニティー文化部振興計画課（1999）
- 『大阪府文化振興指針』  
大阪府（1998）
- 『ARCUS アーカス構想パイロット事業 1997 年度活動記録』  
ワコールアートセンター、茨城県・国際交流基金・アーカス構想パイロット事業実行委員会（1998）
- 『文化のまちづくり事例集』  
北海道環境生活部文化・青少年室文化振興課、北海道市町村振興協会（1998）
- 『阪神・淡路大震災復興誌 [第 1 巻] 』  
震災復興調査研究委員会、21 世紀ひょうご創造協会（1997）
- 『第 7 次東京都文化懇談会答申 都市文化の創造をめざして』  
東京都生活文化局コミュニティー文化部振興計画課（1997）
- 『文化は都市の未来を救えるか --都市と文化を考える--』  
東京都生活文化局コミュニティー文化部振興計画課（1997）
- 『「自立・共創」の世界文化首都・関西 報告書』  
関西経済連合会文化委員会、関西経済連合会（1997）
- 『横浜市芸術文化マスタープラン 21 世紀横浜の芸術文化を創造するために--提言--』  
横浜市芸術文化マスタープラン策定検討委員会、横浜市市民局市民文化部文化振興課（1997）
- 『高志の国から しあわせ富山の創造』  
中沖豊、ぎょうせい（1996）

- 『東京都における文化環境及び文化活動に関する調査』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課、東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課（1996）
- 『芸術と支援--新たな社会的サポートの方向--東京都文化行政シンポジウム』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課（1995）
- 『東京都区市町村における国際化事業等に関する調査結果』  
東京都生活文化局国際部国際化推進課、東京都生活文化局国際部国際化推進課（1995）
- 『調査季報 125 特集 横浜の芸術文化--アートシティ』  
横浜市企画局政策部調査課、横浜市企画局政策部調査課（1995）
- 『地方の文化ステージソフトづくりプロジェクトモデル調査 資料』  
AZ 環境計画研究所（1994）
- 『地域の文化・情報環境づくりを担う人材養成事業 報告書』  
社会工学研究所、国土庁地方振興局（1994）
- 『藤野アーツフィア'93 ふるさと芸術村キャンペーン報告書』  
ふるさと芸術村メッセージ事業実行委員会（1994）
- 『芸術奨励制度検討委員会<報告書>』  
電通総研、横浜市市民局市民文化部文化事業課（1993）
- 『企業の文化施設立地動向調査 報告書』  
神奈川県県民部文化室（1993）
- 『平成 4 年度 政策研究実践セミナー研究報告書「心の豊かさをめざす地域づくり--文化づくりの提言」』  
新潟県自治研修所、新潟県自治研修所（1993）
- 『都内における民間芸術文化振興公益法人の活動状況に関する実態調査 報告書』  
東京都文化振興会管理部企画調査課（1993）
- 『DOCUMENTATION TAMA ART STUDIO--アーティスト イン レジデンス・記録--』  
KLEE INC.、TAMA らいふ 21 協会（1993）
- 『カーテンコールをもう一度 藤沢市民オペラ写真集 1973--1992』  
宮原昭夫、双柿舎（1993）
- 『東京フロンティアの展開に向けて』  
東京フロンティア協会（1992）
- 『仙台市民の文化活動報告--多様化するライフスタイル--』  
仙台市市民文化事業団、仙台市市民文化事業団（1992）

- 『「東京の文化を考える--江戸・東京の生活文化--」平成 3 年度東京都文化行政シンポジウム』  
東京都生活文化局、東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画室（1992）
- 『芸術奨励制度設置に関する調査』  
横浜市教育文化センター文化事業部、横浜市教育文化センター文化事業部（1991）
- 『道民の芸術文化に関する意識調査 調査報告書』  
道銀文化財団、道銀文化財団（1991）
- 『まちづくりと文化--川西市の文化行政への試み--』  
川西市企画部、都市文化社（1991）
- 『「鉄の都」は甦る 百万都市・北九州市の反撃』  
吉田宏、プレジデント社（1990）
- 『東京都中央区文化政策推進懇談会--中間報告書--』  
東京都中央区文化政策推進懇談会、東京都中央区企画部企画課（1989）
- 『物語 自治体文化行政史 神奈川からキック・オフ、10 年の歩み』  
神奈川県文化室、新曜社（1988）
- 『大阪文化振興ビジョン 文化をもって世界に貢献する--文化首都大阪の実現をめざして』  
大阪府生活文化部文化課、大阪府生活文化部文化課（1987）
- 『カーテンコールをもう一度 <藤沢市民オペラ物語>』  
宮原昭夫、双柿舎（1985）

## 公共・地域文化施設

- 『劇場等の運営基盤のあり方に関する調査研究 社会の活力と創造的な発展をつくりだす劇場法（仮称）の提言』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2009）
- 『こどもの劇場が街を変える 札幌市立劇場やまびこ座・こぐま座の軌跡』  
岩崎義純、有限会社寿郎社（2008）
- 『文化施設の近未来 アートにおける公共性をめぐって』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2007）
- 『指定管理者は今どうなっているのか』  
中川幾郎・松本茂章、水曜社（2007）
- 『指定管理者制度 文化的公共性を支えるのは誰か』  
小林真理、時事通信社（2006）

- 『公立文化施設における指定管理者制度導入状況に関する調査 報告書』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2006）
- 『創刊 BankART Life』  
BankART1929、BankART1929（2005）
- 『BankART Life II』  
BankART1929、BankART1929（2005）
- 『公立文化会館における指定管理者制度について考える』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2005）
- 『指定管理者制度』  
出井信夫、学陽書房（2005）
- 『指定管理者制度--自治体施設を条例で変える』  
三野靖、公人社（2005）
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究--指定管理者制度を中心に--』  
地域創造、地域創造（2005）
- 『指定管理者制度で何が変わるのか』  
文化政策提言ネットワーク、水曜社（2004）
- 『指定管理者制度ハンドブック』  
地域協働型マネジメント研究会、ぎょうせい（2004）
- 『公立文化施設職員のための制作基礎知識』  
地域創造、地域創造（2004）
- 『地方における公共ホール運営の政策分析 福井県を中心として』  
山崎茂雄編、福井県立大学地域経済研究所（2003）
- 『地域文化施設に活力を--これからの運営のあり方を考える--』  
地域創造、地域創造（2003）
- 『地域文化施設における財団運営のあり方を考える（提言）：地域文化施設における財団運営に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2002）
- 『小井郷文化会館物語』  
小林真理・小井郷の記録編集委員会、水曜社（2002）
- 『公共ホール演劇製作ネットワーク事業報告書（平成 13 年 3 月）』  
地域創造、地域創造（2002）

- 『地域創造レター別冊：公共ホール職員のための決定版制作基礎知識』  
地域創造、地域創造（2002）
- 『公立文化会館運営ハンドブック1：ホールマネジメント』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2002）
- 『公立文化会館運営ハンドブック2：貸館事業』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2002）
- 『公立文化会館運営ハンドブック3：自主事業』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2002）
- 『公立文化会館運営ハンドブック4：舞台管理』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2002）
- 『公立文化会館運営ハンドブック5：自主公演事業資料』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2002）
- 『公立文化会館の建設計画および改修について 参考資料集』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2001）
- 『地域博物館への提言 討論・地域文化と博物館』  
川添登監修・日本展示学会 展示学講座実行委員会、ぎょうせい（2001）
- 『アウトリーチ活動のすすめ：地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2001）
- 『地域の公立文化施設に関する調査』  
地域創造、地域創造（2001）
- 『地域における多彩で豊かな文化活動拠点の形成を目指して--公立文化会館の活性化とその役割--』  
公立文化会館の活性化に関する調査研究協力者会議、公立文化会館の活性化に関する調査研究協力者会議  
（2000）
- 『公共ホールの計画づくりに関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2000）
- 『平成 11 年度地域文化ホール活性化セミナー』  
北海道文化財団、北海道文化財団（2000）
- 『公共ホール音楽活性化事業 報告書』  
地域創造、地域創造（2000）
- 『公共ホール音楽活性化事業 登録アーティスト・プロフィール』  
地域創造、地域創造（2000）

- 『21 世紀の地域劇場 パブリックシアターの理念、空間、組織、運営への提案』  
清水浩之、鹿島出版会（1999）
- 『ホールにおける市民参加型事業に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1999）
- 『公立ホールの舞台技術に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1999）
- 『文化とまちづくり研究 Community--212 シリーズ No.1 創造的地域づくりと文化ホール』  
成沢雅夫・三島辰雄、都市文化総合研究所（1999）
- 『ホール・劇場などの施設の瑕疵、作業上改善（主題とする）すべき箇所の調査表』  
全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会（全技連）、全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会（全技連）  
（1998）
- 『公立ホールにおけるネットワーク活動に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『ホール文化形成のために～ホール文化形成のための調査研究～』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『地域の芸術環境づくりのための基礎調査』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『公共ホール・劇場とボランティアに関する調査報告書』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『文化施設の有効活用事例集』  
北海道市町村振興協会、北海道市町村振興協会（1997）
- 『文化行政法の展開 文化政策の一般法原理』  
根木昭・枝川明敏・垣内恵美子・笹井宏益、晃洋書房（1997）
- 『「美術館の可能性を求めて--市民との共生--」報告書』  
大阪市立美術館会館 60 周年記念事業実行委員会、大阪市立美術館会館 60 周年記念事業実行委員会（1997）
- 『内部から見た日本の公立美術館--その問題点と改善私案--』  
大島清次（1993）
- 『東北の地域活性化施設ガイドブック「遊楽観」』  
東北開発研究センター、東北電力株式会社地域開発協力部（1993）
- 『水戸美術館の実験--地方自治ジャーナルブックレット NO. 1』  
森啓・横須賀徹、公人の友社（1992）

- 『季刊メセナ No. 11 1992 年冬号：公共ホールの新時代は来るか』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1992）
- 『文化ホールがまちをつくる』  
森啓、学陽書房（1991）
- 『自主文化事業振興のために』  
全国公立文化施設協議会自主文化事業委員会、全国公立文化施設協議会（1991）
- 『全国公立文化施設協議会 第 12 回自主文化事業研修会 講義録』  
全国公立文化施設協議会自主文化事業委員会、全国公立文化施設協議会（1991）
- 『うねり テーマ「文化施設の整備とその運営」』  
神奈川県市町村文化行政研究会議、神奈川県市町村文化行政研究会議（1991）
- 『平成 2 年度 研究大会報告書』  
全国公立文化施設協議会事務局、全国公立文化施設協議会事務局（1990）
- 『平成 3 年度 公演事業資料』  
全国公立文化施設協議会事務局、全国公立文化施設協議会事務局（1990）
- 『近畿における文化センターの配置と構成』  
NIRA OUTPUT、総合研究開発機構（1981）

## まちづくりとアート・創造都市

---

- 『文化芸術の社会再生力』  
財団法人仙台市市民文化事業団、財団法人仙台市市民文化事業団（2009）
- 『メセナ note63 号 特集：わっしょい商店街』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note62 号 特集：緊急提言「ニュー・コンパクト」～文化による地域再生』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『観光まちづくり まち自慢からはじまる地域マネジメント』  
西村幸夫編著・日本交通公社編集協力、学芸出版社（2009）
- 『文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」 アートマネジメント教育による都市文化再生 平成 19 年度事業報告書』  
神戸大学国際文化学部、神戸大学国際文化学部（2008）
- 『平成 19 年度 都市観光の推進による地域づくり全国フォーラム 報告書』  
国土交通省都市・地域整備局企画課、国土交通省都市・地域整備局企画課（2008）

- 『メセナ note52 号 特集：メセナの創造都市宣言』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『創造都市への展望-都市の文化政策とまちづくり』  
佐々木雅幸＋総合研究開発機構、学芸出版社（2007）
- 『文化政策セミナー07～美と知を楽しむまちづくり～』  
国際文化政策研究教育学会、国際文化政策研究教育学会（2007）
- 『アートマネジメントとまちづくり』  
角谷ゼミナル、金沢市（2007）
- 『文化芸術の振興に関する基本的な方針（第二次基本方針）』  
文化庁長官官房政策課（2007）
- 『メセナ note44 号 特集：地域を変える！？アートパワー』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2006）
- 『まちづくりと市民参加 VIII まちづくり』  
服部則仁、まちづくり市民財団（2006）
- 『都市空間を創造する 越境時代の文化都市論』  
端信行・中牧弘允・NIRA（総合研究開発機構）、日本経済評論社（2006）
- 『アート戦略都市 EU・日本のクリエイティブシティ』  
国際交流基金編・吉本光宏監修、鹿島出版会（2006）
- 『まちづくりビジネス 地域再生の処方箋』  
Shinken まちづくり新聞編集部まちづくり研究所、新建新聞社（2006）
- 『文化と都市の公共政策 創造的産業と新しい都市政策の構想』  
後藤和子、有斐閣（2005）
- 『「地域文化で日本を元気にしよう！」文化審議会文化政策部会報告書』  
文化審議会文化政策部会、文化庁（2005）
- 『文化的景観を評価する 世界遺産富山県五箇山合掌造り集落の事例』  
垣内恵美子、水曜社（2005）
- 『メセナ セミナーシリーズ No8：文化フォーラム「文化の地方分権がフランスを変える...ナントの実践」』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『メセナ note38 号 特集：文化で「まち」が元気になる』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）



- 『メセナ セミナーシリーズ No7 : としま文化フォーラム特別講演会「文化でよみがえるフランスの地方都市 ナント市」』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2005)
- 『NIRA 政策研究 2004 Vol.17 No.6 新しい都市の時代—都市が文化をリードする』  
総合研究開発機構、総合研究開発機構 (2004)
- 『都市問題研究 第 56 巻 第 3 号』  
都市問題研究会、都市問題研究会 (2004)
- 『メセナ セミナーシリーズ No6 : 文化の力が創造的な都市をつくる』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2004)
- 『文化開発の可能性—コラボレートする山科からの提案』  
京都橘女子大学文化政策ライブラリー02、織田直文・木下達文、晃洋書房 (2004)
- 『第 9 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
第 9 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局吹田市文化のまちづくり室内 (2003)
- 『創造的都市—都市再生のための道具箱—』  
チャールズ・ランドリー、日本評論社 (2003)
- 『日仏都市会議 2003「文化をつむぎ、文化をつくる」』  
三宅理一、総合研究開発機構 (2003)
- 『ミュージアムが都市を再生する--経営と評価の実践』  
上山信一・稲葉郁子、日本経済新聞社 (2003)
- 『国際シンポジウム報告書「クリエイティブ・シティ--都市の再生を巡る提案」』  
国際交流基金、国際交流基金 企画部 (2003)
- 『湊川新開地ガイドブック』  
木ノ下智恵子、新開地アートストリート実行委員会 (2003)
- 『下町エンターテインメント ザッツ 外堀商店街』  
アスク編集部、アスク (2003)
- 『第 9 回全国文化のみえるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
第 9 回全国文化のみえるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局、第 9 回全国文化のみえるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局 (2003)
- 『錦おりなす自立する地域 9 つの視点から見た 100 の地域振興プロジェクト』  
日本政策投資銀行地域企画チーム、ぎょうせい (2002)
- 『ヒルサイドテラス物語 朝倉家と代官山のまちづくり』  
前田礼、現代企画室 (2002)

- 『現代のまちづくり--地域固有の創造的環境を--』  
池上惇・小倉宣雄・大和滋、丸善（2000）
- 『地域づくりの文化創造力--日本型フィランソロピーの活用』  
高島博、J D C（1999）
- 『国際シンポジウム「地域社会になぜアートが必要か？」』  
国際交流基金・水戸芸術館現代美術センター、国際交流基金（1999）
- 『第 8 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
第 8 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局・熊本県企画開発部文化企画課内開発部文化企画課内（1998）
- 『トヨタ・アートマネージメント講座 vo.17 北九州「芸術文化でまちを育てる」報告集』  
北九州市建築都市局都心・副都心開発室、北九州市建築都市局都心・副都心開発室（1998）
- 『「飛騨高山まつりの森」への道 平成の祭屋台と文化のパトロネージ』  
「飛騨高山まつりの森」への道 編集委員会、KK ロングセラーズ（1998）
- 『アートが学校・地域社会を変える・・・こどもと芸術環境』  
アーツフォーラム・ジャパン、アーツフォーラム・ジャパン（1998）
- 『コミュニティアートマネジメント いかにより地域文化を創造するか』  
小林進、中央法規出版（1998）
- 『「芸術と社会を結ぶ」報告書 平成 9 年度地域・草の根交流欧州派遣事業』  
国際交流基金、国際交流基金（1998）
- 『やさしい文化行政シリーズ Vol.1 演劇と地域のパートナーシップ--英国演劇ワークショップの周辺--』  
中山夏織、ダブルフェイス（1998）
- 『平成 9 年度 まちづくり研究活動報告書』  
滋賀総合研究所、滋賀総合研究所（1998）
- 『すべての地に新しい陽は昇る！「アート・エイド・神戸」活動記録集』  
「アート・エイド・神戸」実行委員会事務局、「アート・エイド・神戸」実行委員会（1998）
- 『創造都市の経済学』  
佐々木雅幸、勁草書房（1998）
- 『第 7 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
静岡県生活・文化部文化事業課、静岡県生活・文化部文化事業課（1997）
- 『地域の力とアートエネルギー』  
橋本敏子、学陽書房（1997）

- 『第 2 回文化復興支援フォーラム報告書--市民グループに対する支援のあり方--』  
阪神・淡路震災復興支援 10 年委員会、阪神・淡路震災復興支援 10 年委員会（1997）
- 『第 6 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
北海道生活福祉部文化室文化振興課、北海道生活福祉部文化室文化振興課（1996）
- 『神戸からの伝言 瓦礫に響いたバツハ』  
河内厚郎、東方出版（1996）
- 『文化は都市を刺激する（上・下）』  
住宅・都市整備公団つくば開発局・日本都市計画学会、プロセスアーキテクチャ（1996）
- 『品格なくして地域なし』  
関川夏央・日下公人・奥本大三郎・森まゆみ・津野海太郎、晶文社（1996）
- 『芸術・文化の振興とまちづくり ヨーロッパ視察調査団報告書』  
地域活性化センター、地域活性化センター（1996）
- 『FORUM IN SAPPORO 第 6 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実施報告書』  
全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会、北海道生活福祉部文化室文化振興課（1996）
- 『震災と美術をめぐる 20 の話』  
アート・ギャラリー LA FENICE、ラ・フェニーチェ（1995）
- 『神戸発 阪神大震災以後』  
酒井道雄、岩波書店（1995）
- 『阪神大震災は演劇を変えるか』  
国際演劇評論家協会日本センター関西支部、晩成書店（1995）
- 『パブリックアートが街を語る』  
杉村荘吉、東洋経済新報社（1995）
- 『第 4 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 報告書』  
第 4 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会、宮城県（1995）
- 『芸術のまち 創刊号』  
芸術のまちづくり史料ライブラリー、編集企画工房エディトリアルファクトリー（1994）
- 『芸術のまち 創刊準備号』  
芸術のまちづくり史料ライブラリー、編集企画工房エディトリアルファクトリー（1993）
- 『新ひたち風土記 音楽市民まちをつくる』  
佐藤克明、芸団協出版部（1993）

- 『文化が地域をつくる』  
山崎正和、学陽書房（1993）
  
- 『MESSAGE21 市民がつくる文化のまち・神戸』  
宮本憲一・平田康・竹山清明、労働旬報社（1993）
  
- 『第2回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 地域の人・こころ・ロマン 宇都宮大会 記録集』  
文化のまちづくり全国大会実行委員会事務局、文化のまちづくり全国大会実行委員会（1992）
  
- 『現代生涯学習全集 8 イベントによる地域活性化』  
岡本包治、ぎょうせい（1992）
  
- 『芸術と地域』  
團伊玖磨・田村明・永井多恵子・長洲一二監修／神奈川県編、ぎょうせい（1992）
  
- 『地域の人・こころ・ロマン--文化のまちづくり全国大会宇都宮大会--記録集』  
文化のまちづくり全国大会実行委員会事務局、文化のまちづくり全国大会実行委員会事務局（1992）
  
- 『現代生涯学習全集 7 まちづくりと文化・芸術の振興』  
岡本包治、ぎょうせい（1992）
  
- 『芸術と自治体 豊かさと感動を求めて 第14回地方の時代シンポジウム（資料）』  
第14回地方の時代シンポジウム事務局神奈川県企画部企画総務室、第14回地方の時代シンポジウム事務局・神奈川県企画部企画総務室（1991）
  
- 『ふるさと資源活用に関する調査研究報告書』  
地域活性化センター、地域活性化センター（1991）
  
- 『地域活性化ハンドブック 12 まちの顔づくり』  
地域活性化センター、地域活性化センター（1991）
  
- 『地域を創る知恵 まちを活性化させる意識と発想』  
橋本徹、学陽書房（1991）
  
- 『市民文化への挑戦』  
葉山峻、日本経済評論社（1991）
  
- 『中之島・公会堂 よみがえる都市の鼓動』  
大阪都市環境会議、都市文化社（1990）
  
- 『「音楽とまちづくり」資料集』  
関東自治体学フォーラム in TAKASAKI（1990）
  
- 『地域文化の活性化--市民文化とコミュニティ 5』  
瀬沼克彰、大明堂（1989）

- 『行政の文化化 まちづくり 21 世紀に向けて』  
上田篤、学陽書房（1983）

## 海外文献

---

- 『Cities and the Creative Class』  
Richard Florida、Routledge（2005）
- 『The Rise of the Creative Class : And How It's Transforming Work, Leisure,  
Community and Everyday Life』  
Richard Florida、Basic Books（2004）

## アートマネジメントの主体

### 市民・個人

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

#### 市民

---

- 『Art Center Ongoing 2008-2018』  
Art Center Ongoing（2018）
- 『東南アジアリサーチ紀行—東南アジア 9 カ国・83 カ所のアートスペースを巡る』  
小川希、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）（2017）
- 『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』  
上田假奈代（著）、谷川俊太郎（その他）、鷲田清一（その他）、森村泰昌（その他）、栗原彬（その他）、西川勝（その他）、アサダワタル（その他）、甲斐賢治（その他）、鈴木一郎太（その他）、劔樹人（その他）、坂上香（その他）、岸井大輔（その他）、猪瀬浩平（その他）、山田創平（その他）、フィルムアート社（2016）
- 『社会の芸術/芸術という社会—社会とアートとの関係、その再創造に向けて』  
北田暁大・神野真吾・竹田恵子（社会の芸術フォーラム運営委員会）＝編、論考：志田陽子、成原慧、韓東賢、明戸隆浩、岸政彦、清水晶子、仁平典宏、間庭大祐、対談：高嶺格×チエ・キョンファ、藤井光×吉澤弥生、蔵屋美香×神野真吾、フィルムアート社（2016）
- 『アートプロジェクトの悩み—現場のプロたちはいつも何に直面しているのか』  
小川希＝編、藤浩志、相馬千秋、遠藤一郎、林暁甫、服部浩之、飯田志保子、Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）、遠藤水城、千葉正也、森司、泉太郎、出津京子、太田祐司、東野哲史、山本篤、和田昌宏＝著、フィルムアート社（2016）
- 『ミュージック「現代音楽」をつくった作曲家たち』  
ハンス・ウルリッヒ・オプリスト＝著、篠儀直子・内山史子・西原尚＝訳、フィルムアート社（2015）
- 『メセナ note63 号 特集：わっしょい！商店街』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『メセナ note53 号 特集：アートと市民参加』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『common cafe（コモンカフェ）～人と人が出会う場所のつくりかた～』  
山納洋、西日本出版社（2007）
- 『慶典院十周年記念誌 呼吸するお寺』  
長友麻希子・山口洋典・池野亮光、慶典院（2007）

- 『市民社会の創造の10年—支援組織の視点から—』  
日本 NPO センター、ぎょうせい（2007）
- 『まちづくりと市民参加 VIII まちづくり』  
服部則仁、まちづくり市民財団（2006）
- 『問われる市民セクターの価値～変革に向けた自覚と行動』  
日本 NPO センター、日本 NPO センター（2005）
- 『介護する人される人のための芸術出張講座「アート・デリバリー講座」ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援～』  
並河恵美子・三ツ木紀英、NPO 芸術資源開発機構（ARDA）（2005）
- 『クロスボーダー宣言 国際交流を担う地球市民たち』  
国際交流基金編、鹿島出版会（2005）
- 『市民社会論 NGO・NPO を超えて』  
入山映、明石書店（2004）
- 『助成財団--NPO・市民活動のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
- 『まちかどのフィランソピストたち』  
日本フィランソピー協会、日本フィランソピー協会（2002）
- 『英国の市民社会』  
The British Council、The British Council（2001）
- 『我らネットワーク元気人--市民活動・ネットワーク論と実践--』  
ひと・まちネット滋賀、サンライズ出版（2000）
- 『個人・企業の社会貢献とマッチングギフト NPO が日本を変える』  
ジャパンウェイ、オーク（2000）
- 『NPO 最前線 岐路に立つアメリカ市民社会』  
レスター・M・サラモン／山内直人（訳・解説）、岩波書店（1999）
- 『個人・企業の社会貢献--21 世紀ビジネスをアメリカに学ぶ』  
大久保昇、オーク（1998）
- 『季刊メセナ No. 27 1997 年冬号：ビジネスマンのための現代アート講座』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『「アーツフォーラム、21 世紀への提言」第 3 回 市民の芸術マインドを育てる--芸術への市民参加をめざして--』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1997）

## ボランティア

---

- 『平成 18 年度 文化ボランティア活動実態環境調査』  
特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム地域演劇マネジメントセンター調査、特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム  
地域演劇マネジメントセンター（2007）
- 『がんばれ美術館ボランティア』  
嶋崎吉信・清水直子、淡交社（2001）
- 『1%クラブ ボランティア体験セミナーレシピ』  
経団連 1%クラブボランティア体験セミナーボランティア・スタッフ、経団連 1%クラブ（2001）
- 『平成 12 年版 国民生活白書ーボランティアが深める好縁ー』  
経済企画庁国民生活局国民生活調査課、大蔵省印刷局（2000）
- 『平成 12 年版 国民生活白書--ボランティアが深める好縁--』  
経済企画庁国民生活局国民生活調査課、大蔵省印刷局（2000）
- 『ボランティア市民活動助成ガイドブック 2000 年度版』  
東京ボランティア・市民活動センター、東京ボランティア・市民活動センター（2000）
- 『私も美術館でボランティア』  
淡交社 美術企画部、淡交社（1999）
- 『誌上シンポジウム ミュージアムセッション「美術館とボランティア」』  
水戸芸術館現代美術センター、水戸芸術館現代美術センター（1997）
- 『ボランティアを高く評価する社会』  
松岡紀雄、本の時遊社（1997）
- 『市民とコミュニティの新しい関わり方についての研究』  
21 世紀ひょうご創造協会、21 世紀ひょうご創造協会（1997）
- 『ボランティア革命 大震災での経験と市民活動』  
本間正明・出口正之、東洋経済新報社（1996）
- 『「ボランティアの世紀」を迎えるために ボランティア活動評価・表彰 研究会報告書』  
さわやか福祉推進センター、さわやか福祉推進センター（1995）
- 『55 人「私のボランティア」--勤労者ボランティア活動事例集』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団・勤労者ボランティアセンター、第一書林（1994）
- 『勤労者のボランティア活動と企業の支援--ボランティア活動支援事例集』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター、勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター  
（1994）
- 『勤労者ボランティア活動事例調査報告書』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団、勤労者リフレッシュ事業振興財団（1994）



- 『文化行政とボランティアに関する調査報告書』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部、東京都生活文化局コミュニティ文化部（1994）
- 『市民意識と社会参加活動委員会報告--自覚と責任のある社会へ--』  
第 14 次国民生活審議会総合政策部会 市民意識と社会参加活動委員会、第 14 次国民生活審議会総合政策部会 市民意識と社会参加活動委員会（1994）
- 『季刊メセナ No. 18 1994 年秋号：アートを社会に解き放つ--普及・参加・ボランティア』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『ボランティアに生きる 日本のフィランソロピー水脈を掘り下げる五つの話』  
八木哲郎、東洋経済新報社（1993）
- 『ドームの下で 富山県立近代美術館ボランティア活動記録集』  
富山県立近代美術館ボランティア「どおむの会」・富山近美友の会、富山近美友の会（1993）
- 『サラリーマンのためのボランティア入門』  
木原孝久、日経連広報部（1993）
- 『初めてのボランティア』  
ほんの木、ほんの木（1993）
- 『ボランティアもうひとつの情報社会』  
金子郁容、岩波新書（1992）
- 『会社人間のボランティア奮戦記』  
磯部裕三、文藝春秋（1992）
- 『ボランティア活動研究第 7 号 ボランティア活動と企業市民活動』  
大阪ボランティア協会、大阪ボランティア協会（1992）
- 『「企業ボランティア活動」ガイド』  
全国社会福祉協議会、全国社会福祉協議会（1992）

## アートマネジメントの実務

### アートマネジメント

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『東京アートポイント計画がアートプロジェクトを運営する「事務局」と話すときのことば。の本』  
監修：森司（アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画ディレクター）、編著：坂本有理＋佐藤李青＋大内伸輔  
＋芦部玲奈＋中田一会＋嘉原妙＋上地里佳（アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画 プログラムオフィサー）ア  
ーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）（2017）
- 『アートプロジェクトのつくりかた―「つながり」を「つづける」ためのことば』  
森司＝監修、坂本有理＋佐藤李青＋大内伸輔＋芦部玲奈＝編著、フィルムアート社（2015）
- 『THE CURATOR'S HANDBOOK―美術館、ギャラリー、インディペンデント・スペースでの展覧会のつくり  
方[キュレーターズ・ハンドブック]』  
エイドリアン・ジョージ（著）、河野晴子（翻訳）、フィルムアート社（2015）
- 『現代美術キュレーター・ハンドブック』  
難波祐子（著）、青弓社（2015）
- 『美術館の舞台裏：魅せる展覧会を作るには（ちくま新書）』  
高橋明也（著）、筑摩書房（2015）
- 『キュレーションの現在―アートが「世界」を問い直す（Next Creator Book）』  
榎木野衣、フィルムアート社（2015）
- 『文化政策の展開：アーツ・マネジメントと創造都市』  
野田邦弘、学芸出版社（2014）
- 『アートプロジェクト（芸術と共創する社会）』  
熊倉純子、水曜社（2014）
- 『アートマネジメントの基本用語ハンドブック』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2014）
- 『アート・アーカイブ・キット』  
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室（2014）
- 『キュレーション 知と感性を揺さぶる力（集英社新書）』  
長谷川祐子（著）、集英社（2013）
- 『キュレーション「現代アート」をつくったキュレーターたち』  
ハンス・ウルリッヒ・オプリスト（著）、村上 華子（翻訳）、フィルムアート社（2013）

- 『行政改革と文化創造のイニシアティブ—新しい共創の模索』  
小林真理、美学出版（2013）
- 『アーツマネジメント学 芸術の営みを支える理論と実践的展開（文化とまちづくり叢書）』  
小暮宣雄（著）、水曜社（2013）
- 『ミュージアム新時代—世界の美術館長によるニュー・ビジョン』  
建畠哲編・かながわ国際交流財団編集協力、慶應義塾大学出版会（2009）
- 『アーツ・マネジメント概論 三訂版』  
小林真理・片山泰輔・伊藤裕夫・中川幾郎・山崎稔恵、水曜社（2009）
- 『アートマネジメント研究 第九号 2008』  
日本アートマネジメント学会 編集委員会、株式会社美術出版社（2008）
- 『芸術起業論』  
村上隆、幻冬舎（2007）
- 『金と芸術-なぜアーティストは貧乏なのか？』  
ハンス・アビング、grambooks（2007）
- 『アートマネジメント研究 第八号 2007』  
日本アートマネジメント学会編集委員会、美術出版社（2007）
- 『メセナ note47号 特集：アートの場合を考える』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2007）
- 『アートマネジメントとまちづくり』  
角谷ゼミナル、金沢市（2007）
- 『<ケーススタディ 東京都写真美術館>意識改革、ボランティア、ウェブ&デザイン～購入予算が復活するまで』  
山村真紀、日本ミュージアム・マネージメント学会（2007）
- 『新訂 アーツ・マネジメント』  
清水裕之・菊池誠・加藤種男・塩谷陽子、放送大学教育復興会（2006）
- 『アートマネジメント研究 第七号 2006』  
日本アートマネジメント学会編集委員会、美術出版社（2006）
- 『世界のオーケストラ運営の現状と展望<報告書>』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2006）
- 『公開講座 = オペラ劇場運営の現在・イタリア II = イタリアにおけるオペラの現状と展望～II Teatro d'opera in Italia ieri e oggi 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）

- 『公開講座 = オペラ劇場運営の現在・ベルギー = オペラ・ハウスの芸術運営と創作過程～オペラ歌手によるワークショップとともに 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）
- 『公開講座 = オペラ劇場運営の現在・フランス = 伝統と前衛、実験する歌劇場 講義録』  
昭和音楽大学オペラ研究所、昭和音楽大学オペラ研究所（2006）
- 『日米における実演家の出演契約に関する研究報告』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2006）
- 『希望の美術・協働の夢 北川フラムの 40 年』  
北川フラム、角川書店（2005）
- 『アートが知りたい[本音のミュゼオロジー]』  
岡部あおみ、武蔵野美術大学出版局（2005）
- 『雑誌「地域創造」別冊 海外ケーススタディ 芸術文化の非営利活動／地域振興／制度』  
文化科学研究所、地域創造（2005）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.50 名古屋／vol.53 東京 これでもいいのか？アートマネジメント／次世代からのマニフェスト』  
TAM 運営委員会、TAM 運営委員会（2005）
- 『アートマネジメント研究 第六号 2005』  
日本アートマネジメント学会編集委員会、美術出版社（2005）
- 『アートが知りたい--本音のミュゼオロジー』  
岡部あおみ、武蔵野美術大学出版局（2005）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 Vol.50 名古屋大会 2003 + Vol.53 東京会議 2004「これでもいいのか？アートマネジメント！ +次世代からのマニフェスト--TAM スピーチ大会」会議録』  
TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化広報室（2005）
- 『21 世紀のミュージアムをつくる 金沢 21 世紀美術館の挑戦』  
楠見清・中山真理・原田環・長谷川祐子・不動美里・北出智恵子、美術出版社（2004）
- 『跡見学園マネジメント学部紀要 第 2 号』  
曾田修司/片山泰輔、跡見学園女子大学（2004）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.48 高知 シネママネジメントの挑戦 公共的な映画事業を立ち上げよう！ 報告書 』  
TAM 高知セッション'03 実行委員会高知県文化財団、TAM 高知セッション'03 実行委員会・高知県文化財団（2004）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座の軌跡 1996-2004』  
TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化広報室（2004）

- 『21 世紀のミュージアムをつくる--金沢 21 世紀美術館の挑戦』  
金沢 21 世紀美術館、美術出版社（2004）
- 『進化するアートマネジメント』  
林容子、レイライン（2004）
- 『もっと知りたいアート・マネジメント』  
静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科編、静岡文化芸術大学（2004）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.48 高知セッション「シネママネジメントの挑戦 公共的な映画事業を立ち上げよう！」報告書』  
TAM 高知セッション'03 実行委員会・高知県文化財団、TAM 高知セッション'03 実行委員会・高知県文化財団（2004）
- 『音楽芸術運営研究所紀要 No.3』  
昭和音楽大学音楽芸術運営研究所、昭和音楽大学音楽芸術運営研究所（2004）
- 『公立文化施設職員のための制作基礎知識』  
地域創造、地域創造（2004）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.45 東京会議'02：アートマネジメント教育--現場が求める人材とは会議録』  
TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化室（2003）
- 『アーツマネジメントみち--社会に未知、まちにダンス』  
小暮宣雄、晃洋書房（2003）
- 『アートマネジメント』  
伊東正伸・岡部あおみ・加藤義夫・新見隆、武蔵野美術大学出版局（2003）
- 『地域創造レター別冊：公共ホール職員のための決定版制作基礎知識』  
地域創造、地域創造（2002）
- 『アーツ・マネジメント』  
川崎賢一・佐々木雅幸・河島伸子、放送大学教育振興会（2002）
- 『アートマネジメント研究 第 3 号 2002』  
日本アートマネジメント学会編集委員会、美術出版社（2002）
- 『事務局運営におけるツール等事例集』  
暮らしの情報センターセルフイッシュネス、暮らしの情報センターセルフイッシュネス出版部（2002）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.30 名古屋 名古屋大会 2000 会議録 アートマネジメントの魅力』  
TAM 運営委員会、TAM 運営委員会（2001）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.30 名古屋大会 2000「アートマネジメントの魅力」会議録』  
TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化室（2001）

- 『社会とアートのえんむすび 1996-2000 つなぎ手たちの実践』  
ドキュメント 2000 プロジェクト実行委員会、ドキュメント 2000 プロジェクト実行委員会（2001）
- 『イベント創造の時代--自治体と市民によるアートマネジメント』  
野田邦弘、丸善ライブラリー（2001）
- 『アーツマネジメント概論』  
伊藤裕夫・中川幾郎・片山泰輔・山崎稔恵・小林真理、水曜社（2001）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.21 高知「アートはつかれる？回路を開く」報告書』  
トヨタ・アートマネジメント講座高知セッション'99 実行委員会・高知県文化財団、トヨタ・アートマネジメント講座高知セッション'99 実行委員会・高知県文化財団（2000）
- 『アート・マネジメントの会計--理論と実務--』  
佐々木晃彦、中央経済社（2000）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 Vol.21 高知セッション「アートはつかれる？回路を開く」報告書』  
トヨタ・アートマネジメント講座高知セッション'99 実行委員会・高知県文化財団、トヨタ・アートマネジメント講座高知セッション'99 実行委員会・高知県文化財団（2000）
- 『フランスアートマネジメント講座 報告書』  
全国市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所・地域創造、全国市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所・地域創造（2000）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.14 東京 東京会議'98 会議録「アートマネジメントの力」』TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化室（1999）
- 『日本ミュージアム・マネジメント学会年報（96年度-98年度）』  
日本ミュージアム・マネジメント学会、日本ミュージアム・マネジメント学会（1999）
- 『アートマネジメントシンポジウム～地域文化と文化施設を考える～ 実施報告書』  
宮城県・宮城県文化振興財団、宮城県・宮城県文化振興財団（1999）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 Vol.14 東京会議'98「アートマネジメントの力」会議録』  
TAM 運営委員会、トヨタ自動車広報部社会文化室（1999）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vo.17 北九州「芸術文化でまちを育てる」報告集』  
北九州市建築都市局都心・副都心開発室、北九州市建築都市局都心・副都心開発室（1998）
- 『美術館政策論』  
根木昭・枝川明敏・垣内恵美子・溝上智恵子・栗原祐司、晃洋書房（1998）
- 『林檎の礼拝堂』  
田窪恭治、集英社（1998）

- 『アート・プロデュース実践セミナー報告書』  
埼玉県・埼玉県芸術文化振興財団、埼玉県芸術文化振興財団（1998）
- 『アート・マネジメント（ブックレット 03）』  
宮城県・宮城県文化振興財団、慶應義塾大学アート・センター（1998）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 Vol.3 福岡セッション「アートは社会とともに始まる」報告書』  
アートマネジメント講座実行委員会福岡事務局、アートマネジメント講座実行委員会福岡事務局（1998）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 Vol.17 北九州セッション「芸術文化でまちを育てる」報告集』  
北九州市建築都市局都心・副都心開発室都心開発課、北九州市建築都市局都心・副都心開発室都心開発課（1998）
- 『「芸術と社会を結ぶ」報告書』  
国際交流基金 国際交流相談室、国際交流基金 国際交流相談室（1998）
- 『舞台芸術フェア 報告書 1998』  
舞台芸術フェア事務局、舞台芸術フェア事務局（1998）
- 『舞台芸術フェア ガイド』  
舞台芸術フェア事務局、舞台芸術フェア事務局（1998）
- 『舞台芸術フェア 出展団体リスト』  
舞台芸術フェア事務局、舞台芸術フェア事務局（1998）
- 『舞台芸術フェア 報告書 1999』  
舞台芸術フェア事務局、舞台芸術フェア事務局（1998）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.4 神戸 神戸発 演劇の可能性 報告集』  
神戸アートビレッジセンター、神戸アートビレッジセンター（1998）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.2 札幌 演劇講座「同時代の演劇と社会」報告集』  
北海道演劇財団、北海道演劇財団（1997）
- 『博物館経営論』  
諸岡博熊、信山社（1997）
- 『芸術経営学を学ぶ人のために』  
佐々木晃彦、世界思想社（1997）
- 『「アーツフォーラム、21 世紀への提言」第 3 回 市民の芸術マインドを育てる--芸術への市民参加をめざして--』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1997）
- 『続 美術館・博物館は「いま」--機構・運営の理想と現実』  
湯本豪一、日外アソシエーツ（1996）

- 『ミュージアム・マネージメント 博物館運営の方法と実践』  
大堀哲、東京堂出版（1996）
- 『アートマネージメント（芸術経営）機能と効果に関する総合研究』  
守谷秀夫 （1996）
- 『アートマネージメント 機能と効果に関する総合研究 [資料編] 』  
守谷秀夫 （1996）
- 『アート・マネージメント--画廊経営実感論』  
佐谷和彦、平凡社（1996）
- 『「アーツフォーラム、21 世紀への提言」第 2 回 未来型アートマネジメント 芸術の送り手・受け手をつなぐもの：検証・或る前衛ダンス公演の収支決算』  
芸術文化交流の会、芸術文化交流の会（1996）
- 『慶應義塾大学ビジネス・スクール資料』  
慶應義塾大学ビジネス・スクール（1996）
- 『道なかばなれど 劇団飛行船のアート・マネージメント』  
田中久弘、劇団飛行船出版局（1996）
- 『国際会議マニュアル』  
国際観光振興会、国際観光振興会（1996）
- 『エンタテインメントの罫 アメリカ映画、音楽、演劇業界の契約ガイド』  
曾根香子・小原恒之・重田樹男・福井建策、七賢出版（1995）
- 『企業博物館--ミュージアム・マネージメント』  
諸岡博熊、東京堂出版（1995）
- 『スーパースタッフ Vol.1 アートマネージメントの現場 ドキュメント N-PAC Workshop』  
長谷川逸子・竹柴源一・田中英世・栗哲家他、ペヨトル工房（1995）
- 『アートマネージメント概論 <Version3> 』  
伊藤裕夫、電通総研（1995）
- 『大英博物館の舞台裏』  
デイヴィッド・M・ウィルソン・中尾太郎訳、平凡社（1994）
- 『文化を支える アート・マネージメント<人材・財政・企画> 』  
小林進、朝日出版（1994）
- 『芸術経営学講座 1 美術編』  
佐々木晃彦監修・土屋良雄編、東海大学出版会（1994）



- 『芸術経営学講座 2 音楽編』  
佐々木晃彦監修 松原千代繁・樽松三郎編、東海大学出版会（1994）
- 『芸術経営学講座 3 演劇編』  
佐々木晃彦監修・山田翰弘編、東海大学出版会（1994）
- 『芸術経営学講座 4 映像編』  
佐々木晃彦監修・松本正道編、東海大学出版会（1994）
- 『アート・アドミニストレーション』  
小野瀬由一、尚美学園（1994）
- 『美術館学入門』  
井出洋一郎、明星大学出版部（1993）
- 『美術館とは何か ミュージアム&ミュゼオロジー』  
ダニエル・シロディ/アンリ・ブイル、鹿島出版会（1993）
- 『美術館教育普及国際シンポジウム 1992 美術館連絡協議会創立 10 周年記念誌』  
美術館教育普及国際シンポジウム実行委員会、美術館教育普及国際シンポジウム実行委員会（1993）
- 『美術館教育普及国際シンポジウム 1992 報告書』  
美術館教育普及国際シンポジウム実行委員会、美術館教育普及国際シンポジウム実行委員会（1993）
- 『ミュージアムマネージメント 産業文化施設の運営』  
諸岡博熊、創元社（1993）
- 『美術館の活動と経済基盤--調査報告書--』  
電通総研（1992）
- 『アートマネージメント概論--メセナとアートマネージメント--』  
伊藤裕夫、電通総研（1992）
- 『アート・マネージメント・セミナーの記録 --「日本の芸術文化と行政」および「企業文化とメセナ活動」を考える--』  
小林進、コンテンポラリー・アート・ネットワーク（1992）
- 『平成元年度 学芸員研修会報告書』  
全国美術館会議、全国美術館会議（1991）
- 『平成 3 年度 学芸員研修会報告書』  
全国美術館会議、全国美術館会議（1991）
- 『アートマネージメント講座 F・コルベール教授「芸術と経営」』  
F・コルベール著・芸団協訳、日本芸能実演家団体協議会（1991）

- 『わが国のアートマネージメントとデザイン振興に関する動向調査報告書』  
芝浦工業大学工学部建築工学科三宅研究室（1991）
- 『拝啓 新規事業開発スタッフ殿--アート・レンタルの流通革命を探る』  
鶴時靖夫、IN通信社（1990）
- 『新しいミュージオロジーを探る 西武美術館からセゾン美術館へ』  
セゾン美術館、リポート（1989）
- 『博物館調査報告--管理・運営編 昭和 61 年度版』  
日本博物館協会、日本博物館協会（1986）
- 『博物館学講座 第 2 巻 日本と世界の博物館史』  
古賀忠道・徳川宗敬・樋口清之、雄山閣出版（1981）
- 『Performance BOOK : オルターナティブスペース論「場の問題」』  
小林進、ダンスワーク舎（1989）
- 『ニューヨーク午前 0 時 美術館は眠らない』  
岩淵潤子、朝日新聞社（1989）

## アートマネジメントの実務

### 財務・ファンドレイズ

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2017）
- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2015）
- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2013）
- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2012）
- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2011）
- 『寄付白書』  
日本ファンドレイジング協会 編、日本ファンドレイジング協会（2010）
- 『芸術と経営—アートマネジメント』  
小林 進、雄山社（2004）
- 『芸術文化助成財団事業案内』  
芸術文化助成財団協議会、芸術文化助成財団協議会
- 『助成団体要覧--民間助成金ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
- 『助成財団--研究者のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
- 『助成財団--NPO・市民活動のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
- 『メセナ note61 号 特集：寄付は楽しい』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『芸術文化活動への財政支援のあり方』  
国立国会図書館文教科学技術課上原有紀子、国立国会図書館調査及び立法考査局（2009）

- 『トヨタ芸術環境 KAIZEN プロジェクト 芸術団体のためのファンドレイジング・ハンドブック～個人サポーター獲得を目指して～』  
芸術団体のためのファンドレイジング・アクション・コミティ（伊藤美歩、岩本直子）（2009）
- 『民間助成イノベーション—制度改革後の助成財団のビジョン—』  
助成財団センター、助成財団センター（2007）
- 『新版 公益法人会計基準の解説』  
加古宜士編著・総務省大臣官房管理室編集協力、公益法人協会（2005）
- 『公益法人の税務』  
梶野研二・奥田芳彦、公益法人協会（2004）
- 『公益法人の消費税』  
都井清史、公益法人協会（2004）
- 『公益法人の資産運用』  
公益法人資産運用研究会、公益法人協会（2003）
- 『アート・マネジメントの会計--理論と実務』  
佐々木晃彦、中央経済社（2003）
- 『季刊メセナ No. 30 1997 年秋号：進め！メセナ少年～支援要請の現場から』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
- 『Q&A 公益法人の運営と会計・税務』  
渡辺俊之、新日本法規（1997）
- 『非営利団体の経済分析』  
E・ジェイムズ／S・ローズエーカーマン・田中敬文訳、多賀出版（1993）
- 『季刊メセナ No. 8 1992 年春号：ファンド・レイジングの現場から全国各地にメセナ、フィランソロピーの新しい動き』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1992）
- 『わかりやすい公益法人会計 [基礎編]』  
運輸経済研究センター・公益法人研究委員会、全国公益法人協会（1990）

## アートマネジメントの実務

### アートとマーケティング

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『芸術の売り方 劇場を満員にするマーケティング』  
ジョアン・シェフ・バーンスタイン、英治出版（2007）
- 『文化庁 平成 18 年度優秀指導者特別指導助成「ミュージアム戦略とマーケティング」シンポジウム事業報告書』  
日本ミュージアム・マネージメント学会、日本ミュージアム・マネージメント学会（2007）
- 『ミュージアム・マーケティング』  
フィリップ・コトラー／ニール・コトラー、第一法規（2006）
- 『実践マーケティング・コミュニケーションズ』  
内藤俊夫編・上條典夫監修、電通（2005）
- 『ソーシャルマーケティングニュースレター 8号 特別編集/企業とNPOの新しい出会い』  
博報堂ソーシャルマーケティング研究会、博報堂ソーシャルマーケティング研究会（2001）
- 『予約会員獲得のすすめ--奇跡をよぶ財政安定化マニュアル』  
ダニー・ニューマン著・松居弘道訳、芸団協出版部（2001）
- 『関係性マーケティングと演劇消費--熱烈ファンの創造と維持の構図--』  
和田充夫、ダイヤモンド社（1999）
- 『非営利組織のマーケティング戦略--自治体・大学・病院・公共機関のための新しい変化対応パラダイム』  
フィリップ・コトラー・井関利明監訳、第一法規出版（1991）

## アートマネジメントの実務

### アートと法律

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『クリエイターのためのアートマネジメント―常識と法律―』  
作田知樹、八坂書房（2009）
- 『海外の美術品等の公開促進―美術品等の差押え等防止に関する諸外国の法律―』  
寺倉憲一（国立国会図書館文教科科学技術課）、国立国会図書館調査及び立法考査局（2009）
- 『著作権保護期間 延長は文化を振興するか？』  
田中辰雄・林紘一郎、頸草出版（2008）
- 『こどものためのワークショップ その知財はだれのもの？』  
ワークショップ知財研究会／CSK ホールディングス・井上理穂子・大月ヒロ子・下村一・杉田定大・堤康彦・寺島洋子・橋本知子・福井健策・藤浩志著、アム・プロモーション（2007）
- 『著作権法の解説』  
千野直邦・尾中普子、一橋出版（2005）
- 『知的財産法判例集』  
大淵哲也・茶園成樹・平嶋竜太・蘆立順美・横山久芳、有斐閣（2005）
- 『著作権とは何か--文化と創造のゆくえ』  
福井健策、集英社（2005）
- 『実務者ための著作権ハンドブック〔第六版〕』  
著作権法令研究会、著作権情報センター（2005）
- 『著作権法入門（平成 17 年版）』  
文化庁、著作権情報センター（2005）
- 『博物館関係法令集』  
日本博物館協会、日本博物館協会（2005）
- 『芸団協セミナー 芸術文化と制度改革 制度が変わる？！文化芸術をめぐる、今、何が進行しているのか』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（2004）
- 『人格権法概説』  
五十嵐清、有斐閣（2003）

- 『新編 エンタテインメントの罫--アメリカ映画・音楽・演劇ビジネスと契約マニュアル』  
福井健策・小原恒之・重田樹男・曾根香子、すばる舎（2003）
- 『文化政策の法的基盤 文化芸術振興基本法と文化振興条例』  
根木昭、水曜社（2003）
- 『文化芸術振興基本法 基本方針に関する意見』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（2002）
- 『文化芸術の振興に関する基本的な方針』  
文化庁政策課（2002）
- 『舞台芸術と法律ハンドブック 公演実務 Q&A』  
文化法研究会・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2002）
- 『文化財保護関係法令集〔改訂版〕』  
文化庁文化財部監修、ぎょうせい（2001）
- 『カナダ芸術家地位法』  
佐藤一晴監訳、芸団協出版部（2001）
- 『芸術文化にかかわる法制〈資料集〉--芸術文化基本法の制定に向けて--』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（2001）
- 『人権の視点から考える：障害者アートと著作権』  
障害者芸術著作権等整備委員会、日本障害者芸術文化協会（2000）
- 『季刊メセナ No. 35 1999 年冬号：知的所有権とメセナ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1999）
- 『国際知的財産権』  
石黒一憲、NTT 出版（1998）
- 『はじめての著作権講座--著作権って何？--』  
著作権情報センター、著作権情報センター（1997）
- 『はじめての著作権講座 II--こんなときあなたは？ 著作権 Q&A（市町村のしごとと著作権）』  
著作権情報センター、著作権情報センター（1997）
- 『CPRA1996 実演家の権利と実演家著作隣接権センター』  
芸団協・実演家著作隣接権センター・浅原恒男・寺本幸司・小林俊範、日本芸能実演家団体協議会（1996）
- 『エンタテインメントの罫--アメリカ映画・音楽・演劇業界の契約ガイド』  
曾根香子・小原恒之・重田樹男・福井健策、テレコムスタッフ（1995）

- 『著作物使用料規定』  
日本音楽著作権協会、日本音楽著作権協会（1989）
- 『実演家の権利に関する契約』  
フランク・ゴツェン著・黒川徳太郎訳、芸団協出版部（1986）
- 『ヨーロッパ経済共同体における実演家の権利』  
フランク・ゴツェン著・芸団協訳、芸団協出版部（1982）
- 『実演家の権利--ヨーロッパ経済共同体における--』  
日本芸能実演家団体協議会、芸団協出版部（1980）



## アートマネジメントの実務

### 寄付税制・文化税制

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『メセナ note61号 特集：寄付は楽しい』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2009）
- 『企業メセナ協議会【助成認定制度研修会】報告書』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2004）
- 『メセナ セミナーシリーズ No2：メセナの税制について知ろう！ --寄付税制の基礎知識--』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2003）
- 『NPO 支援税制がよくわかる本』  
松原明、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会（2001）
- 『東京商工会議所・税制委員会 欧州税制視察団調査報告書』  
東京商工会議所税制委員会、東京商工会議所（2001）
- 『海外における NPO の法人制度・租税制度と運用実態調査』  
経済企画庁国民生活局、大蔵省印刷局（1999）
- 『アメリカのコミュニティと企業フィランソロピー 寄付とボランティアの実践』  
日本貿易振興会（JETRO）、日本貿易振興会（JETRO）（1994）
- 『平成 6 年版 相続税・贈与税関係通達集』  
納税協会連合会、納税協会（1994）
- 『平成 6 年版 所得税関係基本通達集』  
納税協会連合会、納税協会（1994）
- 『フィランソロピー税制の基本的課題--現状分析と提言--』  
公益法人協会、公益法人協会（1991）
- 『欧米主要 5 カ国の文化支出と税制 調査報告書』  
電通総研、文化庁（1991）
- 『寄附金課税の知識』  
渡辺淑夫、財経詳報社（1989）
- 『公益法人の活動と税制--日本とアメリカの財団・社団』  
橋本徹・古田精司・本間正明、清文社（1986）

- 『西ドイツの投資案内』  
KPMG、KPMG (1984)

## アートマネジメントの実務

### 文化政策・文化行政論

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『アートプロジェクトの可能性 ——芸術創造と公共政策の共創』  
谷口文保、九州大学出版会（2019）
- 『岐路に立つ指定管理者制度 変容するパートナーシップ（文化とまちづくり叢書）』  
松本茂章、中川幾郎、金井利之、片山泰輔、金山喜昭、伊東正示、桧森隆一、水曜社（2019）
- 『文化政策と地域づくり』  
渡部 薫、日本経済評論社（2019）
- 『文化芸術基本法の成立と文化政策 真の文化芸術立国に向けて』  
河村建夫、伊藤信太郎、水曜社（2018）
- 『文化政策の現在 3 文化政策の展望』  
小林真理、東京大学出版会（2018）
- 『文化政策の現在 2 拡張する文化政策』  
小林真理、東京大学出版会（2018）
- 『文化政策の現在 1 文化政策の思想』  
小林真理、東京大学出版会（2018）
- 『アーツカウンシル アームズ・レングスの現実を超えて』  
太下義之、水曜社（2017）
- 『文化資本：クリエイティブ・ブリテンの盛衰』  
ロバート ヒューイソン（著）、小林真理（翻訳）、美学出版（2017）
- 『文化政策学要説』  
根木 昭、佐藤良子、悠光堂（2016）
- 『文化立国論：日本のソフトパワーの底力』  
青柳正規、筑摩書房（2015）
- 『文化芸術への支援の論理と実際』  
枝川明敬、東京大学出版会（2015）
- 『文化政策の展開：アーツ・マネジメントと創造都市』  
野田邦弘、学芸出版社（2014）

- 『公共ホールと劇場・音楽堂法-文化政策の法的基盤 II』  
根木昭 (著), 佐藤良子 (編集)、水曜社 (2013)
- 『公共ホールと劇場・音楽堂法-文化政策の法的基盤 I』  
根木昭 (著), 佐藤良子 (編集)、水曜社 (2013)
- 『行政改革と文化創造のイニシアティブ—新しい共創の模索』  
小林真理、美学出版 (2013)
- 『メセナ note62 号 特集：緊急提言「ニュー・コンパクト」文化による地域再生』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2009)
- 『我が国の文化行政 平成 20 年度』  
文化庁長官官房政策課、文化庁長官官房政策課 (2008)
- 『平成 19 年度 政策研究セミナー報告書』  
愛知県自治研修所研修課、愛知県自治研修所研修課 (2008)
- 『メセナ note54 号 特集：民間からの文化政策提言』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2008)
- 『大阪でアーツカウンシルをつくる会 2007 年度年次報告書 ANNUAL REPORT 2007-2008 各国の文化政策比較を中心に』  
大阪でアーツカウンシルをつくる会、大阪でアーツカウンシルをつくる会 (2008)
- 『創造都市への展望-都市の文化政策とまちづくり』  
佐々木雅幸 + 総合研究開発機構、学芸出版社 (2007)
- 『フランスの文化政策 芸術作品の創造と文化的実践』  
クサビエ・グレフ (垣内恵美子監訳)、水曜社 (2007)
- 『文化政策セミナー07～美と知を楽しむまちづくり～』  
国際文化政策研究教育学会、国際文化政策研究教育学会 (2007)
- 『我が国の文化行政 平成 19 年度』  
文化庁長官官房政策課、文化庁長官官房政策課 (2007)
- 『文化政策のフロンティア② トランスフォーマティブ・カルチャー 新しいグローバルな文化システムの可能性』  
川崎賢一、勁草書房 (2006)
- 『アメリカの財政と福祉国家 第 8 巻 アメリカの芸術文化政策』  
片山泰輔、日本経済評論社 (2006)
- 『芸術創造拠点と自治体文化政策 京都芸術センターの試み』  
松本茂章、水曜社 (2006)

- 『我が国の文化行政 平成 18 年度』  
文化庁長官官房政策課、文化庁長官官房政策課（2006）
- 『地域における文化政策の主体に関する研究 芸術文化の担い手としての民間セクター』  
古賀弥生、橘大学大学院文化政策学研究科（2006）
- 『文化行政法の展開—文化政策の一般法原理—』  
根木昭、水曜社（2005）
- 『文化と都市の公共政策 創造的産業と新しい都市政策の構想』  
後藤和子、有斐閣（2005）
- 『我が国の文化行政 平成 17 年度』  
文化庁長官官房政策課、文化庁長官官房政策課（2005）
- 『「地域文化で日本を元気にしよう！」文化審議会文化政策部会報告書』  
文化審議会文化政策部会、文化庁（2005）
- 『NIRA 政策研究 2004 Vol.17 No.6 新しい都市の時代～都市が文化をリードする』  
総合研究開発機構、総合研究開発機構（2004）
- 『第 9 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
第 9 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局吹田市文化のまちづくり室内、第 9 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局吹田市文化のまちづくり室内（2003）
- 『地方における公共ホール運営の政策分析 福井県を中心として』  
山崎茂雄編、福井県立大学地域経済研究所（2003）
- 『文化政策学の展開』  
池上惇・端信行、晃洋書房（2003）
- 『文化政策を学ぶ人のために』  
上野征洋、世界思想社（2002）
- 『芸術文化政策 2：政策形成とマネジメント』  
根木昭、放送大学教育振興会（2002）
- 『芸術文化政策 1：社会における人間と芸術』  
徳丸吉彦・利光功、放送大学教育振興会（2002）
- 『日本の文化政策』  
根木昭、勁草書房（2001）
- 『分権時代の自治体文化政策』  
中川幾郎、勁草書房（2001）

- 『芸術立国論』  
平田オリザ、集英社（2001）
  
- 『文化行政 はじまり・いま・みらい』  
日本文化行政研究会・これからの文化政策を考える会、水曜社（2001）
  
- 『文化政策入門--文化の風が社会を変える』  
池上淳・端信行・福原義春・堀田カ、丸善ライブラリー（2001）
  
- 『文化政策学』  
後藤和子編、有斐閣コンパクト（2001）
  
- 『第 8 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
第 8 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局・熊本県企画開発部文化企画課内、第 8 回  
全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会事務局・熊本県企画開発部文化企画課内（1998）
  
- 『美術館政策論』  
根木明・枝川明敬・垣内恵美子・溝上智恵子・栗原祐司、晃洋書房（1998）
  
- 『季刊メセナ No. 29 1997 年夏号：民間からの政策提言〈芸術編〉』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1997）
  
- 『第 7 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
静岡県生活・文化部文化事業課、静岡県生活・文化部文化事業課（1997）
  
- 『第 6 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 実施報告書』  
北海道生活福祉部文化室文化振興課、北海道生活福祉部文化室文化振興課（1996）
  
- 『これからの芸術文化政策』  
芸術文化振興連絡会議〈PAN〉、芸団協出版部（1996）
  
- 『文化政策概論』  
根木明・枝川明敬・垣内恵美子・大和滋、晃洋書房（1996）
  
- 『第 4 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 報告書』  
第 4 回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム実行委員会、宮城県（1995）
  
- 『季刊メセナ No. 20 1995 年春号：激論！文化政策』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
  
- 『季刊メセナ No. 19 1995 年冬号：沸き立つアジアは、いま--芸術と文化支援の現状』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）
  
- 『季刊メセナ No. 15 1994 年冬号：岐路に立つヨーロッパのメセナ--変動がもたらす公・民の新たなバランス』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）

- 『生活文化大国への序章--モノの豊かさから心の豊かさを--』  
佐々木晃彦、みき書房（1993）
- 『第2回全国文化の見えるまちづくり政策研究フォーラム 地域の人・ころ・ロマン 宇都宮大会 記録集』  
文化のまちづくり全国大会実行委員会事務局、文化のまちづくり全国大会実行委員会（1992）
- 『文化政策推進会議審議状況について（報告）』  
芸術創造小委員会/地域文化・生活文化小委員会/国際文化小委員会、芸術創造小委員会/地域文化・生活文化小委員会/国際文化小委員会（1992）
- 『文化行政再考』  
シー・ディー・アイ、シー・ディー・アイ（1992）
- 『アートサポート'90s--芸術と経済の新しい関係を求めて--』  
芸団協出版部、丸善（1991）
- 『文化のいま、これから』  
神谷国善・行方克也・菅井幸雄他、新日本出版社（1991）
- 『現代文化政策データファイル』  
植木浩監修・文化政策研究会編、第一法規出版（1990）
- 『「心豊かな社会」論』  
栗田房穂・佐藤節子・平田道憲・余暇開発センター編、創知社（1990）
- 『「豊かな文化国家」実現のためのグランド・デザイン』  
関西経済同友会文化と経済委員会、関西経済同友会（1990）
- 『文化倍增論--経済大国から文化大国へ』  
飛岡健、日本文芸社（1989）
- 『日本の文化交流 新しい理念を求めて』  
加藤淳平、サイマル出版（1988）

## アートマネジメントの実務

### 文化と経済・文化経済学

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『文化経済学会 年次大会予稿集』  
文化経済学会、文化経済学会
- 『京都橘大学文化政策ライブラリー04 文化によるまちづくりと文化経済』  
端信行・中谷武雄、晃洋書房（2006）
- 『文化経済学入門--創造性の探究から都市再生まで』  
デイヴィッド・スロスビー著・中谷武雄・後藤和子監訳、日本経済新聞社（2002）
- 『文化と社会 現代フランスの文化政策と文化経済』  
イヴ・レオナル編・植木浩監訳・八木雅子訳、芸団協出版部（2001）
- 『文化としての経済』  
川田順造編、国際文化交流推進協会（2001）
- 『文化の経済学--日本的システムは悪くない--』  
荒井一博、文藝春秋（2000）
- 『劇場と演劇の文化経済学』  
徳永高志、芙蓉書房出版（2000）
- 『生涯学習の文化経済学』  
野田邦弘、芙蓉書房出版（2000）
- 『文明と文化の視角--進化社会の文化経済学』  
佐々木晃彦、東海大学出版会（1999）
- 『創造都市の経済学』  
佐々木雅幸、勁草書房（1998）
- 『文化経済学』  
池上惇・植木浩・福原義春、有斐閣（1998）
- 『文化経済学への招待』  
佐々木晃彦、芙蓉書房出版（1997）
- 『文化を事業する』  
清水嘉弘、丸善出版事業部（1997）



- 『文化の消費者』  
アルビン・トフラー、勁草書房（1997）
- 『福祉時代の地域社会貢献と文化・芸術支援に関する社会経済学的研究』  
フィランソロピー研究フォーラム・21 世紀ひょうご創造協会、フィランソロピー研究フォーラム・21 世紀ひょうご創造協会（1996）
- 『舞台芸術--芸術と経済のジレンマ』  
ウィリアム・J・ボウモル／ウィリアム・G・ボウエン、芸団協出版部（1994）
- 『豊かさの文化経済学』  
松原隆一郎、丸善（1993）
- 『「遊び」の値段 レジャー料金の国際比較』  
経済企画庁物価局、大蔵省印刷局（1992）
- 『名画の経済学--美術市場を支配する経済原理--』  
ウィリアム・D・グランブ、ダイヤモンド社（1991）
- 『アートサポート'90S --芸術と経済の新しい関係を求めて--』  
芸団協出版部、丸善（1991）
- 『美術経済白書』  
瀬木慎一、美術年鑑社（1991）
- 『文化経済学の可能性--文化政策と舞台芸術の現状と未来』  
池上惇、芸団協出版部（1991）
- 『文化経済学のすすめ』  
池上惇、丸善ライブラリー（1991）
- 『絵画・美術品投資入門--新版 第3の財テク』  
岩崎善四郎、ダイヤモンド社（1990）
- 『美術手帖 7月号：現代美術の経済学』  
美術出版社、美術出版社（1985）
- 『企業寄付増加の経済的要因』  
RALPH L.NELSON、萬代久尚（1982）
- 『文化施設の経済効果 --国立民族学博物館をモデルとして--』  
NIRA OUTPUT、イー・イー・ピー（1981）

## 海外文献

---

- 『Arts and Artists from an Economic Perspective』  
Xavier Greffe、UNESCO Publishing (2002)
- 『Economics and Culture』  
David Throsby、Cambridge University Press (2001)
- 『The Economic Importance of The Arts in Britain』  
John Myerscough、Policy Studies Institute (1988)
- 『Performing Arts The Economic Dilemma A Study of Problems common to Theater, Opera, Music,  
and Dance』  
Baumol W.J./ W.G. Bowen、The MIT Press (1966)
- 『The Culture Consumers』  
Alvin Toffler、St.Martin's Press (1964)

## アートマネジメントの実務

### 評価

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『アートプロジェクトのピアレビュー 対話と支え合いの評価手法』  
熊倉 純子 (著, 監修), 榎原 彩, 源 由理子, 若林 朋子, 水曜社 (2020)
- 『メセナ note59 号 特集：メセナの成果をどう測るか』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2009)
- 『「文化芸術の振興に関する基本的な方針」の評価と今後の課題について（審議のまとめ）』  
文化審議会文化政策部会、文化審議会文化政策部会 (2006)
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究—指定管理者制度を中心に—』  
地域創造、地域創造 (2005)
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究—指定管理者制度を中心に—[資料編]』  
地域創造、地域創造 (2005)
- 『メセナ セミナーシリーズ No5：どう考える？！メセナの評価--誰をどのように支援するか？--』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2004)
- 『助成財団の社会的役割--あの時のあの助成金』  
助成財団センター、助成財団センター (2003)
- 『ミュージアムが都市を再生する--経営と評価の実践』  
上山信一・稲葉郁子、日本経済新聞社 (2003)
- 『今後の博物館設置・運営基準と評価の在り方に関するシンポジウム報告書』  
日本博物館協会、日本博物館協会 (2002)
- 『アメリカ・イギリスにおける博物館評価の状況に関する報告書（平成 14 年度）』  
日本博物館協会、日本博物館協会 (2002)
- 『2001 年 10 月度 ミュージアム 顧客満足度調査 オレンジペーパーレポート』  
ビュー・コミュニケーションズ、ビュー・コミュニケーションズ (2002)
- 『入門 ミュージアムの評価と改善』  
村井良子・上山信一・三木美裕・佐々木秀彦・平田穰・川嶋ヘルトラン敦子、ミュゼ (2001)
- 『芸術文化指標の設定と文化データ収集のための手法に関する研究』  
根木昭 (1998)

- 『統計情報活用のフロンティアの拡大の統括的研究』  
松田芳郎（1997）
- 『アート的基础的な情報整備に関する調査と提言』  
芸術基礎研究所、芸術基礎研究所（1992）

## アートマネジメントの実務

### ボランティア

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『平成 18 年度 文化ボランティア活動実態環境調査』  
特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム地域演劇マネジメントセンター調、特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム地域演劇マネジメントセンター（2007）
- 『<ケーススタディ 東京都写真美術館 >意識改革、ボランティア、ウェブ&デザイン～購入予算が復活するまで』  
山村真紀、日本ミュージアム・マネージメント学会（2007）
- 『がんばれ美術館ボランティア』  
嶋崎吉信・清水直子編、淡交社（2001）
- 『ボランティア市民活動助成ガイドブック 2000 年度版』  
東京ボランティア・市民活動センター、東京ボランティア・市民活動センター（2000）
- 『私も美術館でボランティア』  
淡交社美術企画部編、淡交社（1999）
- 『誌上シンポジウム ミュージアムセッション「美術館とボランティア」』  
水戸芸術館現代美術センター、水戸芸術館現代美術センター（1997）
- 『ボランティアを高く評価する社会』  
松岡紀雄、本の時遊社（1997）
- 『市民とコミュニティの新しい関わり方についての研究』  
21 世紀ひょうご創造協会、21 世紀ひょうご創造協会（1997）
- 『ボランティア革命--大震災での経験と市民活動』  
本間正明・出口正之、東洋経済新報社（1996）
- 『「ボランティアの世紀」を迎えるために ボランティア活動評価・表彰 研究会報告書』  
さわやか福祉推進センター、さわやか福祉推進センター（1995）
- 『アメリカのコミュニティと企業フィランソロピー 寄付とボランティアの実践』  
日本貿易振興会（JETRO）、日本貿易振興会（JETRO）（1994）
- 『季刊メセナ No. 18 1994 年秋号：アートを社会に解放つ--普及・参加・ボランティア』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）

- 『55人「私のボランティア」--勤労者ボランティア活動事例集』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団・勤務者ボランティアセンター、第一書林（1994）
- 『勤労者のボランティア活動と企業の支援--ボランティア活動支援事例集』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団・勤務者ボランティアセンター、勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター（1994）
- 『勤労者ボランティア活動事例調査報告書』  
勤労者リフレッシュ事業振興財団・勤務者ボランティアセンター、勤労者リフレッシュ事業振興財団勤労者ボランティアセンター（1994）
- 『文化行政とボランティアに関する調査報告書』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部、東京都生活文化局コミュニティ文化部（1994）
- 『ドームの下で 富山県立近代美術館ボランティア活動記録集』  
富山県立近代美術館ボランティア「どおむの会」・富山近美友の会、富山近美友の会（1993）
- 『サラリーマンのためのボランティア入門』  
木原孝久、日経連広報部（1993）
- 『初めてのボランティア』  
ほんの木、ほんの木（1993）
- 『ボランティアもうひとつの情報社会』  
金子郁容、岩波新書（1992）

## アートマネジメントの実務

### 災害・テロとアート

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『表現者たちの「3・11」—震災後の芸術を語る（河北選書）』  
河北新報社、河北新報出版センター（2015）
- 『震災とアート—あの日、芸術に何ができたのか』  
倉林 靖、ブックエンド（2013）
- 『つくることが生きること -東日本大震災復興支援プロジェクト』  
一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N（著）、わわプロジェクト（編集）、中村政人（監修）、一般社団法人非  
営利芸術活動団体コマンド N（2012）
- 『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』  
ニッセイ基礎研究所（著）、いわき芸術文化交流館アリオス（著）、水曜社（2012）
- 『すべての地に新しい陽は昇る！「アート・エイド・神戸」活動記録集』  
「アート・エイド・神戸」実行委員会事務局、「アート・エイド・神戸」実行委員会（1998）
- 『第 2 回文化復興支援フォーラム報告書--市民グループに対する支援のあり方--』  
阪神・淡路震災復興支援 10 年委員会、阪神・淡路震災復興支援 10 年委員会（1997）
- 『阪神・淡路震災復興誌[第 1 巻]』  
兵庫県／震災復興調査研究委員会、（財）21 世紀ひょうご創造協会（1997）
- 『神戸からの伝言--瓦礫に響いたバツハ』  
河内厚郎、東方出版（1996）
- 『阪神・淡路大震災 芸術文化被害状況調査報告書』  
阪神・淡路大震災 芸術文化被害状況調査研究プロジェクト委員会、阪神・淡路大震災 芸術文化被害状況調査研  
究プロジェクト委員会（1995）
- 『震災と美術をめぐる 20 の話』  
アート・ギャラリー LA FENICE、アート・ギャラリー LA FENICE（1995）
- 『神戸発 阪神大震災以後』  
酒井道雄、岩波書店（1995）
- 『阪神大震災は演劇を変えるか』  
国際演劇評論家協会日本センター関西支部、晩成書房（1995）

- 『季刊メセナ No. 21 1995 年夏号：国際メセナ会議'95 | 阪神大震災がメセナに問いかけるもの』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1995）



## アートマネジメントの実務

### 障がい者とアート

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『障害者の舞台芸術鑑賞サービス入門 人と社会をデザインでつなぐ』  
南部充央、NTT 出版（2019）
- 『誤解としての芸術：アール・ブリュットと現代アート』  
ミシェル・テヴォー（著）、杉村昌昭（翻訳）、ミネルヴァ書房（2019）
- 『舞台の上の障害者 ―境界から生まれる表現―』  
長津結一郎、九州大学出版会（2018）
- 『日本のアール・ブリュット：もうひとつの眼差し』  
アールブリュットコレクション（編集）、国書刊行会（2018）
- 『奈良県における障害のある人の舞台芸術活動に関する調査』  
障害とアートの相談室、一般財団法人たんぼぼの家（2018）
- 『問いかけるアート 工房集の挑戦』  
問いかけるアート編集委員会（著）、さわらび舎（2017）
- 『ソーシャルアート:障害のある人とアートで社会を変える』  
森下静香, 光島貴之, 吉岡 洋, 森田かずよ, 大谷 燮, ウルシマトモコ, 中津川浩章, 中島香織, 木ノ戸昌幸, 新澤克憲, 山下完和, 鈴木励滋, 栗原 彬, 佐久間 新, 大澤寅雄, 五島智子, 富田大介, 沼田里衣, 永山智行, 田野智子, 中川 真, 久保田 翠, 新川修平, ほんまなおき, 林 建太, 川上文雄, 岡部太郎, 井尻貴子, 樋口龍二, 柴崎由美子, 若林朋子, 播磨靖夫, 一般財団法人たんぼぼの家（編集）、学芸出版社（2016）
- 『障がいのある人の創作活動―実践の現場から』  
服部 正、あいり出版（2016）
- 『ひとさし指のノクターン ～車いすの高校生と東京藝大の挑戦～』  
新井鷗子, 高橋幸代、ヤマハミュージックメディア（2016）
- 『アウトサイダー・アート入門』  
榎木野衣、幻冬舎（2015）
- 『インクルーシブシアターを目指して……「障害者差別解消法」で劇場はどうかわるか』  
鈴木京子、ビレッジプレス（2015）
- 『生きづらさの自己表現 アートによってよみがえる「生」』  
藤澤三佳 著、晃洋書房（2014）

- 『ボーダレス・アートミュージアム NO-MA10 年の軌跡 ―境界から立ち上がる福祉とアート―』  
企画：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA、社会福祉法人グロー（2014）
- 『障害者の芸術表現 共生的なまちづくりにむけて（文化とまちづくり叢書）』  
川井田祥子 著、水曜社（2013）
- 『アール・ブリュット アート 日本』  
保坂健二郎 企画、ボーダレス・アートミュージアム 企画、NO-MA 企画、アサダワタル 編者、平凡社（2013）
- 『トヨタ・エイブルアート・フォーラム総合セッション 講演録 アートは社会の未来への投資』  
柿沼市子 秋山浩子、トヨタ自動車（2003）
- 『人権の視点から考える：障害者アートと著作権』  
障害者芸術著作権等整備委員会、日本障害者芸術文化協会（2000）
- 『こんなスペースがあったらいい--障害のある人・アート・まち--』  
「こんなスペースがあったらいい」編集委員会、日本障害者芸術文化協会（2000）
- 『ABLE ART [魂の芸術家たちの現在]』  
たんぼぼの家、たんぼぼの家（1996）

## アートマネジメントの実務

### アートと教育

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『アートを活用した新しい教育活動の構築事業 事業報告書 2004-2008』  
ST スポット横浜アート教育事業部、ST スポット横浜アート教育事業部（2009）
- 『メセナ note57 号 特集：メセナによる次世代育成』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2008）
- 『第 8 回オーケストラによるエデュケーション・プログラム ワークショップ 報告書 2007-2008』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2008）
- 『第 7 回オーケストラによるエデュケーション・プログラム ワークショップ 2006 報告書』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2007）
- 『ドラマ・イン・エデュケーション ドラマ教育を探る 12 章』  
中山夏織、シアタープランニングネットワーク（2007）
- 『学校向け美術館利用ガイド』  
学校向け美術館利用ガイド制作プロジェクト、府中市美術館（2007）
- 『実演家が学校にやってきた 和楽器授業ガイドブック』  
日本芸能実演家団体協議会・芸能文化振興部、日本芸能実演家団体協議会（2006）
- 『日本のオーケストラのエデュケーション・プログラム 2006』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2006）
- 『諸外国及びわが国における「映画教育」に関する調査[中間報告書]』  
国際文化交流推進協会、コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（2005）
- 『メセナ note40 号 特集：子どもとアート』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（2005）
- 『第 5 回オーケストラによるエデュケーション・プログラム ワークショップ 2004 報告書』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2004）
- 『日本のオーケストラのエデュケーション・プログラム 2004 年版』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟（2004）
- 『2003 年度エイジアス活動記録集』  
芸術家と子どもたち、芸術家と子どもたち（2004）

- 『オーケストラによるエデュケーション・プログラム 高知ワークショップ報告書』  
日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団（2003）
- 『芸能と教育ブックレット 05：なぜいま学校で「表現教育」なのか？ --ともに創る「生きる力」--』  
芸団協・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2003）
- 『芸能と教育ブックレット 04：実践！表現教育--実演家が授業にやってきた--』  
芸団協・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2003）
- 『みんなでつくる「総合的な学習の時間」』  
阿部進監修、財務省印刷局発行（2003）
- 『美術鑑賞宣言』  
山本朝彦・仲野泰生・菅章、日本文教出版（2003）
- 『学校が美術館--発想から実現までの記録--』  
四宮敏行、美術出版社（2002）
- 『芸能と教育ブックレット 03：教育と芸術／新たな関係--海外の事例に学ぶ--』  
芸団協・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2002）
- 『芸能と教育ブックレット 02：「ワークショップ」になにができるか？ --「多様性」と向き合うための知恵--』  
芸団協・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2002）
- 『セルフ・エデュケーション時代』  
川俣正・ニコラス・ペーリー・熊倉敬聡、フィルムアート社（2001）
- 『みる・かんがえる・はなす 鑑賞教育へのヒント』  
アメリア・アレナス著 木下哲夫訳、淡交社（2001）
- 『まなざしの共有 アメリア・アレナスの鑑賞教育に学ぶ』  
上野行一監修、淡交社（2001）
- 『今こそ子どもたちに豊かな文化を 学校と芸能実演家の協働のあり方とは：和楽器の導入と表現教育への取り組み』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2001）
- 『芸能と教育ブックレット 01：表現教育を子どもたちに--実演家よ、学校へ行こう！--』  
芸団協・芸能文化情報センター、芸団協出版部（2001）
- 『ワークショップ--新しい学びと想像の場--』  
中野民夫、岩波書店（2001）
- 『アウトリーチ活動のすすめ：地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2001）

- 『生涯学習の文化経済学』  
野田邦弘、芙蓉書房出版（2000）
- 『季刊メセナ No. 32 1998 年春号：子どもたちのアート環境』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『アートが学校・地域社会を変える...こどもと芸術環境』  
アーツフォーラム・ジャパン、アーツフォーラム・ジャパン（1998）
- 『ミュージアム・ディレクトリーVol.2 チルドレンズ・ミュージアム』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（1998）
- 『ミュージアム・ディレクトリーVol.1 ユニバーシティ・ミュージアム』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（1997）
- 『劇団 子ども 社会--児童演劇の現状と課題--』  
児童演劇研究プロジェクト、芸団協出版部（1996）
- 『月刊 音楽鑑賞教育』  
音楽鑑賞教育振興会、音楽鑑賞教育振興会（1996）
- 『季刊メセナ No. 23 1996 年冬号：創造体験としてのワークショップ--啓蒙の時代から実践の時代へ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1996）
- 『子どもの芸術文化振興に関する報告書』  
子どものための芸術文化振興に関する小委員会、音楽議員連盟振興会議（1995）
- 『演劇と教育 9 月号 特集：異文化と出会う表現教育』  
日本演劇教育連盟、晩成書房（1993）
- 『現代生涯学習全集 5 これからの指導者・ボランティア』  
岡本包治、ぎょうせい（1992）
- 『国際芸術教育施設調査報告書』  
利賀合掌文化村財団、利賀合掌文化村財団（1991）
- 『美術教育の歴史と哲学』  
ステュアート・マクドナルド、玉川大学出版部（1990）
- 『生涯学習と企業および行政の役割』  
瀬沼克彰、ダイヤモンド社（1990）
- 『世界の美術教育』  
倉田三郎・手塚又四郎、美術出版社（1963）

## 海外文献

---

- 『Creative Arts Marketing, Second Edition』  
L. Hill et al. Butterworth Heinemann (2003)
- 『Standing Room Only』  
P. Kotler and J. Shceff, Harvard Business School Press (1997)

## アートマネジメントの実務

### アートとキャリア

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『「音楽の新しい学び」フォーラム～社会に飛び出す音大生たち～ 実施報告書』  
昭和音楽大学内「音楽の新しい学び」フォーラム事務局、昭和音楽大学内「音楽の新しい学び」フォーラム事務局  
（2009）
- 『Human Development in / through the Arts 人材育成を探る 12 章』  
中山夏織、シアタープランニングネットワーク（2008）
- 『Drama in Education Ethics and Development』  
中山夏織、シアタープランニングネットワーク（2008）
- 『平成 19 年度 芸術運営実習報告書』  
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネージメントコース、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネージメントコース（2008）
- 『平成 19 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 実演芸術組織・劇場の経営のあり方に関する調査研究（別冊 実演芸術組織・劇場の経営のあり方に関する調査研究）』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（2008）
- 『九州大学大学院芸術工学府 ホールマネジメントエンジニア（HME）育成ユニット シンポジウム・セミナー報告書』  
九州大学大学院芸術工学府ホールマネジメントエンジニア育成ユニット、九州大学大学院芸術工学府ホールマネジメントエンジニア育成ユニット（2008）
- 『文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」アートマネジメント教育による都市文化再生 平成 19 年度事業報告書』  
神戸大学国際文化学部、神戸大学国際文化学部（2008）
- 『平成 18 年度～平成 19 年度私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」研究成果報告書』  
学校法人東成学園昭和音楽大学オペラ研究所、学校法人東成学園昭和音楽大学オペラ研究所（2008）
- 『文部科学省特別補助「オープン・リサーチ・センター整備事業」シンポジウム・公開講座の概要報告 2001-2008』  
昭和音楽大学舞台芸術センターオペラ研究所、昭和音楽大学舞台芸術センターオペラ研究所（2008）
- 『2007 年度 ACOP・鑑賞者研究プロジェクト報告書』  
福のり子（京都造形大学芸術表現・アートプロデュース学科教授）、京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター準備室（仮称）（2008）

- 『平成 18 年度 芸術運営実習報告書』  
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース (2007)
- 『平成 18 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 コミュニティシネマ/上演者ネットワーク会議 2006 イン北海道』  
コミュニティシネマ支援センター・国際文化交流推進協会 (エース・ジャパン)、コミュニティシネマ支援センター・国際文化交流推進協会 (エース・ジャパン) (2007)
- 『平成 18 年度 ステージラボ・マスターコース報告書 研修企画支援事業報告書』  
地域創造、地域創造 (2007)
- 『プログラム・オフィサー 助成金分配と社会的価値の創出』  
牧田東一、学陽書房 (2007)
- 『メセナ note48 号 特集：メセナのお仕事』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2007)
- 『平成 17 年度 芸術運営実習報告書』  
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース (2006)
- 『メセナ note42 号 特集：アート・マネジメント教育』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会 (2006)
- 『平成 17 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 コミュニティシネマ/上演者ネットワーク会議 2005 イン金沢』  
コミュニティシネマ支援センター・国際文化交流推進協会 (エース・ジャパン)、コミュニティシネマ支援センター・国際文化交流推進協会 (エース・ジャパン) (2006)
- 『平成 13 年度～平成 17 年度私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」研究成果報告書』  
学校法人東成学園昭和音楽大学オペラ研究所、学校法人東成学園昭和音楽大学オペラ研究所 (2006)
- 『芸術分野海外研修サポートプロジェクト記録集 2005』  
芸術分野海外研修サポートプロジェクト、芸術分野海外研修サポートプロジェクト (2006)
- 『2005 年度 ACOP・鑑賞者研究プロジェクト報告書』  
福のり子 (芸術表現・アートプロデュース学科教授)、京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科芸術編集研究センター (2006)
- 『平成 16 年度 芸術運営実習報告書』  
昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース、昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科アートマネジメントコース (2005)



- 『助成という仕事—社会変革におけるプログラム・オフィサーの役割』  
ジョエル・J・オロズ、明石書店（2005）
- 『トヨタ・アートマネジメント講座 vol.45 東京 東京会議'02 会議録 アートマネジメント教育 現場が求める人材とは』  
TAM 運営委員会、TAM 運営委員会（2003）
- 『美術手帖 2003 年 7 月号：特集 アートの仕事がしたい』  
美術出版社、美術出版社（2003）
- 『季刊メセナ No. 33 1998 年夏号：めざせ！アートマネージャー』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1998）
- 『茨城県アートマネージャー養成講座』  
茨城県生活環境部生活文化課、茨城県生活環境部生活文化課（1997）
- 『発信できる文化ホールをめざして--アートマネージャー養成講座の記録--』  
茨城県生活環境部生活文化課、茨城県生活環境部生活文化課（1995）
- 『英国におけるアーツマネジメント教育の現状と課題--調査報告書--』  
日本芸能実演家団体協議会、日本芸能実演家団体協議会（1995）
- 『季刊メセナ No. 16 1994 年春号：アート・マネジメント 教育と現場--アートと社会の出会いをアレンジ』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会（1994）
- 『ステージラボ セミナーテキスト--地域の文化・情報環境づくりを担う人材育成事業--』  
社会工学研究所ステージラボ実行委員会、国土庁地方振興局（1994）
- 『ステージラボ 関連資料集』  
社会工学研究所ステージラボ実行委員会、国土庁地方振興局（1994）
- 『劇場運動に求められる芸術文化の仕事おこし』  
福岡県子ども劇場連絡会文化対策委員会・池上パンフ編集委員会、福岡県子ども劇場連絡会（1993）
- 『欧米におけるアートマネジメント教育の現状と課題』  
電通総研、文化庁（1993）
- 『美術手帖 1992 年 12 月号：特集 アートの仕事がしたい』  
美術出版社、美術出版社（1992）
- 『高等教育におけるアート・マネジメント教育--欧米を中心とした芸術振興のための人材教育--』  
小林進・片岡真実（1992）
- 『平成 3 年度 学芸員研修会報告書』  
全国美術館会議、全国美術館会議（1991）

- 『平成元年度 学芸員研修会報告書』  
全国美術館会議、全国美術館会議（1991）
- 『画廊のしごと』  
佐谷和彦、美術出版社（1988）
- 『昭和 63 年度 学芸員研修会報告書--美術館の税務に関する基礎知識--』  
全国美術館会議、全国美術館会議（1988）
- 『アメリカにおける音楽ビジネス教育の現状』  
音楽産業資料 （1986）
- 『フランス芸能人の生活--今日から明日へ--』  
フランス芸能人労働組合著・土方与平訳、日本芸能実演家団体協議会（1982）

## 資料

### 名簿・年鑑

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『日本の児童・青少年演劇劇団』  
日本児童・青少年演劇劇団協同組合、日本児童・青少年演劇劇団協同組合
- 『演奏年鑑』  
日本演奏連盟、日本演奏連盟
- 『舞踊年鑑』  
全日本舞踊連合・舞踊年鑑編集委員会、全日本舞踊連合
- 『演劇年鑑』  
日本演劇協会、日本演劇協会
- 『日本のオペラ年鑑』  
オペラ団体連盟、オペラ団体連盟
- 『舞台芸術交流年鑑』  
国際舞台芸術交流センター、国際舞台芸術交流センター
- 『クラシック音楽事業ガイド』  
日本クラシック音楽事業協会、日本クラシック音楽事業協会
- 『日本オーケストラ連盟総覧』  
日本オーケストラ連盟、日本オーケストラ連盟
- 『全国公益法人名鑑』  
公益法人協会・総務省大臣官房管理室（編集協力）、公益法人協会
- 『芸術文化助成財団事業案内』  
芸術文化助成財団協議会、芸術文化助成財団協議会
- 『映画上映活動年鑑』  
国際文化交流推進協会、国際文化交流推進協会
- 『全国公立文化施設名簿』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会
- 『公演事業資料』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会

- 『助成団体要覧--民間助成金ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
  
- 『Directory of Grant-Making foundations in Japan (助成団体要覧英文版)』  
助成財団センター、助成財団センター
  
- 『助成財団--研究者のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
  
- 『助成財団--NPO・市民活動のための助成金応募ガイド』  
助成財団センター、助成財団センター
  
- 『全国博物館園職員録』  
日本博物館協会、日本博物館協会
  
- 『全国公立文化施設名簿』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会
  
- 『日経 BP イベント事典』  
日経 B P 社出版局、日経 BP 社
  
- 『音楽賞データ・ブック』  
音楽出版社、音楽出版社
  
- 『日本近代文学館年誌 資料検索 1』  
日本近代文学館、日本近代文学館 (2005)
  
- 『CSR 企業総覧 2006 週刊東洋経済臨時増刊 DataBankSERIES 10 』  
東洋経済新報社 、東陽経済新報社 (2005)
  
- 『ぴあ map ホール・劇場・スタジアム』  
ぴあ、ぴあ
  
- 『THEATRE YEAR--BOOK 2003 Theatre in Japan』  
国際演劇協会日本センター、国際演劇協会日本センター (2003)
  
- 『THEATRE YEAR--BOOK 2003 Theatre Abroad 諸外国の演劇事情』  
国際演劇協会日本センター、国際演劇協会日本センター (2003)
  
- 『大阪府文化芸術年鑑 2003 年版』  
大阪文化団体連合会、大阪文化団体連合会 (2003)
  
- 『日本の児童・青少年演劇劇団 2003 論考編』  
日本児童・青少年演劇劇団協同組合、日本児童・青少年演劇劇団協同組合 (2003)

- 『戦後日本戯曲初演年表（1976年-1980年）』  
日本劇団協議会、日本劇団協議会（2002）
- 『戦後日本戯曲初演年表（1971年-1975年）』  
日本劇団協議会、日本劇団協議会（2001）
- 『ほっかいどう芸術・文化活動団体名鑑』  
北海道文化財団、北海道文化財団（2001）
- 『企業の博物館・科学館・美術館ガイドブック〈全国版〉』  
経済広報センター、経済広報センター（2001）
- 『ミュージアム・メッセ事始め』  
関西経済連合会文化委員会、関西経済連合会（2001）
- 『日本の大学博物館』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（2001）
- 『日本の企業博物館』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（2000）
- 『日本 NPO 学会会員名簿』  
日本 NPO 学会事務局、日本 NPO 学会事務局（2000）
- 『特定公益増進法人一覧』  
公益法人協会、公益法人協会（2000）
- 『美術手帖 2000年12月号増刊：年鑑 2001』  
美術出版社、美術出版社（2000）
- 『国際協力 NGO ディレクトリー2000 国際協力に携わる日本の市民組織要覧』  
NGO 活動推進センター（JANIC）、NGO 活動推進センター（JANIC）（2000）
- 『ミュージアム・ディレクトリーVol.3 コーポレート・ミュージアム』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（2000）
- 『東京で見る！学ぶ！企業施設ガイドブック 1999』  
東京商工会議所・東京国際観光委員会、東京商工会議所（1999）
- 『全国美術館ガイド』  
全国美術館会議、美術出版社（1999）
- 『プロフィール 日本の劇団』  
プロフィール日本の劇団編集委員会、日本劇団協議会（1998）

- 『企業ミュージアム』  
亀田訓生、ピーエーエヌ（1998）
- 『ミュージアム・ディレクトリー Vol.2 チルドレンズ・ミュージアム』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（1998）
- 『ミュージアム・ディレクトリー Vol.1 ユニバーシティ・ミュージアム』  
トータルメディア開発研究所、トータルメディア開発研究所（1997）
- 『群馬県文化年間』  
群馬県教育委員会・群馬県教育文化事業団、群馬県教育委員会・群馬県教育文化事業団（1997）
- 『全国版 企業の文化スポットマップ』  
経済広報センター、経済広報センター（1996）
- 『米国国際交流機関一覧（抄）1994年版』  
アライアンス（米国国際教育文化交流団体連盟）、国際交流基金日米センター（1995）
- 『芸術祭五十年 戦後日本の芸術文化史』  
文化庁、ぎょうせい（1995）
- 『世界の建築家 581 人』  
ギャラリー・間、TOTO 出版（1995）
- 『海外企業博物館サマリー集』  
経済広報センター、経済広報センター（1995）
- 『世界の美術館と企画展ガイド'94 アメリカ・カナダ・ヨーロッパ編』  
淡交社、淡交社（1994）
- 『PUBLIC ART PROPOSALS 3-Spaces and Art』  
瀬川律子・梅宮典子・梅村由美、国際コンテンポラリーアートフェア実行委員会（1994）
- 『建築 MAP 東京』  
ギャラリー・間、TOTO 出版（1994）
- 『美術館へ行こう--世界美術館旅事典』  
長谷川智恵子、求龍堂（1993）
- 『Art Museums of Japan』  
Bijutsu Shuppan Design Center、Japanese Council of Art Museums（1993）
- 『兵庫の博物館』  
兵庫県博物館協会、神戸新聞総合出版センター（1993）

- 『首都圏ミュージアム・カタログ イーストエリア版』  
白峰社、白峰社（1991）
- 『首都圏ミュージアム・カタログ ウェストエリア版』  
白峰社、白峰社（1991）
- 『図説 2001 年東京圏の豊かさと不安』  
平本一雄・三菱総合研究所都市経営部、PHP 研究所（1991）
- 『美術手帖 1991 年 6 月号増刊：ヨーロッパの美術館』  
田辺徹、美術出版社（1991）
- 『全国企業博物館ガイド』  
講談社、講談社（1987）

## 資料

### 調査・統計資料・白書

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『東京アートポイント計画 2009-2016 実績調査と報告』  
調査・執筆 | 大澤寅雄、吉澤弥生、アーツカウンシル東京（2018）
- 『美術館・博物館の特徴的な取組に関する調査事業』  
株式会社 丹青研究所、文化庁（2018）
- 『文化に関する世論調査』  
内閣府大臣官房政府広報室
- 『社会生活基本調査』  
総務省統計局
- 『国勢調査』  
総務省統計局
- 『家計調査』  
総務省統計局
- 『公益法人概況調査』  
総務省大臣官房管理室
- 『メセナ活動実態調査』  
企業メセナ協議会
- 『メセナリポート』  
企業メセナ協議会、企業メセナ協議会
- 『社会貢献活動実績調査』  
日本経済団体連合会社会貢献推進委員会・1%クラブ、日本経済団体連合会社会貢献推進委員会・1%クラブ
- 『地方文化行政状況調査報告書』  
文化庁長官官房政策課、文化庁
- 『民間統計ガイド』  
全国統計協会連合会、全国統計協会連合会
- 『社会教育調査』  
文部科学省生涯学習政策局、国立印刷局



- 『公益法人白書（公益法人に関する年次報告）』  
総務省
- 『レジャー白書』  
社会経済生産性本部、社会経済生産性本部
- 『国民生活白書』  
内閣府国民生活局、国立印刷局
- 『地方財政白書』  
総務省、国立印刷局
- 『エンタテインメント白書』  
ぴあ総合研究所、ぴあ
- 『私たちがみた当世美術館事情 3 08 年度美術館調査報告』  
京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科、京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科（2009）
- 『アート NPO データバンク 2008（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2009）
- 『世界劇場会議国際フォーラム 2009 論文・報告集 Vol.12』  
「世界劇場会議 国際フォーラム 2009」実行委員会、「世界劇場会議 国際フォーラム 2009」実行委員会（2009）
- 『これからの公立美術館のあり方についての調査・研究報告書』  
財団法人地域創造、財団法人地域創造（2009）
- 『NPO への資金提供・助成の最適化に関する調査 報告書 』  
IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]（2008）
- 『文化振興施策調査 報告書』  
名古屋市市民経済局文化観光部文化振興室、名古屋市市民経済局文化観光部文化振興室（2008）
- 『わたしたちがみた当世美術館事情 07 年度美術館調査報告』  
京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科、京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科（2008）
- 『英・仏・独における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『タイにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『中国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）

- 『インドにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『メキシコにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2008）
- 『平成 19 年度 都市観光の推進による地域づくり支援調査事業 報告書』  
国土交通省都市・地域整備局企画課、国土交通省都市・地域整備局企画課（2008）
- 『慶応義塾大学アート・センター年報（15） 2007/08』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2008）
- 『ニッセイ基礎研究所 所報 NLI Research Institute / Autumn / 2008 / Vol.51 』  
ニッセイ基礎研究所、ニッセイ基礎研究所（2008）
- 『アート NPO データバンク 2007（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2008）
- 『統計要覧 2008』  
日本政策投資銀行、日本政策投資銀行（2007）
- 『NPO 白書 2007』  
山内直人・田中敬文・河井孝仁、大阪大学大学院国際公共政策 NPO 研究情報センター（2007）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 17 年度』  
文化庁、文化庁（2007）
- 『私たちがみた当世美術館事情 06 年度美術館調査報告』  
京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科、京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科（2007）
- 『韓国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』  
国際交流基金、国際交流基金（2007）
- 『平成 18 年度 文化ボランティア活動実態環境調査』  
特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム地域演劇マネジメントセンター調査、特定非営利法人舞台芸術環境フォーラム  
地域演劇マネジメントセンター（2007）
- 『慶応義塾大学アート・センター年報（14） 2006/07』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2007）
- 『2006 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2007）
- 『アート NPO データバンク 2006（ART NPO DATA BANK）』  
アート NPO リンク、アート NPO リンク（2007）

- 『ぴあ総研 エンタテインメント白書 2006 』  
ぴあ総合研究所、ぴあ（2006）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 16 年度』  
文化庁、文化庁（2006）
- 『公立文化施設における指定管理者制度導入状況に関する調査 報告書』  
全国公立文化施設協会、全国公立文化施設協会（2006）
- 『諸外国及びわが国における「映画教育」に関する調査 最終報告書』  
国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）・コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）  
（2006）
- 『日本企業の中国における社会貢献活動に関するアンケート調査結果報告書』  
中国日本商会、中国日本商会（2006）
- 『慶応義塾大学アート・センター年報（13）2005/06』  
慶応義塾大学アート・センター、慶応義塾大学アート・センター（2006）
- 『進化するアーカイブ 慶応義塾大学デジタルアーカイブ・リサーチセンター報告書（2001-2006）』  
慶応義塾大学デジタルアーカイブ・リサーチセンター、慶応義塾大学デジタルアーカイブ・リサーチセンター（2006）
- 『2004 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2006）
- 『2005 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2006）
- 『映画上映活動年鑑 2004（非映画館編）地域における映画上映状況調査』  
国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）、国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）（2005）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 14 年度』  
文化庁、文化庁（2005）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 15 年度』  
文化庁、文化庁（2005）
- 『諸外国及びわが国における「映画教育」に関する調査 中間報告書』  
国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）・コミュニティシネマ支援センター、国際文化交流推進協会（エース・ジャパン）  
（2005）
- 『慶応義塾大学アート・センター年報（12）2004/05』  
慶応義塾大学アート・センター、慶応義塾大学アート・センター（2005）
- 『2003 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2005）

- 『アートサポートふくおか リサーチシリーズ Vol.2 「福岡都市圏における企業メセナ活動実態調査」結果報告書』  
アートサポートふくおか、アートサポートふくおか（2005）
- 『メセナ白書シリーズ 2005：いま、地域メセナがおもしろい--企業+アート+まちの実践』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2005）
- 『公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究--指定管理者制度を中心に--』  
地域創造、地域創造（2005）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 13 年度』  
文化庁、文化庁（2004）
- 『慶應義塾大学アートセンター年報（11） 2003/04』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2004）
- 『2002 年度 社会貢献活動実績調査結果』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2004）
- 『NIRA 研究報告書 国際交流・文化交流のあり方についての研究』  
総合研究開発機構、総合研究開発機構（2004）
- 『博物館総合調査報告書（平成 16 年度文化庁委嘱事業「博物館振興施策に関する調査事業」）』  
日本博物館協会、日本博物館協会（2004）
- 『ぴあ総研 エンタテインメント白書 2004 』  
ぴあ総合研究所、ぴあ（2003）
- 『慶應義塾大学アートセンター年報（10） 2002/03』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2003）
- 『メセナ白書シリーズ 2003：メセナマネジメント--戦略的社会貢献のすすめ』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2003）
- 『文化事業実施を助成する団体の助成内容に関する調査報告書』  
企業メセナ協議会・ニッセイ基礎研究所、企業メセナ協議会（2003）
- 『文化事業実施を助成する団体の助成内容に関する調査』  
企業メセナ協議会・ニッセイ基礎研究所、企業メセナ協議会（2003）
- 『調査研究事業「21 世紀の公益法人と制度のあり方を探る」報告書』  
公益法人協会、公益法人協会（2002）
- 『地方文化行政状況調査報告書 平成 12 年度』  
文化庁、文化庁（2002）

- 『慶應義塾大学アート・センター年報（9）2001/02』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2002）
- 『地域文化施設における財団運営のあり方を考える（提言）：地域文化施設における財団運営に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2002）
- 『民間財団、公的財団の文化芸術振興策に関する基礎調査[報告書]』  
企業メセナ協議会・ニッセイ基礎研究所、企業メセナ協議会（2002）
- 『民間財団、公的財団の文化芸術振興策に関する基礎調査[座談会記録]』  
企業メセナ協議会・ニッセイ基礎研究所、企業メセナ協議会（2002）
- 『民間財団、公的財団の文化芸術振興策に関する基礎調査[アンケート調査結果]』  
企業メセナ協議会・ニッセイ基礎研究所、企業メセナ協議会（2002）
- 『「東京圏における国際文化拠点の整備方策検討調査」に関する調査報告書』  
国土交通省都市・地域整備局、国土交通省都市・地域整備局（2002）
- 『企業の芸術文化活動に対する支援意向等調査 調査報告書』  
三菱総合研究所、三菱総合研究所（2002）
- 『文化・芸術と企業活動についての実態調査（アンケート調査結果報告書）』  
静岡県生活・文化部文化政策室、静岡県生活・文化部文化政策室（2002）
- 『社会貢献資料 2002--グッド・カンパニーへの変革 II』  
経済団体連合会社会本部、経済団体連合会社会本部（2002）
- 『慶應義塾大学アート・センター年報（8）2000/01』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2001）
- 『芸能白書 2001 数字にみる日本の芸能』  
芸能文化情報センター、芸団協出版部（2001）
- 『アウトリーチ活動のすすめ：地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2001）
- 『地域の公立文化施設に関する調査』  
地域創造、地域創造（2001）
- 『平成 12 年版 国民生活白書 ボランティアが深める好縁』  
経済企画庁国民生活局国民生活調査課、大蔵省印刷局（2000）
- 『慶應義塾大学アート・センター年報（7）1999/2000』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（2000）

- 『公共ホールの計画づくりに関する調査研究』  
地域創造、地域創造（2000）
- 『芸能実演家の活動と生活実態--第6回調査報告書 2000年版--』  
日本芸能実演家団体協議会、丸善（2000）
- 『平成12年版国民生活白書--ボランティアが深める好縁--』  
経済企画庁国民生活局国民生活調査課、大蔵省印刷局（2000）
- 『メセナ白書 2000（特集：市民は企業メセナをこうみている）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（2000）
- 『関西地域における文化産業の活性化方策に関する調査研究報告書』  
近畿通商産業局、近畿通商産業局（2000）
- 『企業の社会貢献と市民活動--企業のフィランソピー調査報告書--』  
市民がつくる政策調査会フィランソピー活動調査プロジェクト、市民がつくる政策調査会（2000）
- 『慶應義塾大学アート・センター年報（6）1998/99』  
慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学アート・センター（1999）
- 『文化による国際貢献に関する調査研究報告書』  
シー・ディー・アイ、シー・ディー・アイ（1999）
- 『メセナ白書 1999（特集：アーティストから見た企業メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1999）
- 『芸能白書 1999 数字にみる日本の芸能』  
芸能文化情報センター、芸団協出版部（1999）
- 『社会貢献白書 1999--企業と社会のパートナーシップ--』  
経済団体連合会、日本工業新聞社（1999）
- 『ホールにおける市民参加型事業に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1999）
- 『公立ホールの舞台技術に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1999）
- 『日本の博物館の現状と課題（博物館白書平成11年版）』  
日本博物館協会、日本博物館協会（1999）
- 『ドキュメント芸能白書』  
芸団協芸能文化情報センター、日本芸能実演家団体協議会（1998）

- 『公立ホールにおけるネットワーク活動に関する調査研究』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『ホール文化形成のために～ホール文化形成のための調査研究～』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『地域の芸術環境づくりのための基礎調査』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『公共ホール・劇場とボランティアに関する調査報告書』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『美術館系文化施設の情報システムに関する調査報告書』  
地域創造、地域創造（1998）
- 『メセナ白書 1998 （特集：多様化する地域メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1998）
- 『企業の社会貢献活動 実態統計調査報告書』  
神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター（1998）
- 『芸術文化白書'1998』  
尚美人間科学総合研究センターボーダーレス・フォーラム MONOLITH 編、ぎょうせい（1998）
- 『我が国の文化政策の今後の在り方に関する調査研究--欧米との比較及び我が国の特性を基礎として--』  
根木昭 （1998）
- 『地域における芸術環境づくりの状況』  
地域創造、地域創造（1997）
- 『芸能白書 1997 数字にみる日本の芸能』  
芸能文化情報センター編、日本芸能実演家団体協議会（1997）
- 『メセナ白書 1997 （特集：企業の顕彰・コンクール事業）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1997）
- 『「企業メセナ研究 I」<課題> 企業のメセナ活動について』  
成安造形大学造形美術科芸術計画群、成安造形大学（1997）
- 『マイクロ統計データを活用した舞台芸術施設運営に関する調査研究』  
清水裕之 （1997）
- 『地域におけるアーツ創造拠点づくり調査研究』  
地域創造、地域創造（1996）

- 『地域におけるアーツ共感促進のための調査研究』  
地域創造、地域創造（1996）
- 『芸術・文化の振興とまちづくり ヨーロッパ視察調査団報告書』  
地域活性化センター、地域活性化センター（1996）
- 『欧米主要 5 カ国の文化支出に関する調査研究』  
電通総研、文化庁（1996）
- 『東京都における文化環境及び文化活動に関する調査』  
東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課、東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課（1996）
- 『メセナに関するアンケート調査結果』  
埼玉県コミュニティ協議会メセナ委員会、埼玉県コミュニティ協議会メセナ委員会（1996）
- 『メセナ白書 1996（特集：企業の芸術文化施設）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1996）
- 『阪神・淡路大震災 芸術文化被害状況調査報告書』  
阪神・淡路大震災芸術文化被害状況調査研究プロジェクト委員会、阪神・淡路大震災芸術文化被害状況調査研究プロジェクト委員会（1995）
- 『芸術文化の振興に関する行政監察結果に基づく勧告』  
総務庁（1995）
- 『芸術文化の振興に関する行政監察結果報告書』  
総務庁行政監察局（1995）
- 『メセナ白書 1995（特集：世界のメセナ--24 カ国のメセナ・レポート）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1995）
- 『東京都区市町村における国際化事業等に関する調査結果』  
東京都生活文化局国際部国際化推進課、東京都生活文化局国際部国際化推進課（1995）
- 『平成 6 年特定サービス産業実態調査報告書 劇場編』  
通商産業大臣官房調査統計部、通産統計協会（1995）
- 『地方の文化ステージソフトづくりプロジェクトモデル調査 資料』  
AZ 環境計画研究所、AZ 環境計画研究所（1994）
- 『メセナ白書 1994（特集：地方自治体と企業メセナ）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1994）
- 『平成 5 年版 国民生活白書 豊かな交流 人と人のふれあいの再発見』  
経済企画庁国民生活局国民生活調査課、大蔵省印刷局（1993）



- 『我が国の芸術文化の動向に関する調査 調査報告書』  
住友生命総合研究所、文化庁（1993）
- 『我が国の文化の動向に関する調査 調査報告書』  
電通総研、電通総研（1993）
- 『メセナ白書 1993 （特集：企業メセナと舞台芸術、企業メセナと市民）』  
企業メセナ協議会、ダイヤモンド社（1993）
- 『企業の社会貢献活動企業メセナ活動に関する実態調査』  
地域問題研究所、愛知県文化振興事業団（1993）
- 『企業の文化施設立地動向調査 報告書』  
神奈川県県民部文化室、神奈川県県民部文化室（1993）
- 『都内における民間芸術文化振興公益法人の活動状況に関する実態調査報告書』  
東京都文化振興会、東京都文化振興会管理部企画調整課（1993）
- 『海外などにおける文化振興策に関する実態調査報告書』  
東京都文化振興会、東京都文化振興会管理部企画調整課（1993）
- 『欧米主要 5 カ国の文化支出に関する調査研究』  
電通総研、文化庁（1993）
- 『博物館白書（平成 5 年）』  
日本博物館協会、日本博物館協会（1993）
- 『企業の全上場企業実態調査 企業の社会貢献はどこまで進んだか（1） 新しい企業モデルの研究 経済機関から社会機関への革新』  
ヒューマンウェア研究会、ヒューマンウェア研究会（1992）
- 『芸術家の地位に関するユネスコ勧告小委員会中間報告』  
音楽議員連盟振興会議、音楽議員連盟ユネスコ勧告小委員会（1992）
- 『仙台市民の文化活動報告--多様化するライフスタイル--』  
仙台市市民文化事業団、仙台市市民文化事業団（1992）
- 『東海地方における「企業の社会貢献活動」に関するアンケート調査結果』  
地域問題研究所、地域問題研究所（1992）
- 『企業の文化支援活動に関するアンケート調査結果の概要』  
北海道生活福祉部生活文化課、北海道生活福祉部生活文化課（1992）
- 『メセナ白書'92』  
企業メセナ協議会、ぎょうせい（1992）

- 『芸術奨励制度設置に関する調査』  
電通総研、横浜市教育文化センター文化事業部（1991）
- 『ふるさと資源活用に関する調査研究報告書』  
ふるさと資源活用に関する調査研究委員会、地域活性化センター（1991）
- 『道民の芸術文化に関する意識調査 調査報告書』  
道銀文化財団、道銀文化財団（1991）
- 『国際文化交流に関する行政監察 結果報告書』  
総務庁行政監察局、総務庁行政監察局（1991）
- 『シンポジウム 統計データに見る日本の芸術状況』  
日本統計学会、日本統計学会（1991）
- 『有力企業の社会貢献活動実態調査 1991 年版』  
東京ブレントラスト、東京ブレントラスト（1991）
- 『九州・山口の企業文化活動』  
九州経済調査協会、九州経済調査協会（1991）
- 『企業の文化行動に関する調査』  
大阪商工会議所地域振興部、大阪商工会議所地域振興部（1991）
- 『メセナ白書'91』  
企業メセナ協議会、ぎょうせい（1991）
- 『企業の社会的役割に関する調査報告』  
電通総研、電通（1990）
- 『企業の文化活動に関する実態調査報告書』  
日本能率協会コンサルティング、日本能率協会コンサルティング（1990）
- 『平成元年度総合シンポジウム報告書メモ』  
現代研究会・社会意識研究会、現代研究会・社会意識研究会（1990）
- 『人間本位の企業指標に関する調査研究』  
産業研究所、産業研究所（1990）
- 『博物館実態調査（昭和 63 年）』  
日本博物館協会、日本博物館協会（1988）

## 資料

### 定期刊行物

情報の内容は以下の通りです。

『本のタイトル』編・著者、出版社・発行元（出版年）

- 『アート NPO バンク』（年刊）  
NPO 法人アート NPO バンク、修美社
- 『美術の窓』  
生活の友社
- 『REAR』  
リア制作室
- 『美術手帖』  
美術手帖編集部
- 『アートコレクターズ』  
生活の友社
- 『芸術新潮』  
新潮社
- 『博物館研究』  
日本博物館協会（月刊）
- 『経済広報』  
経済広報センター（月刊）
- 『芸団協』  
日本芸能実演家団体協議会（月刊）
- 『公益法人』  
公益法人協会（月刊）
- 『地域創造レター』  
地域創造（月刊）
- 『月刊フィランソロピー』  
日本フィランソロピー協会（月刊）
- 『国際文化フォーラム通信』  
国際文化フォーラム（月刊）

- 『音楽人通信』  
日本音楽家ユニオン （月刊）
- 『文化庁月報』  
文化庁 （月刊）
- 『ミュージアムマガジン DOME』  
日本文教出版 （隔月刊）
- 『メセナ note』  
企業メセナ協議会 （隔月刊）
- 『国際交流基金フォーラム便り』  
国際交流基金 （隔月刊）
- 『Theatre & Policy』  
シアタープランニングネットワーク （隔月刊）
- 『文化政策研究センターニュースレター』  
京都橘女子大学 （隔月刊）
- 『JFC VIEWS』  
助成財団センター （季刊）
- 『芸団協ジャーナル』  
日本芸能実演家団体協議会 （季刊）
- 『地域創造』  
地域創造 （季刊）
- 『季刊 文化経済学』  
文化経済学会 （季刊）
- 『遠近（をちこち）』  
国際交流基金 （季刊）
- 『季刊オーケストラ』  
日本音楽家ユニオン オーケストラ協議会 （季刊）
- 『FILM NETWORK』  
国際文化交流推進協会 （季刊）
- 『ワンパーセントクラブニュース』  
日本経済団体連合会 （季刊）

- 『View point セゾン文化財団ニュースレター』  
セゾン文化財団 (季刊)
- 『STAKEHOLDERS』  
海外事業活動関連協議会 (季刊)